



2021年度 後期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 看護学部（広尾）

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】		3
2.	【演習】		4
3.	【実習】		5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】		6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】		7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】		89
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】		97
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】		98
9. 教員からのコメント一覧	【演習】		105
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】		107
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】		108
12. 教員からのコメント一覧	【実習】		126

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

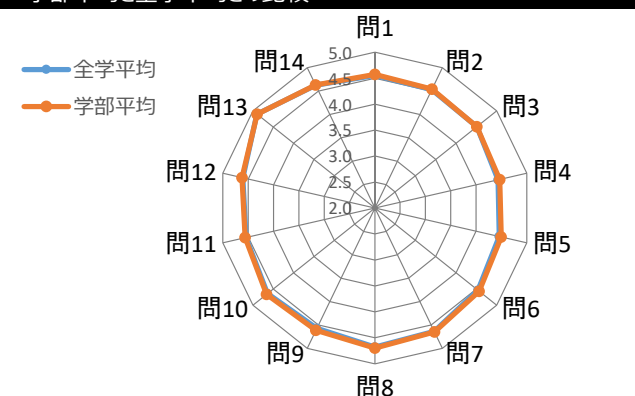
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学 部	看護学部	履修者数	4587	回答率	49.9%
		回答数	2288		

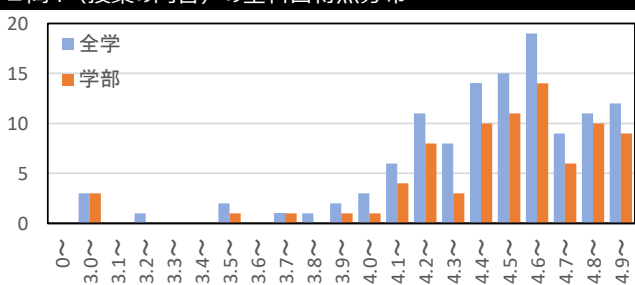
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1450	716					103 4.57	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1407	731					124 4.54	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1403	699					137 4.51	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	1346	711					181 4.46	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1418	656					151 4.50	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	1479	654					121 4.57	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1624	567					4.65	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1652	582					4.70	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1563	599					89 4.61	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	1622	577					69 4.67	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1486	633					138 4.56	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	1567	595					106 4.62	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	2056	223					4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1588	587					81 4.63	4.62
問1~14全問平均								4.61	4.59

■ 学部平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布

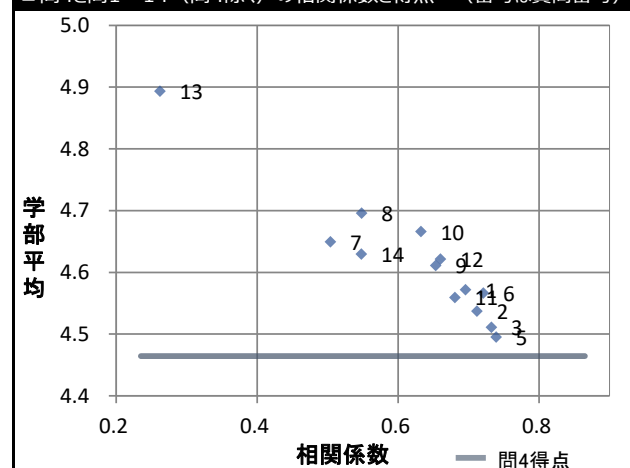


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 学部平均が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	生命倫理	[1B0201]	学部	看護学部	履修者数	79	回答率	
教員名	榊原 哲也		授業形態	講義	回答数	11	13.9%	

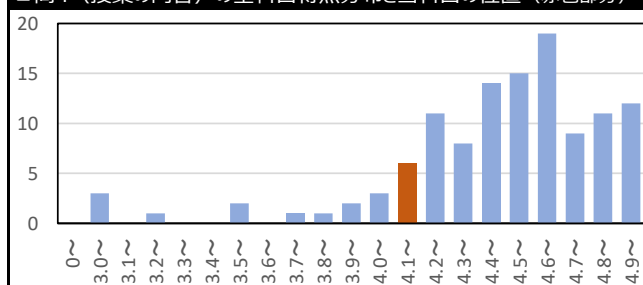
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3	6	2				4.09	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2	4	3	2			3.55	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	6	1	1			4.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	4	5	2				4.18	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	9	2					4.82	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	7	4					4.64	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5	5	1				4.36	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	3	2				4.36	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	3	6	1	1			4.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	9	2					4.82	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6	5					4.55	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7	3	1				4.45	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	11						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11						5.00	4.62
問1~14全問平均								4.42	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

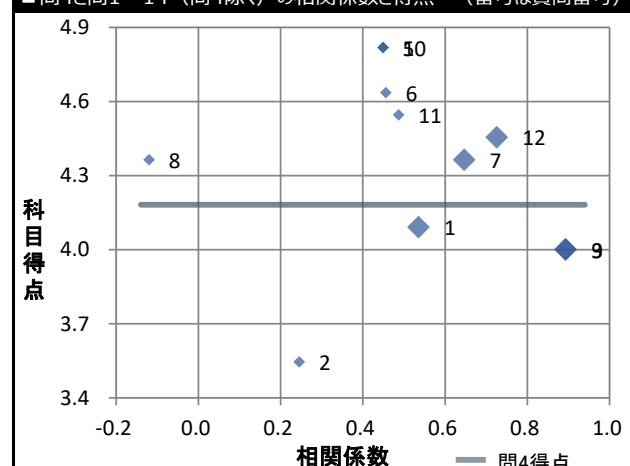


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	生命倫理	[1B0202]	学部	看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	榊原 哲也		授業形態	講義	回答数	5	7.2%

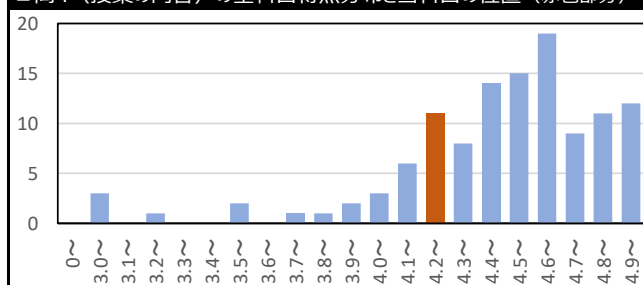
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1	4					4.20	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。		3	1	1			3.40	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。		5					4.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2	2	1				4.20	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4				1		4.80	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	3	1	1				4.40	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3	2					4.60	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3	2					4.60	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	2	3					4.40	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	4	1					4.80	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1	3	1				4.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	1	4					4.20	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	5						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	1					4.80	4.62
問1~14全問平均								4.39	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

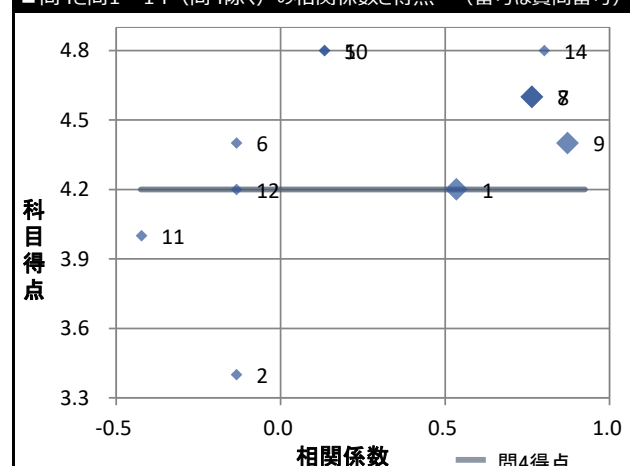


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	心理学Ⅱ	[1B0400]	学部	看護学部	履修者数	18	回答率	
教員名	遠藤 公久		授業形態	講義	回答数	11	61.1%	

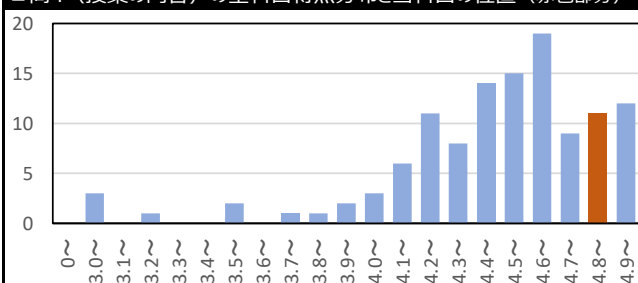
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.64	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.64	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.73	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.82	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.73	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.82	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.64	4.63
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.73	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.82	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.82	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.73	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.82	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.64	4.62
問1～14全問平均								4.75	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

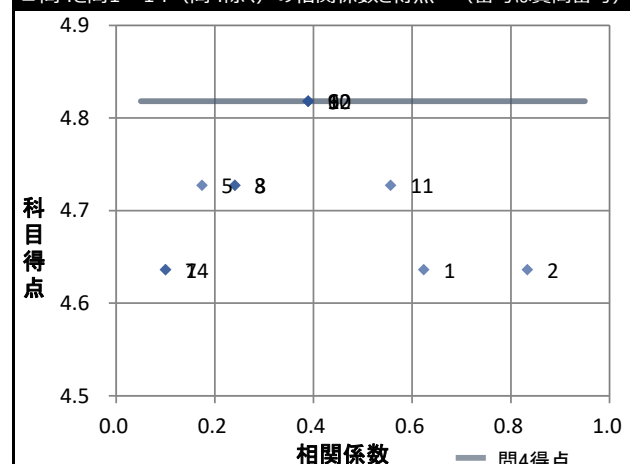


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

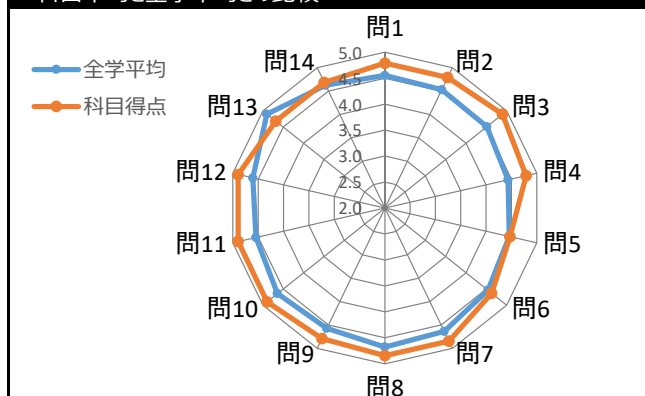
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	現代教育論 [1B0600]	学部	看護学部	履修者数	20	回答率	
教員名	渋谷 真樹	授業形態	講義	回答数	19	95.0%	

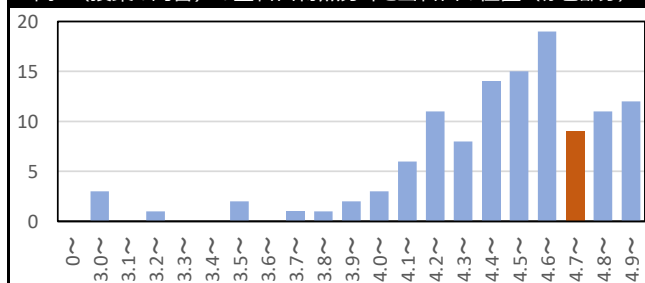
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	15				4		4.79	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	16		2		1		4.79	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	17				2		4.89	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	15				4		4.79	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	12		5		1	1	4.47	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	13		5		1		4.63	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	16				3		4.84	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	16				3		4.84	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	15				4		4.79	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	17				2		4.89	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	17				2		4.89	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	17				2		4.89	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	13				6		4.68	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15				3	1	4.68	4.62
問1~14全問平均								4.78	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

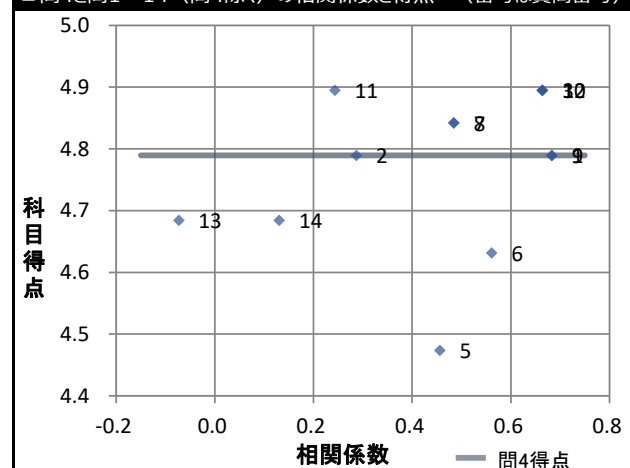


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

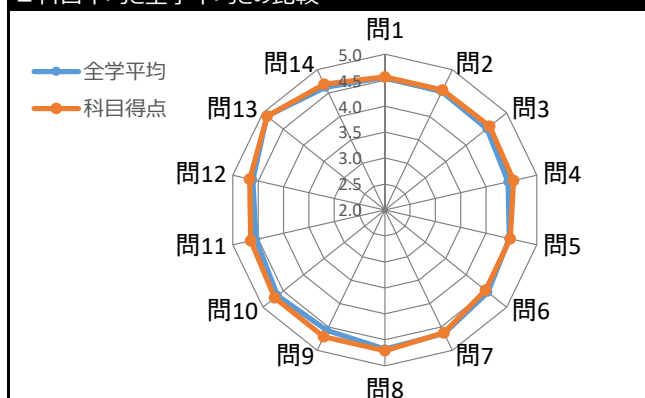
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	身体運動論 I (理論)	[1B0700]	学部	看護学部	履修者数	70	回答率
教員名	伊藤 麻希		授業形態	講義	回答数	48	68.6%

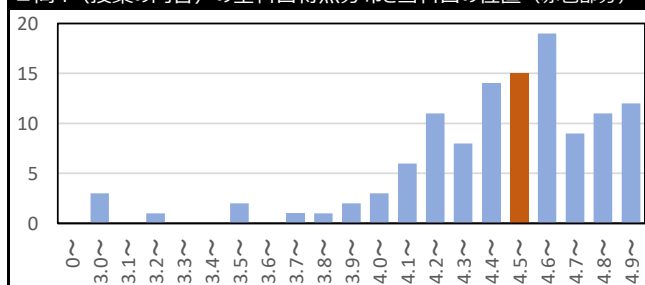
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	30				15	3	4.56	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	29				17	2	4.56	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	30				16	2	4.58	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	29				16	3	4.54	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	29				15	22	4.48	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	29				14	4	4.48	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	31				16		4.63	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	34				14		4.71	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	34				14		4.71	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	34				14		4.71	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	32				15		4.65	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	32				16		4.67	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	43				5		4.90	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	34				13		4.69	4.62
問1~14全問平均								4.63	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

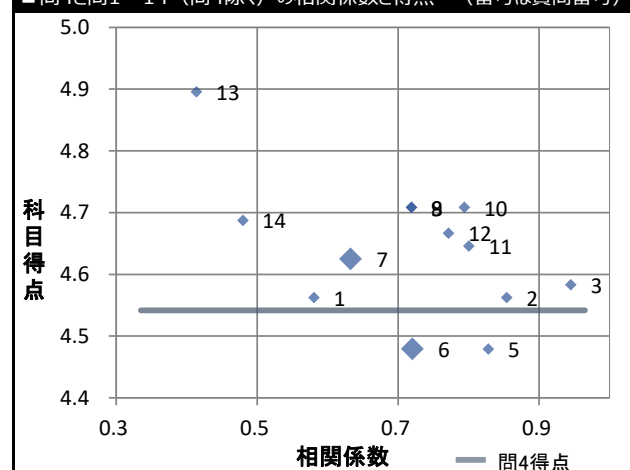


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	生活環境論	[1B0900]	学部	看護学部	履修者数	154	回答率	
教員名	石田 千絵		授業形態	講義	回答数	79	51.3%	

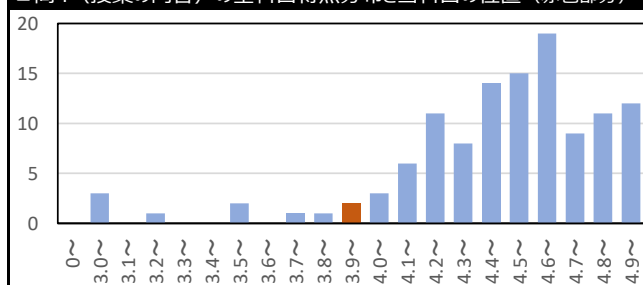
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	32	31	15				4.19	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	31	29	15	4			4.10	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	35	26	14	3			4.19	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	29	25	20	5			3.99	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	36	28	12	3			4.23	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	42	25	10				4.35	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	31	23	15	7	3		3.91	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	46	26	7				4.49	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	37	24	12	6			4.16	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	47	19	10				4.41	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	43	22	11				4.32	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	46	19	12				4.37	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	73					4	4.90	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	52	24	3				4.62	4.62
問1~14全問平均								4.30	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

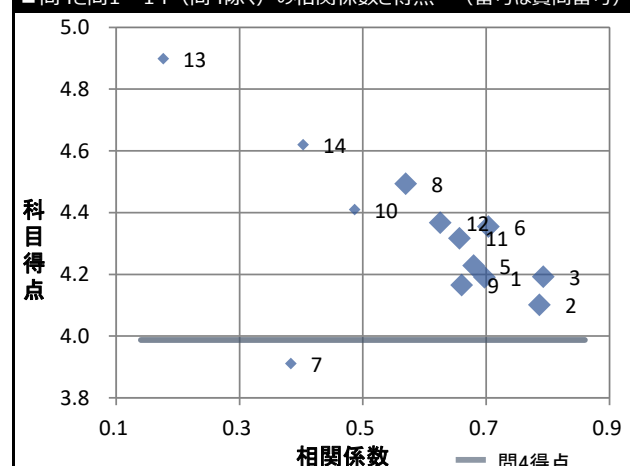


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

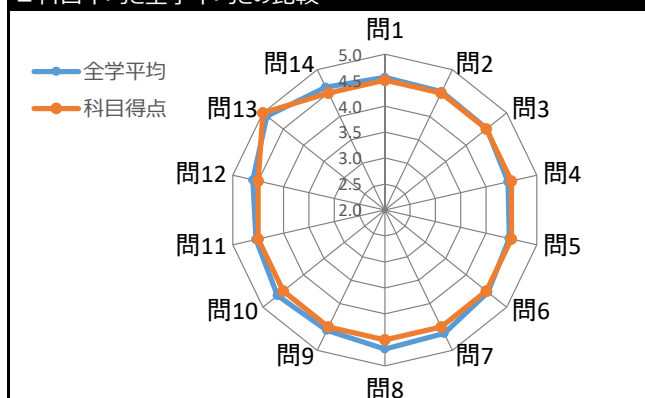
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	障がい論 [1B1000]	学部	看護学部	履修者数	11	回答率	
教員名	坂口 千鶴	授業形態	講義	回答数	2	18.2%	

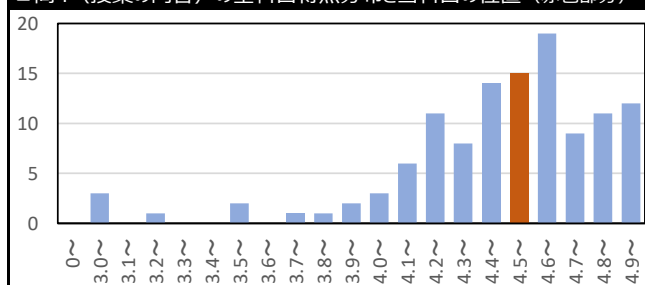
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1				1		4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1				1		4.50	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	1				1		4.50	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	1				1		4.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1				1		4.50	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	1				1		4.50	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1				1		4.50	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	1				1		4.50	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1				1		4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	1				1		4.50	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1				1		4.50	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	1				1		4.50	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。					2		5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1				1		4.50	4.62
問1~14全問平均								4.54	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

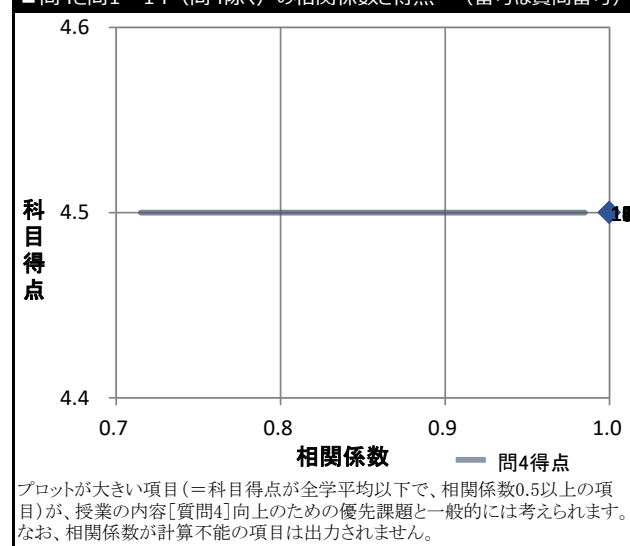


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	社会学Ⅱ	[1C0200]	学部	看護学部	履修者数	17	回答率
教員名	鷹田 佳典		授業形態	講義	回答数	5	29.4%

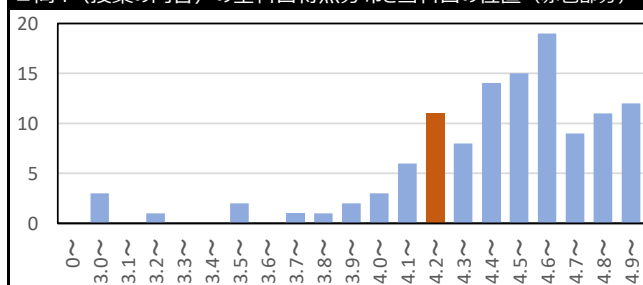
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2	2	1				4.20	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1	4					4.20	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1	4					4.20	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	1	4					4.20	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5						5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	4	1					4.80	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1	2	2				3.80	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3	2					4.60	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	3	2					4.20	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	3	2					4.60	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1	4					4.20	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	3	2					4.60	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5						5.00	4.62
問1~14全問平均								4.47	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

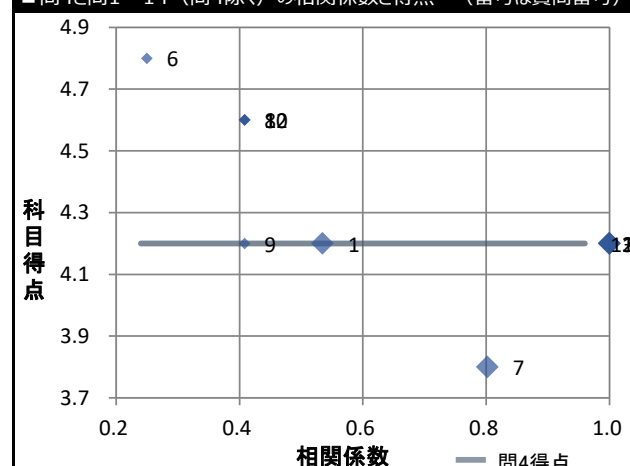


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	家族社会学	[1C0400]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	三具 淳子		授業形態	講義	回答数	3	25.0%

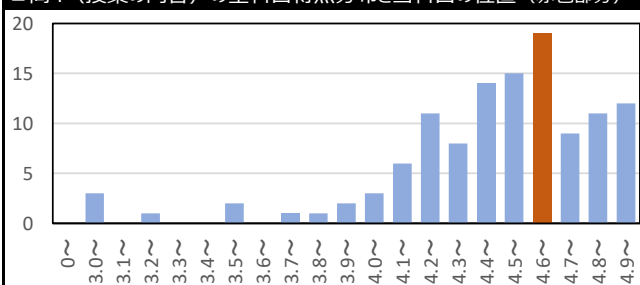
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			2		1		4.67	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			2		1		4.67	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			2		1		4.67	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。			2		1		4.67	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。			3				5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。			3				5.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			2		1		4.67	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。			2		1		4.67	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。			2		1		4.67	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。			3				5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			2		1		4.67	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。			2		1		4.67	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			3				5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			3				5.00	4.62
問1〜14全問平均								4.79	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

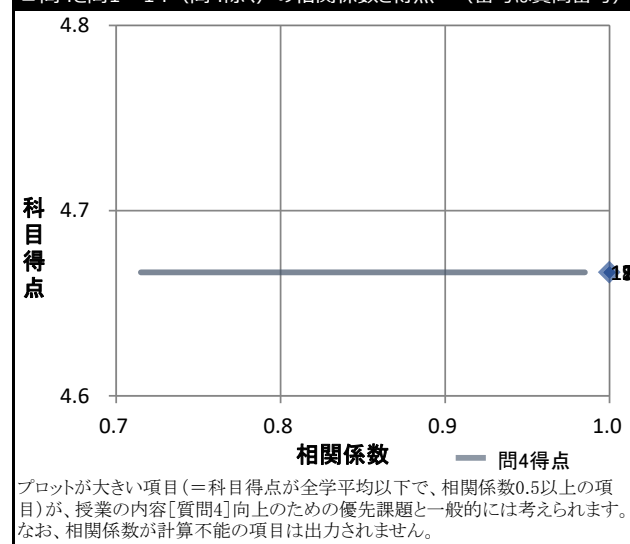


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

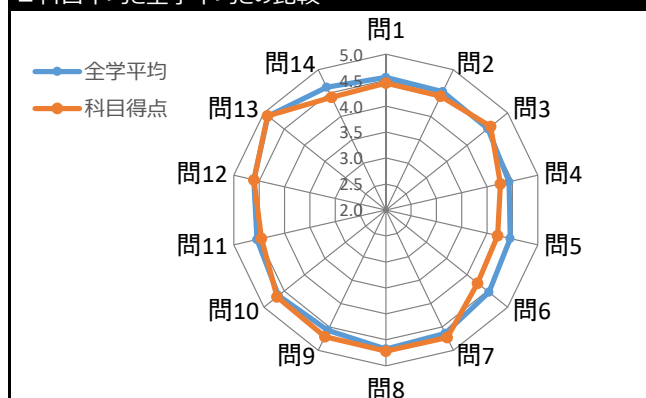
2021年度後期

科目名	国際関係論	[1C0600]	学部	看護学部	履修者数	114	回答率
教員名	角田 敦彦		授業形態	講義	回答数	88	77.2%

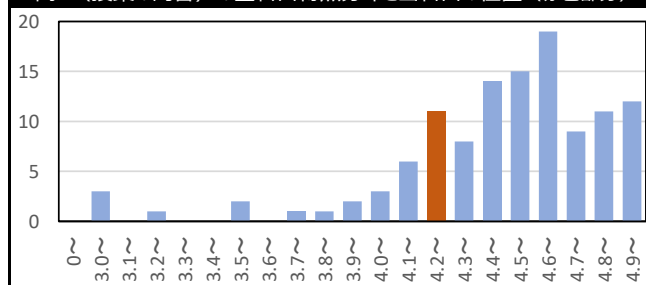
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	47		35		4		4.44	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	44		39		4		4.43	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	55		29		4		4.58	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	41		32		13		4.26	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	41		30		12	4	4.20	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	41		33		12		4.26	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	65		22				4.73	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	64		23				4.72	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	64		22				4.70	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	63		20		4		4.68	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	49		32		5		4.45	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	58		26		3		4.60	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	80		8				4.91	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	49		30		6		4.41	4.62
問1〜14全問平均								4.53	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

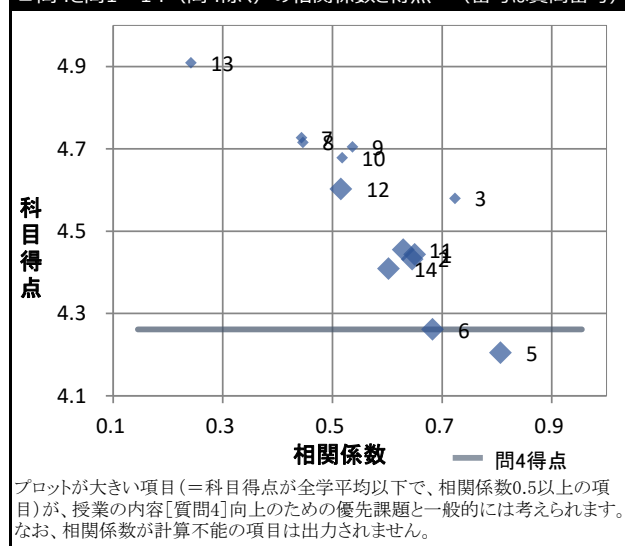


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

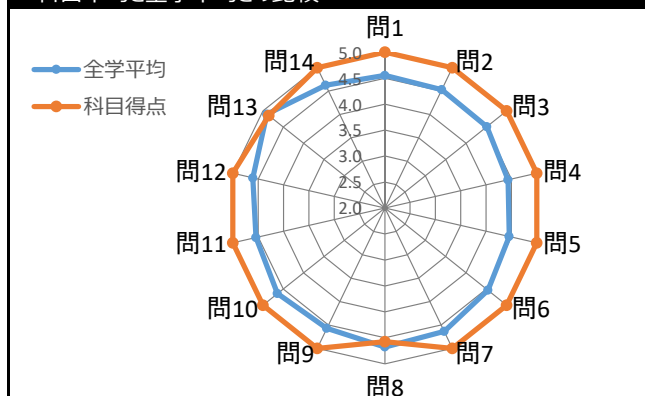
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	医療と文化 [1C0800]	学部	看護学部	履修者数	9	回答率	
教員名	鈴木 勝己	授業形態	講義	回答数	7	77.8%	

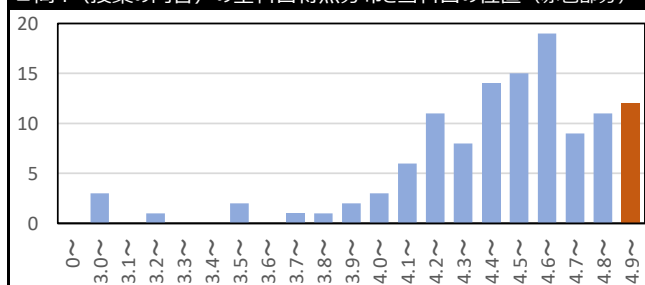
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0% 20% 40% 60% 80% 100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7	5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7	5.00	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	7	5.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	7	5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	7	5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	7	5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	7	5.00	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	4 3	4.57	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	7	5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	7	5.00	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7	5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7	5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	6 1	4.86	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7	5.00	4.62
問1~14全問平均			4.96	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

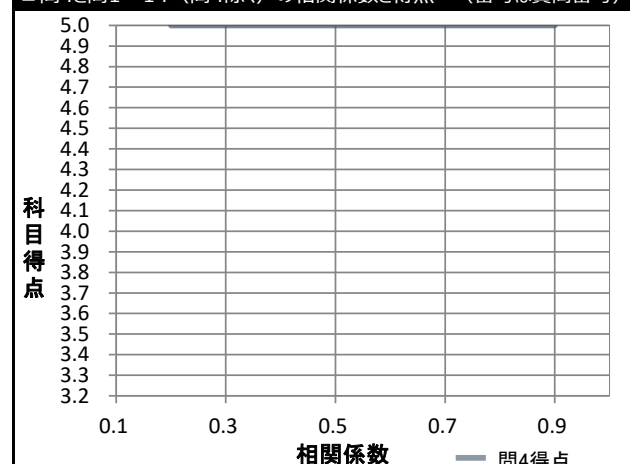


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容 [質問4] 向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	数学Ⅱ	[1D0200]	学部	看護学部	履修者数	48	回答率	
教員名	山下 龍生		授業形態	講義	回答数	37	77.1%	

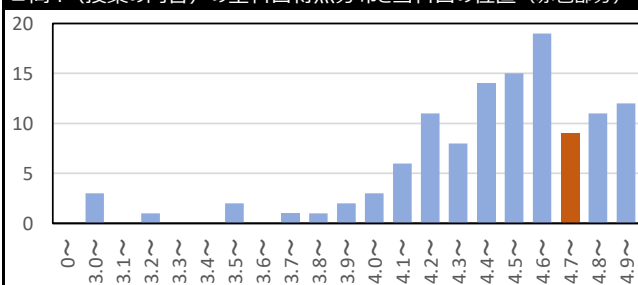
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

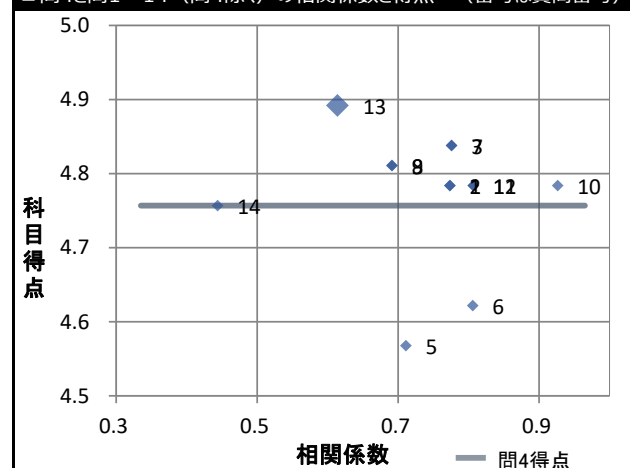


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

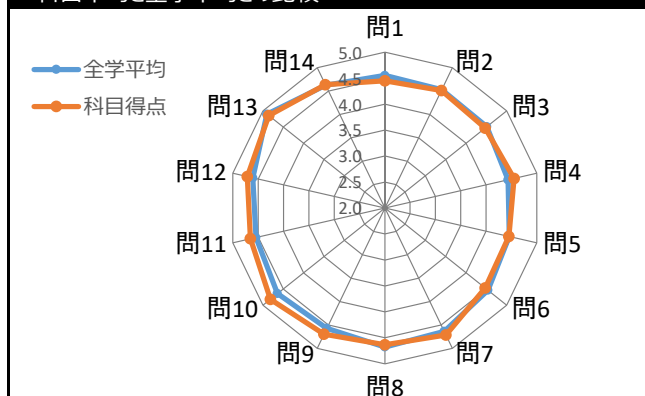
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	生物学Ⅱ	[1D0400]	学部	看護学部	履修者数	75	回答率
教員名	宮崎 正峰		授業形態	講義	回答数	49	65.3%

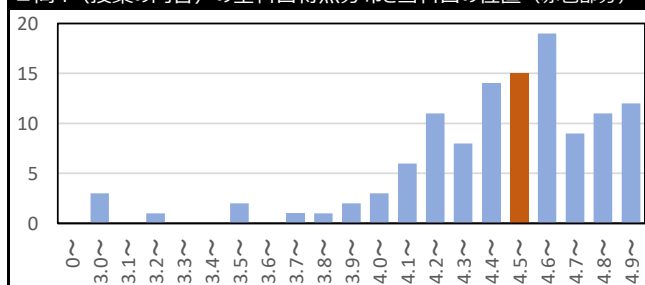
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	24				24		4.45	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	29			16		4	4.51	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	27			18		4	4.47	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	30			17			4.55	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	27			18		3	4.45	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	28			17		3	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	37			10		2	4.71	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	34			12		3	4.63	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	36			11		2	4.69	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	41			7			4.82	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	34			13		2	4.65	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	37			10		2	4.71	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	42			7			4.86	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	33			14		2	4.63	4.62
問1~14全問平均								4.62	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

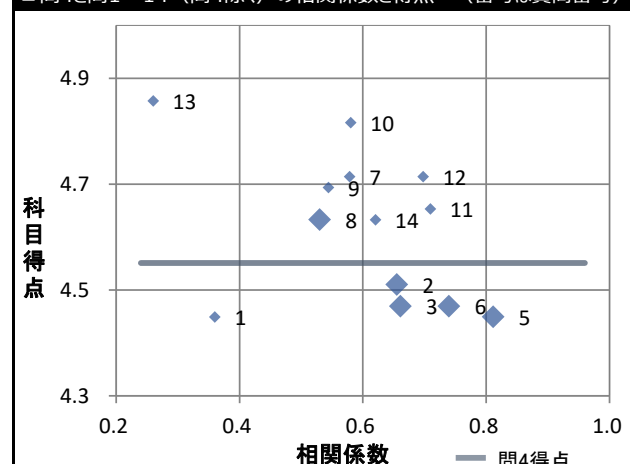


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

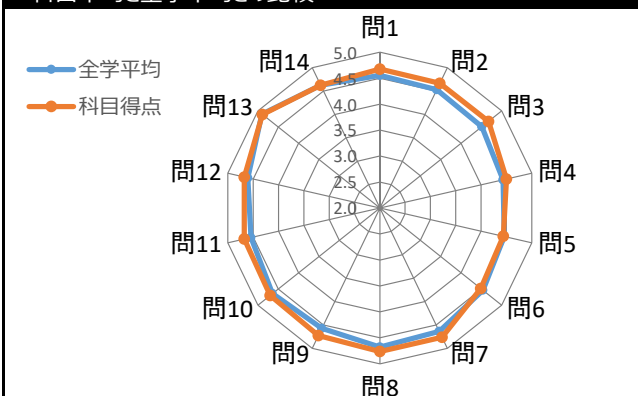
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	情報学概論	[1E0100]	学部	看護学部	履修者数	125	回答率
教員名	鷹田 佳典		授業形態	講義	回答数	80	64.0%

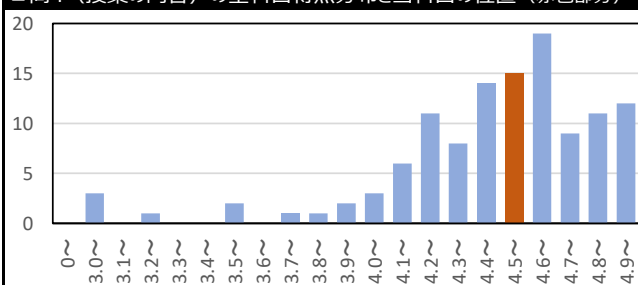
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	57				21		4.68	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	57			19	4		4.66	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	56			22			4.68	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	50			24	4		4.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	50			22	3	3	4.44	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	51			21	6		4.49	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	61			19			4.76	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	62			17			4.76	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	58			22			4.73	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	57			22			4.70	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	57			20	3		4.68	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	57			20	3		4.68	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	71			9			4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	60			13	5		4.63	4.62
問1〜14全問平均								4.66	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

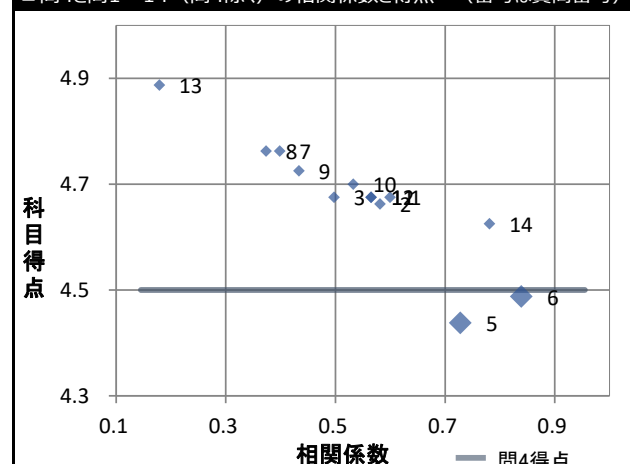


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	情報科学	[1E0201]	学部	看護学部	履修者数	22	回答率
教員名	川崎 洋平		授業形態	講義	回答数	1	4.5%

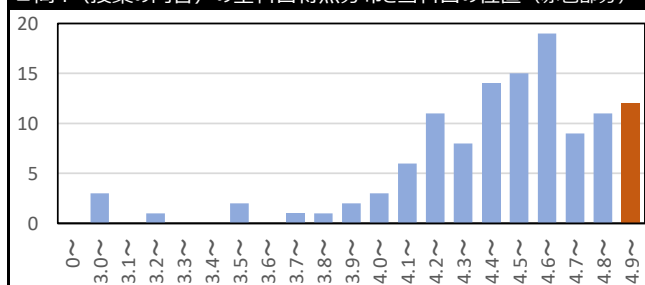
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						1	5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						1	5.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						1	5.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						1	5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。						1	5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						1	5.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						1	4.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						1	5.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。						1	5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						1	4.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						1	5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						1	5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。						1	5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						1	5.00	4.62
問1~14全問平均								4.86	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

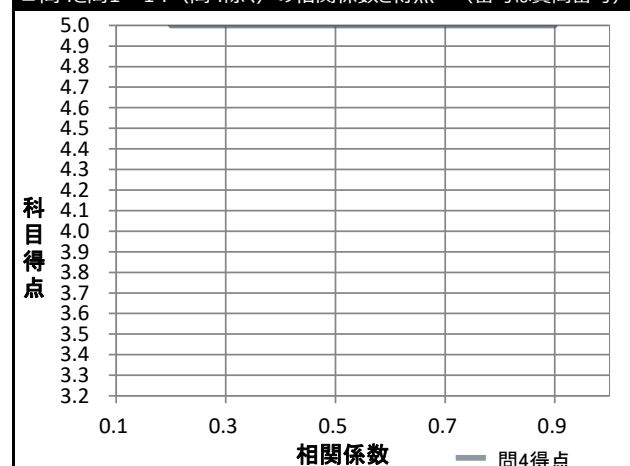


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

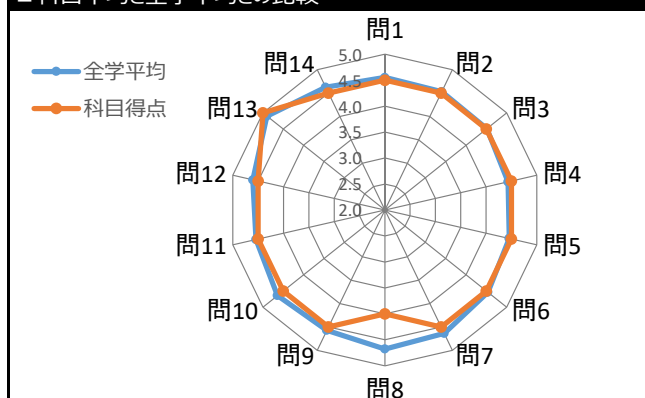
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	情報科学	[1E0202]	学部	看護学部	履修者数	18	回答率
教員名	川崎 洋平		授業形態	講義	回答数	2	11.1%

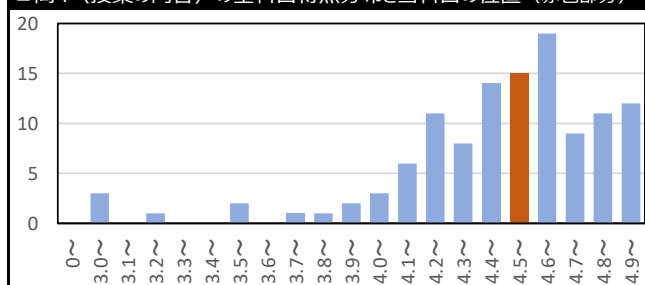
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1				1		4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1				1		4.50	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1				1		4.50	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	1				1		4.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1				1		4.50	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	1				1		4.50	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1				1		4.50	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。				2			4.00	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1				1		4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	1				1		4.50	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1				1		4.50	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	1				1		4.50	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。				2			5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1				1		4.50	4.62
問1~14全問平均								4.50	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

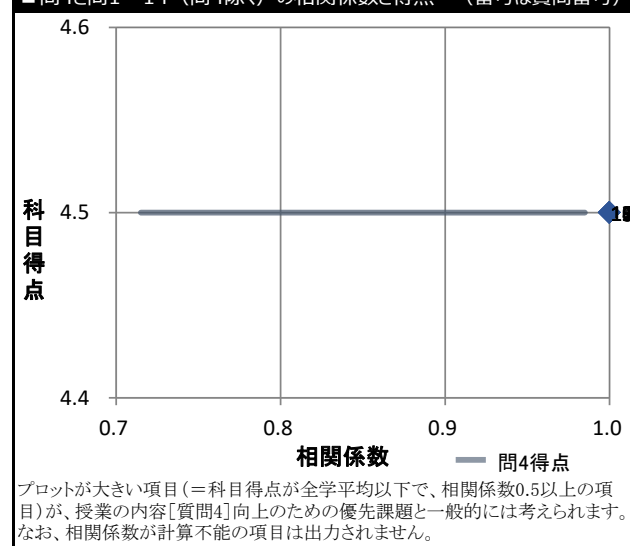


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語R1-2	[1F0301]	学部	看護学部	履修者数	38	回答率
教員名	遠藤 花子		授業形態	講義	回答数	23	60.5%

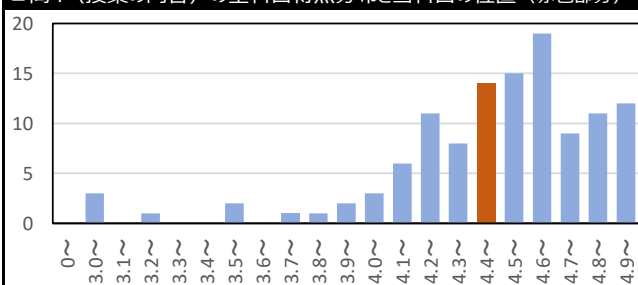
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	12				11		4.52	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11				12		4.48	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9		9		4	1	4.13	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	11			11		1	4.43	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	12				11		4.52	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	12			10		1	4.48	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	14				9		4.61	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13				9	1	4.52	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	13				10		4.57	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	11				11	1	4.43	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	13				10		4.57	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14				9		4.61	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	20					3	4.87	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17				5	1	4.65	4.62
問1~14全問平均								4.53	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

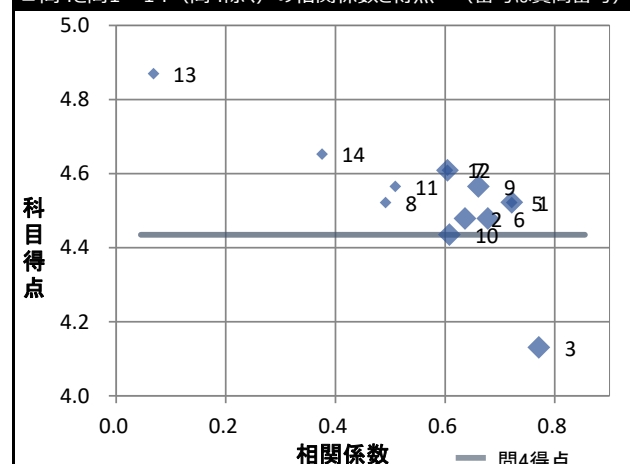


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

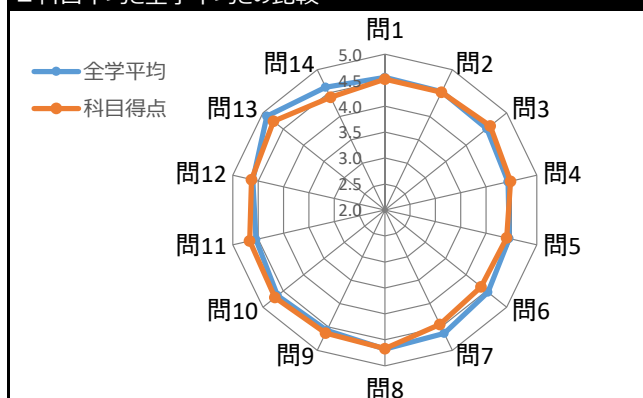
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語R1-2	[1F0302]	学部	看護学部	履修者数	35	回答率	
教員名	川崎 修一		授業形態	講義	回答数	27	77.1%	

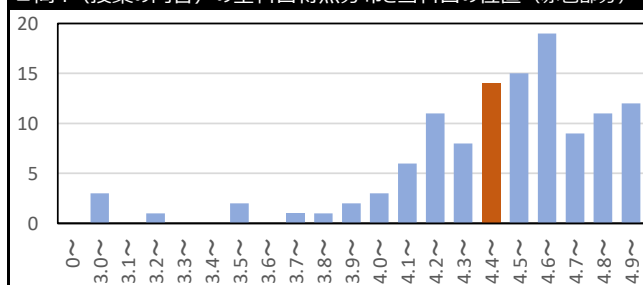
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	16	9	2				4.52	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	16	9	2				4.52	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17	9	1				4.59	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	16	8	3				4.48	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	13	12	2				4.41	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	15	7	5				4.37	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	18	6	3				4.44	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	19	7	1				4.67	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	19	6	2				4.63	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	20	6	1				4.70	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	19	7	1				4.67	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	18	8	1				4.63	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	20	7					4.74	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	14	10	3				4.41	4.62
問1~14全問平均								4.56	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

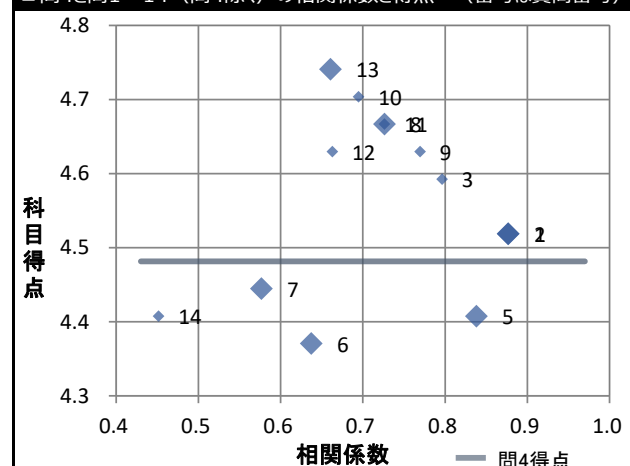


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

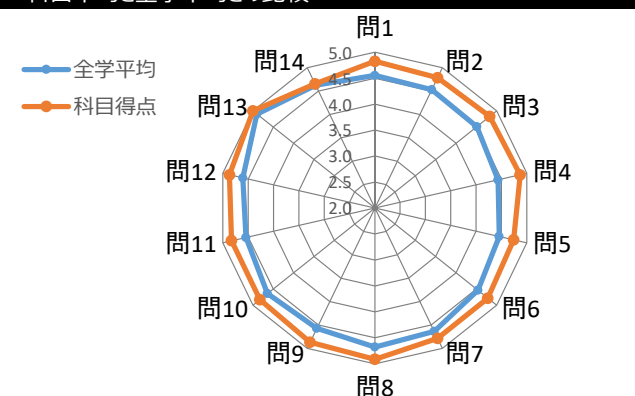
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語R1-2	[1F0303]	学部	看護学部	履修者数	37	回答率
教員名	遠藤 花子		授業形態	講義	回答数	23	62.2%

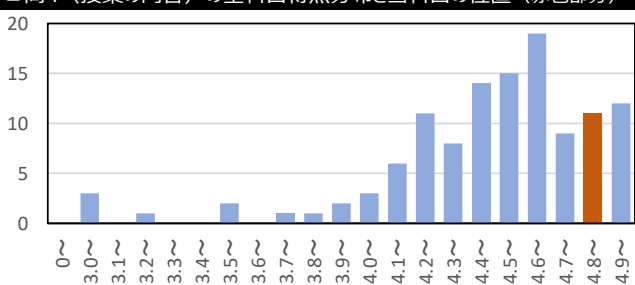
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	19				4		4.83	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	19				3	1	4.78	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	19				4		4.83	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	20				3		4.87	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	19				3	1	4.74	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	19				3	1	4.78	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	19				3	1	4.78	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	21				2		4.91	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	20				3		4.87	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	19				4		4.83	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	20				2	1	4.83	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20				3		4.87	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	23						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16				6	1	4.65	4.62
問1~14全問平均								4.83	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

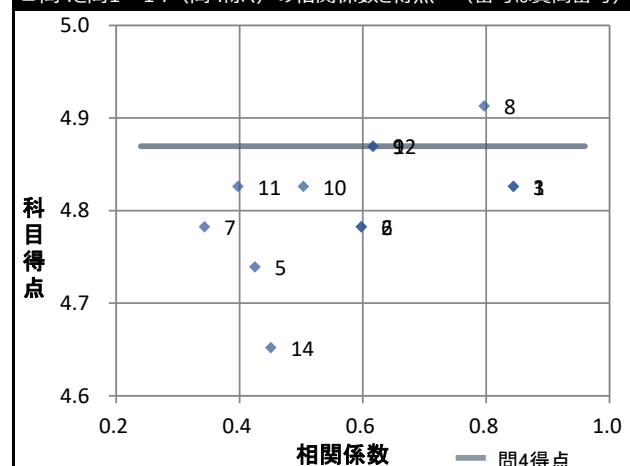


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語R1-2	[1F0304]	学部	看護学部	履修者数	35	回答率
教員名	川崎 修一		授業形態	講義	回答数	23	65.7%

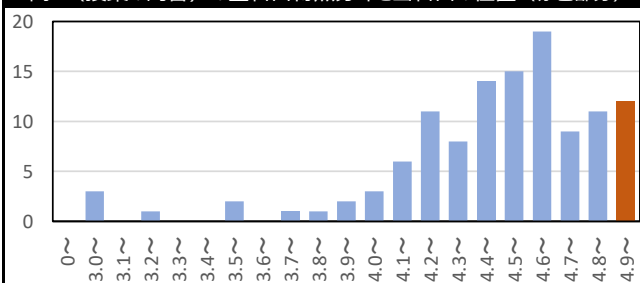
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	21						11	4.87	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	21						2	4.91	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	21						2	4.91	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	22						1	4.96	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	21						11	4.87	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	21						2	4.91	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	21						2	4.91	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	22						1	4.96	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	21						2	4.91	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	22						1	4.96	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	21						2	4.91	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	21						2	4.91	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	23							5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	20						21	4.83	4.62
問1～14全問平均								4.92	4.59	

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

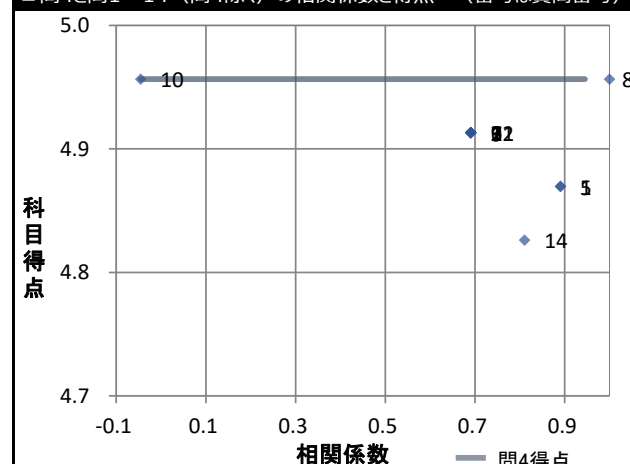


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

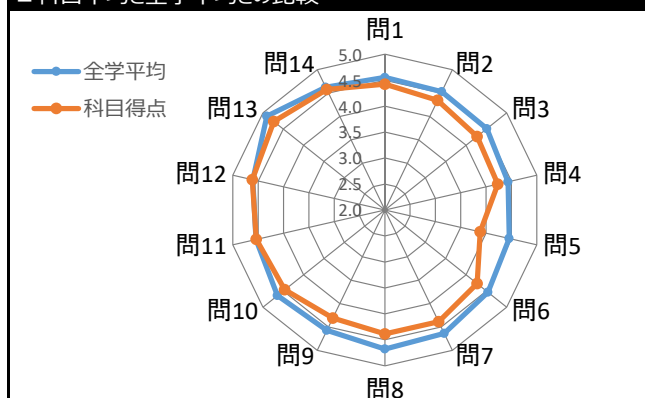
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語W1-2	[1F0501]	学部	看護学部	履修者数	37	回答率	
教員名	佐藤 真		授業形態	講義	回答数	26	70.3%	

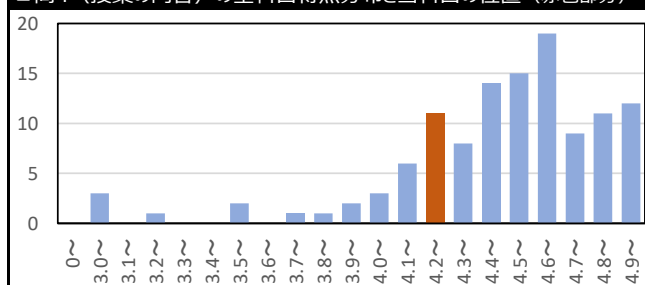
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	12	13	1				4.42	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10	15	1				4.35	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	11	4				4.27	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	11	11	3	1			4.23	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	9	10	3	3	1		3.88	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	11	11	4				4.27	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11	14	1				4.38	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12	12	2				4.38	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	12	10	4				4.31	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	14	10	2				4.46	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	15	10	1				4.54	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	17	8	1				4.62	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	20	5	1				4.73	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	9	1				4.58	4.62
問1~14全問平均								4.39	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

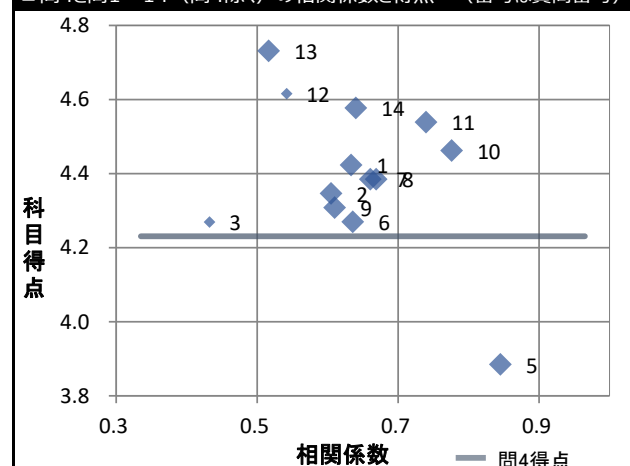


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語W1-2	[1F0502]	学部	看護学部	履修者数	32	回答率
教員名	Michelle van Bokhorst		授業形態	講義	回答数	27	84.4%

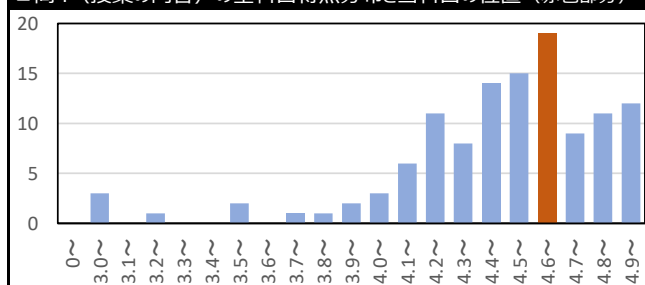
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

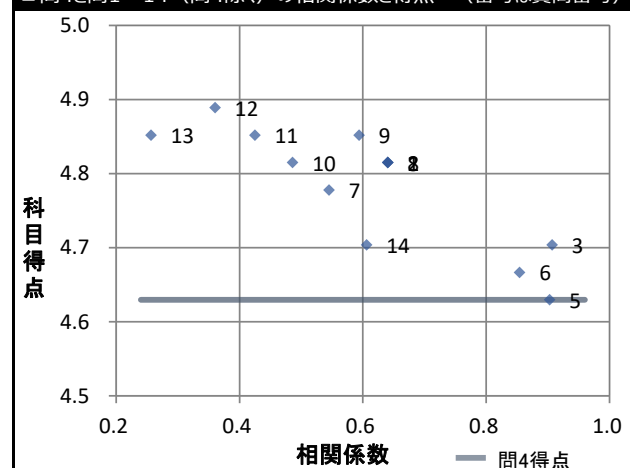


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

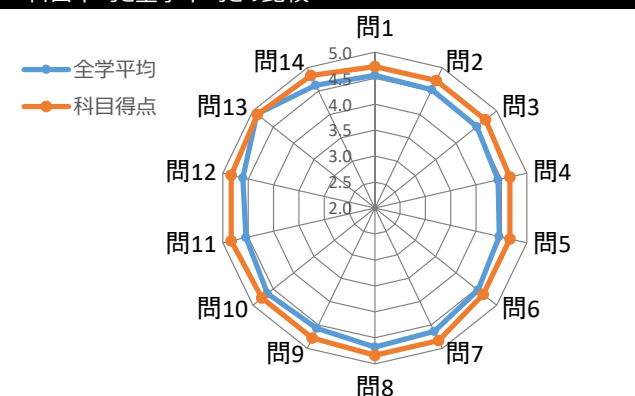
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語W1-2	[1F0503]	学部	看護学部	履修者数	36	回答率
教員名	佐藤 真		授業形態	講義	回答数	18	50.0%

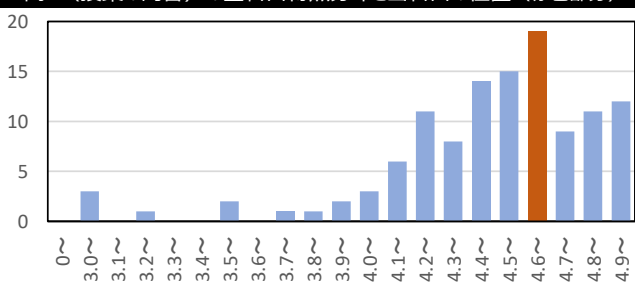
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	14	3	1				4.72	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	14	3	1				4.72	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	14	3	1				4.72	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	14	3	1				4.67	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	14	3	1				4.67	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	14	3	1				4.67	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	15	3					4.83	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	15	3					4.83	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	14	4					4.78	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	14	4					4.78	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	15	3					4.83	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	15	3					4.83	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下)だった。	16	2					4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15	3					4.83	4.62
問1~14全問平均								4.77	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

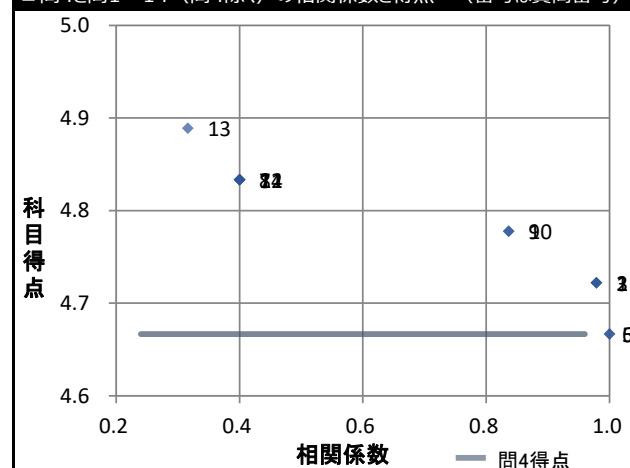


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

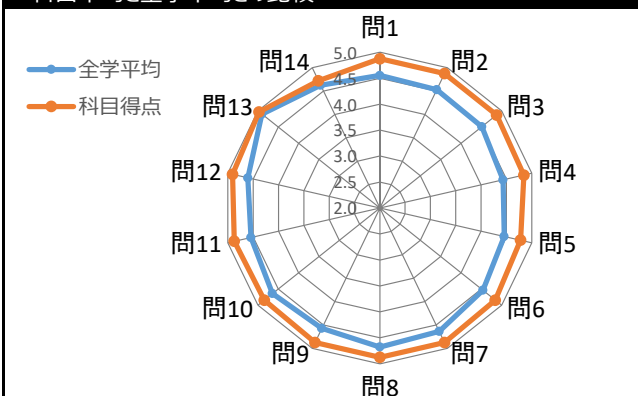
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語W1-2	[1F0504]	学部	看護学部	履修者数	33	回答率
教員名	Michelle van Bokhorst		授業形態	講義	回答数	32	97.0%

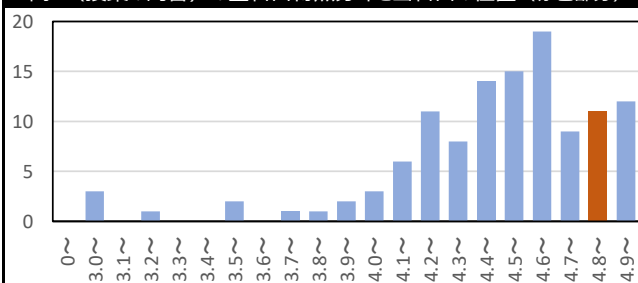
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					28	4	4.88	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					28	4	4.88	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					28	4	4.88	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。					27	5	4.84	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。					27	4	4.78	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。					27	5	4.84	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					28	4	4.88	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。					28	4	4.88	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。					28	4	4.88	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。					27	5	4.84	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					28	4	4.88	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。					29	3	4.91	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。					31	1	4.97	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					25	6	4.72	4.62
問1~14全問平均								4.86	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

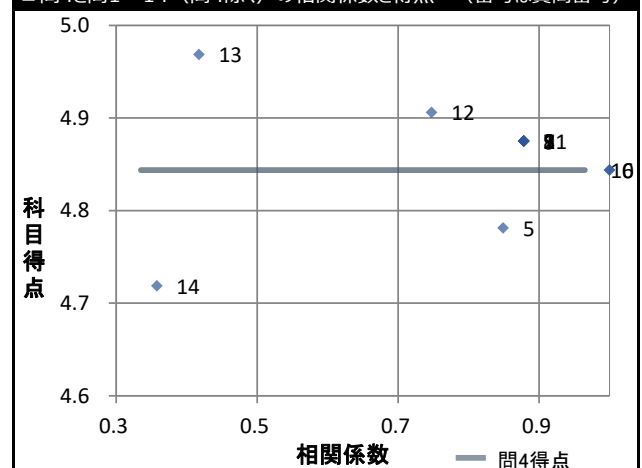


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

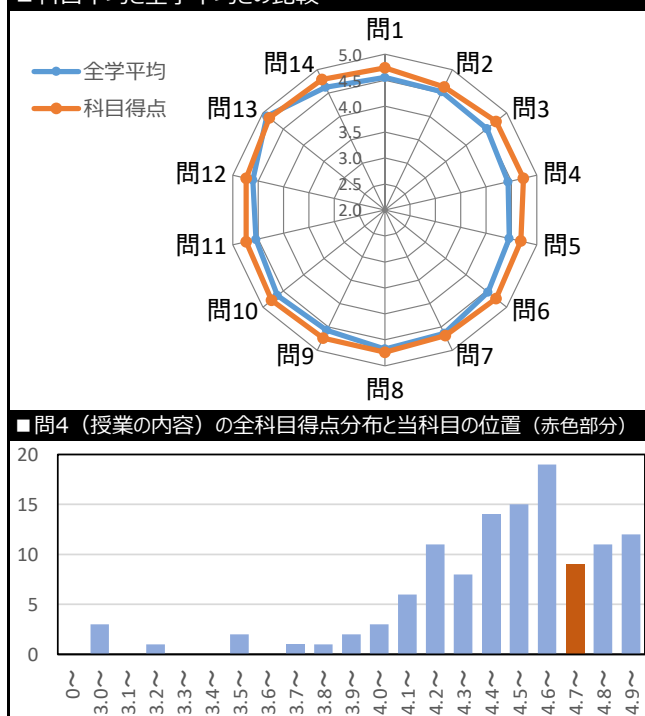
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語LS1-2	[1F0701]	学部	看護学部	履修者数	20	回答率
教員名	Benjamin Tatcher		授業形態	講義	回答数	19	95.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.74	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.63	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.74	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.74	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.68	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.74	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.68	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.74	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.74	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.79	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.74	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.74	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9 割以上、4：8 ～ 7 割程度、3：6 ～ 5 割程度、2：4 割程度、1：3 割以下）だった。							4.84	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.79	4.62
問1～14全問平均								4.74	4.59

■科目平均と全学平均との比較

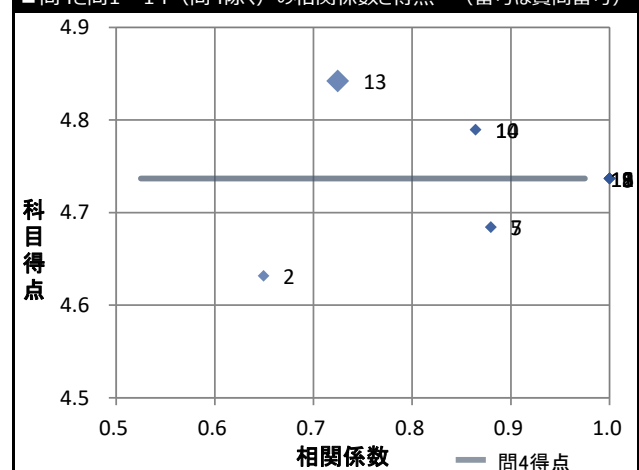


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語LS1-2	[1F0702]	学部	看護学部	履修者数	14	回答率	
教員名	Sam Bamkin		授業形態	講義	回答数	7	50.0%	

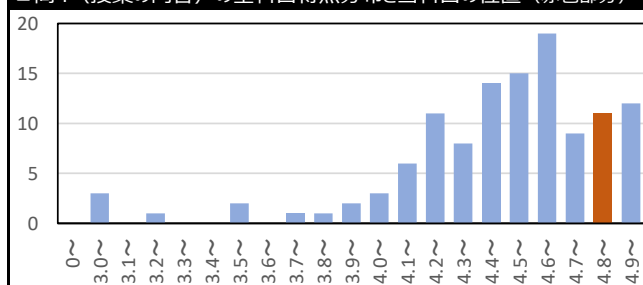
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						6	4.86	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						6	4.86	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						6	4.86	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						6	4.86	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。					5	2	4.71	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						6	4.86	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						6	4.86	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						6	4.86	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。						6	4.86	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						6	4.86	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						6	4.86	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						6	4.86	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。						7	5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						6	4.86	4.62
問1~14全問平均								4.86	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

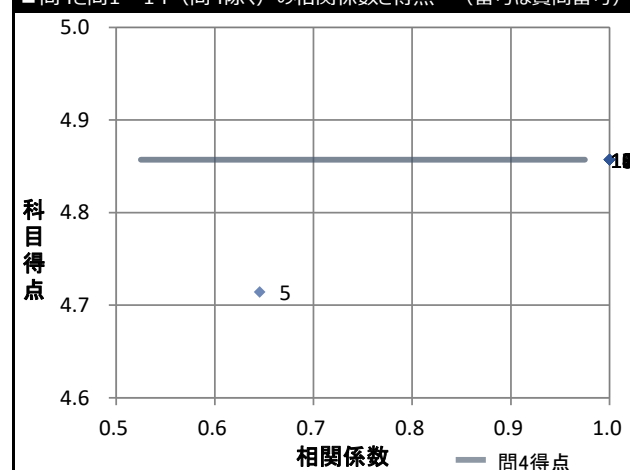


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語LS1-2	[1F0703]	学部	看護学部	履修者数	18	回答率
教員名	Michelle van Bokhorst		授業形態	講義	回答数	16	88.9%

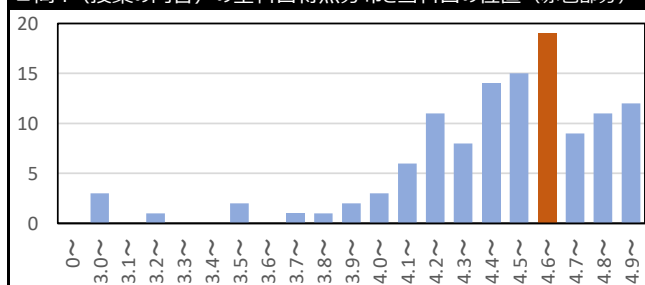
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11	5					4.69	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11	5					4.69	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	3					4.81	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	11	5					4.69	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10	5	1				4.56	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	10	5	1				4.56	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	14	2					4.88	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	6	1				4.50	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容は適切だった。	12	4					4.75	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	11	5					4.69	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	12	4					4.75	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	13	3					4.81	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	14	2					4.88	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	5	1				4.50	4.62
問1~14全問平均								4.70	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

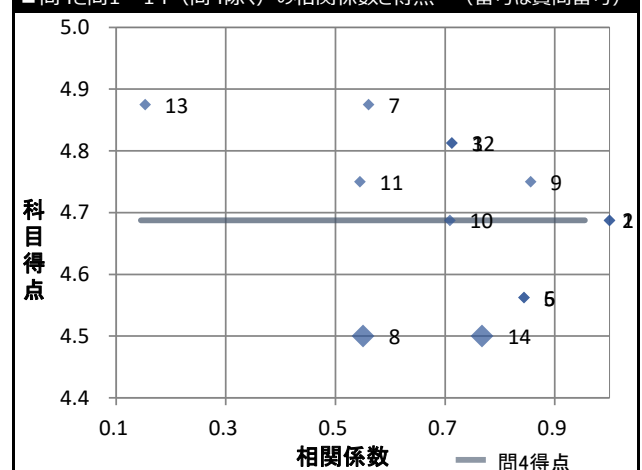


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

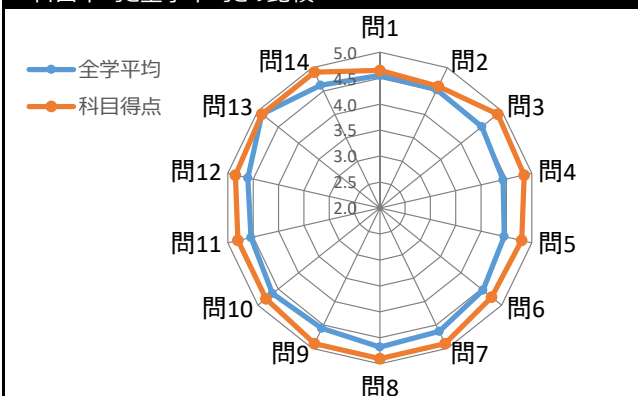
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語LS1-2	[1F0704]	学部	看護学部	履修者数	21	回答率
教員名	Benjamin Tatcher		授業形態	講義	回答数	20	95.2%

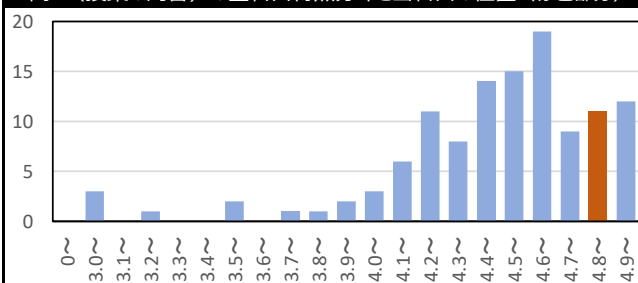
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	14	5	1				4.65	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	14	4	2				4.60	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	2					4.90	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	18	1	1				4.85	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	17	2	1				4.80	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	16	3	1				4.75	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	18	2					4.90	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	18	2					4.90	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	18	2					4.90	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	17	2	1				4.80	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	17	2	1				4.80	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	18	1	1				4.85	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	18	2					4.90	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18	2					4.90	4.62
問1~14全問平均								4.82	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

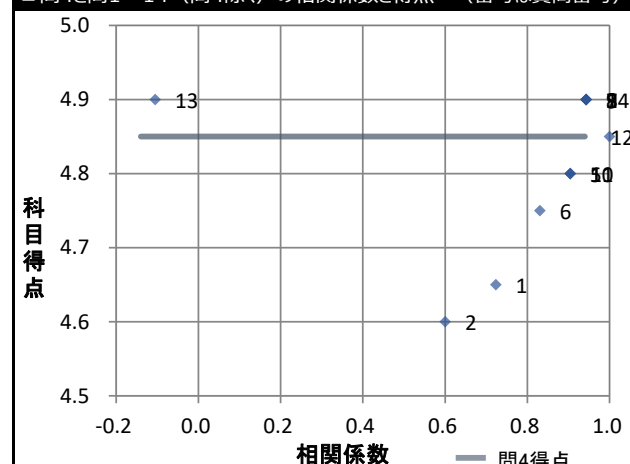


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語LS1-2	[1F0705]	学部	看護学部	履修者数	20	回答率
教員名	Sam Bamkin		授業形態	講義	回答数	11	55.0%

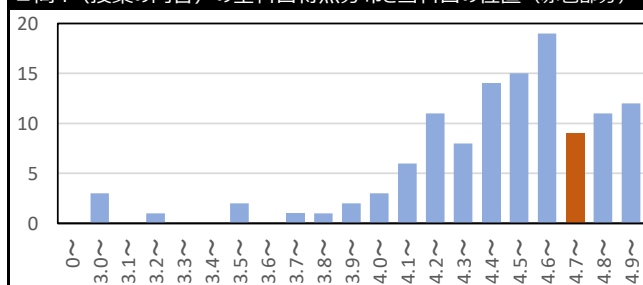
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					8	3	4.73	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					8	3	4.73	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					8	3	4.73	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。					8	3	4.73	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。					8	3	4.73	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。					7	4	4.64	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					7	4	4.64	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。					7	4	4.64	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容は適切だった。					8	3	4.73	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。					8	3	4.73	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					8	3	4.73	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。					8	3	4.73	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。					10	1	4.91	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					9	2	4.82	4.62
問1~14全問平均								4.73	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

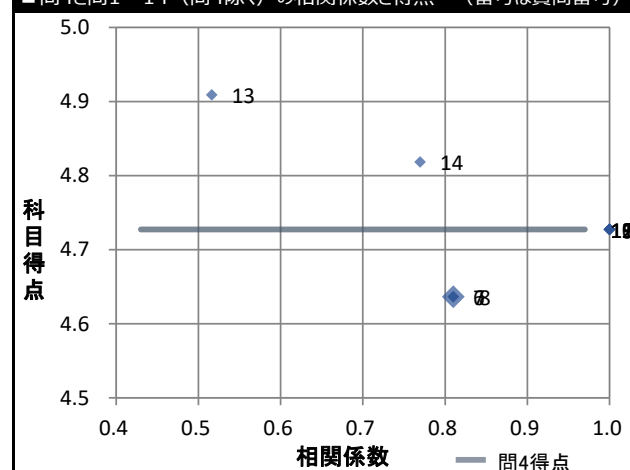


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

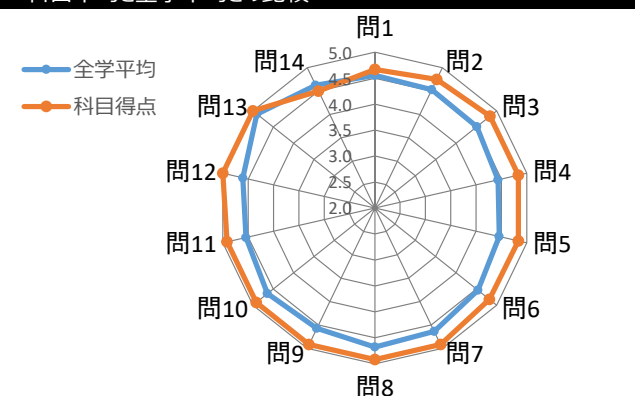
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語LS1-2	[1F0706]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst		授業形態	講義	回答数	12	92.3%	

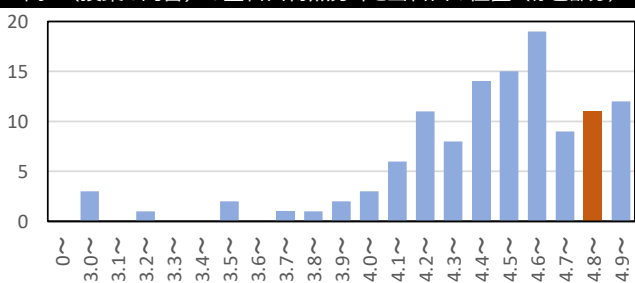
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8 4						4.67	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9 3						4.75	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	10 2						4.83	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	10 2						4.83	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10 2						4.83	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	9 2 1						4.82	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11 1						4.92	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	11 1						4.92	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	11 1						4.92	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	11 1						4.92	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	11 1						4.92	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	12						5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9 割以上、4：8 ～ 7 割程度、3：6 ～ 5 割程度、2：4 割程度、1：3 割以下）だった。	12						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7 4 1						4.50	4.62
問1～14全問平均								4.84	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

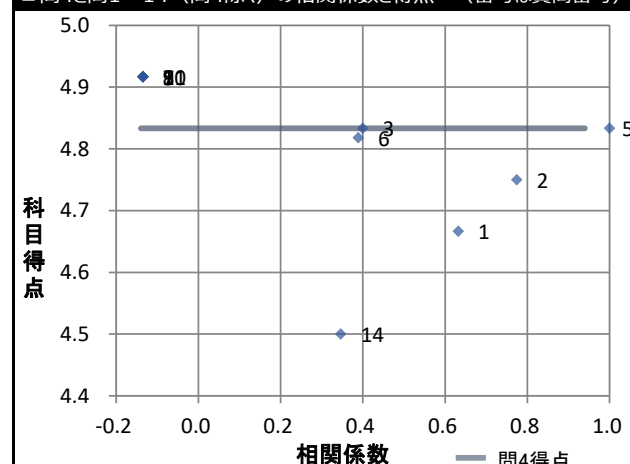


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

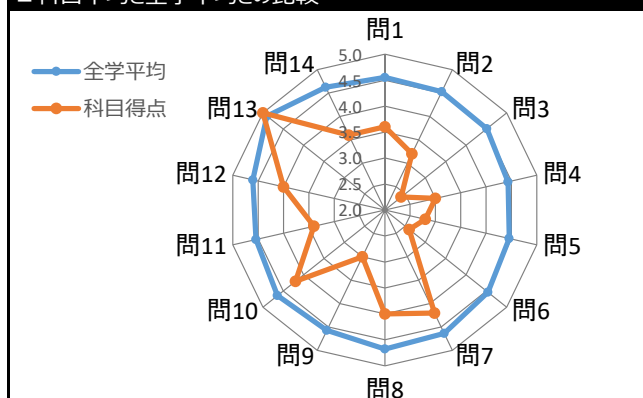
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語R2-2	[1F0901]	学部	看護学部	履修者数	40	回答率
教員名	野村 美由紀		授業形態	講義	回答数	5	12.5%

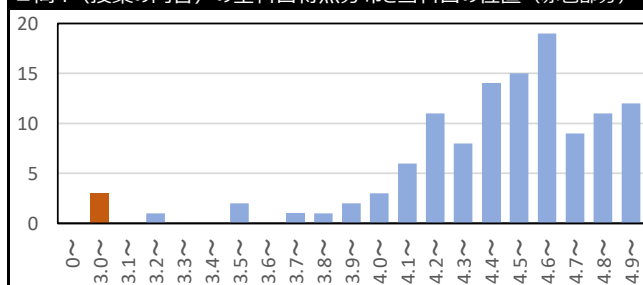
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2	1	1	1			3.60	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2	1	1	1			3.20	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1	1	1	2			2.40	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2	1	2				3.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1	2	1	1			2.80	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	2	2	1				2.60	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2	2	1				4.20	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1	3	1				4.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	2	2	1				3.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	2	2	1				4.20	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2	2	1				3.40	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2	1	2				4.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1	2	1	1			3.60	4.62
問1~14全問平均								3.50	4.59

■科目平均と全学平均との比較



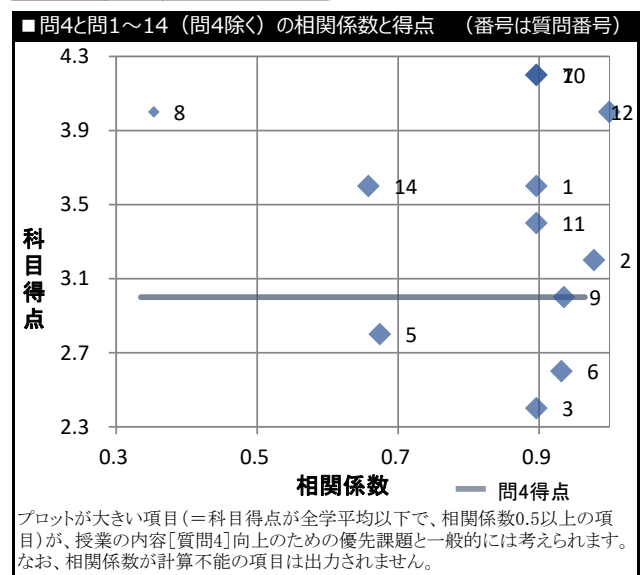
■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



授業改善アンケート【講義】科目別集計

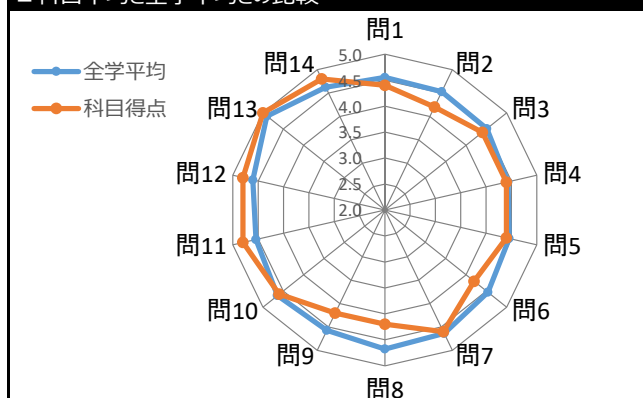
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語R2-2	[1F0902]	学部	看護学部	履修者数	42	回答率
教員名	皆川 健次郎		授業形態	講義	回答数	5	11.9%

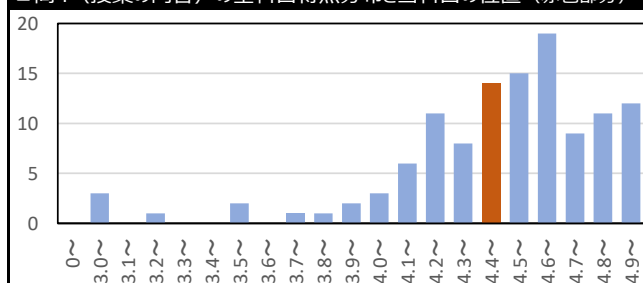
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2	3					4.40	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2	2	1				4.20	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2	3					4.40	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2	3					4.40	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3	1	1				4.40	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	3	1	1				4.20	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3	2					4.60	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3	1	1				4.20	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	3	1	1				4.20	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	3	2					4.60	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4	1					4.80	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4	1					4.80	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	1					4.80	4.62
問1~14全問平均								4.50	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

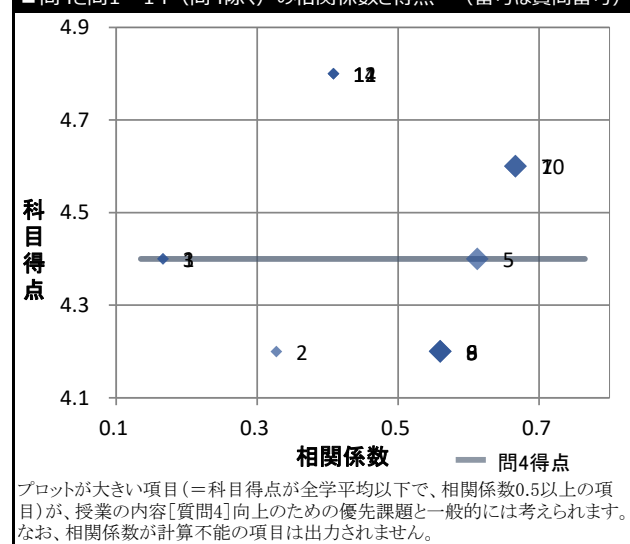


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

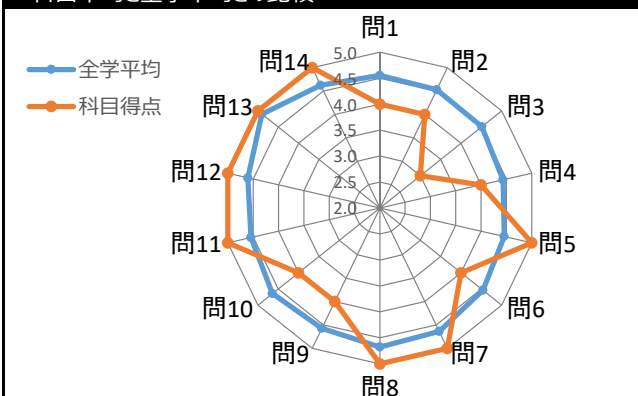
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語R2-2	[1F0903]	学部	看護学部	履修者数	36	回答率
教員名	野村 美由紀		授業形態	講義	回答数	1	2.8%

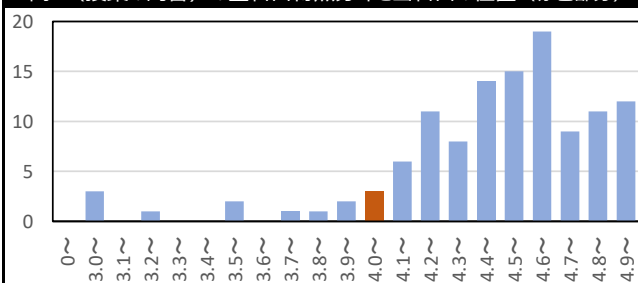
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						1	4.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						1	4.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						1	3.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						1	4.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。						1	5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						1	4.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						1	5.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						1	5.00	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。						1	4.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						1	4.00	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						1	5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						1	5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。						1	5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						1	5.00	4.62
問1~14全問平均								4.43	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

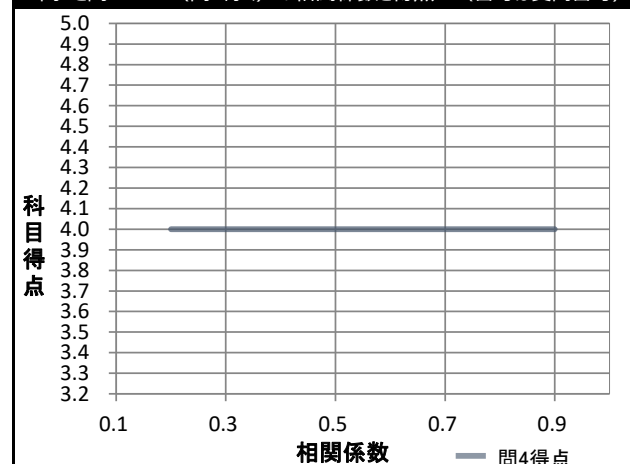


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語R2-2	[1F0904]	学部	看護学部	履修者数	36	回答率
教員名	皆川 健次郎		授業形態	講義	回答数	1	2.8%

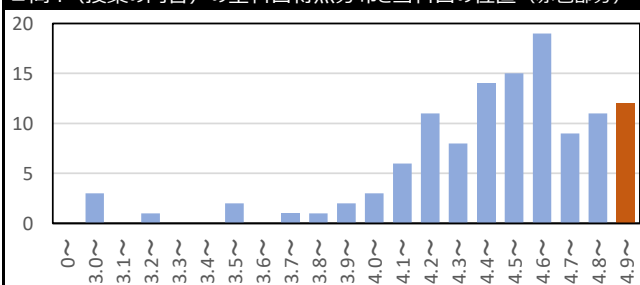
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						1	5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						1	5.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						1	5.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						1	5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。						1	4.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						1	4.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						1	5.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						1	4.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。						1	4.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						1	5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						1	5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						1	5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。						1	5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						1	5.00	4.62
問1~14全問平均								4.71	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

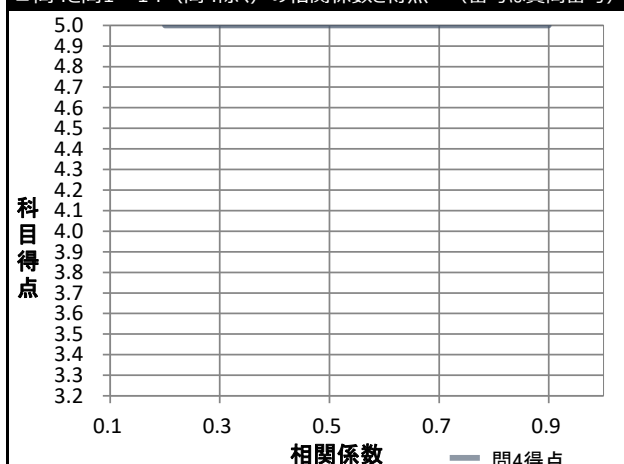


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語W2-2	[1F1100]	学部	看護学部	履修者数	25	回答率
教員名	遠藤 花子		授業形態	講義	回答数	1	4.0%

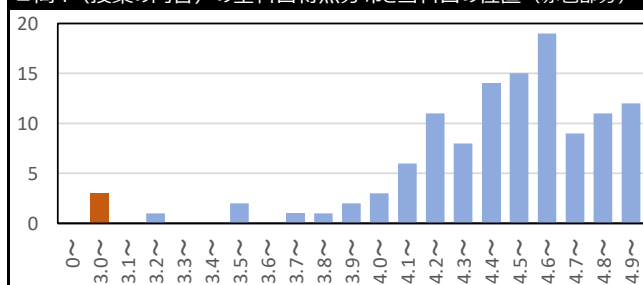
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						1	5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						1	4.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						1	3.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						1	3.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。						1	5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						1	4.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						1	4.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						1	4.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。						1	4.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						1	5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						1	3.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						1	4.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。						1	5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						1	4.00	4.62
問1~14全問平均								4.07	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

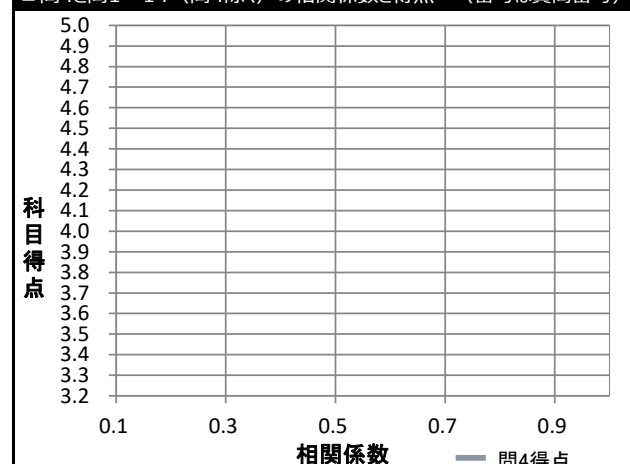


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

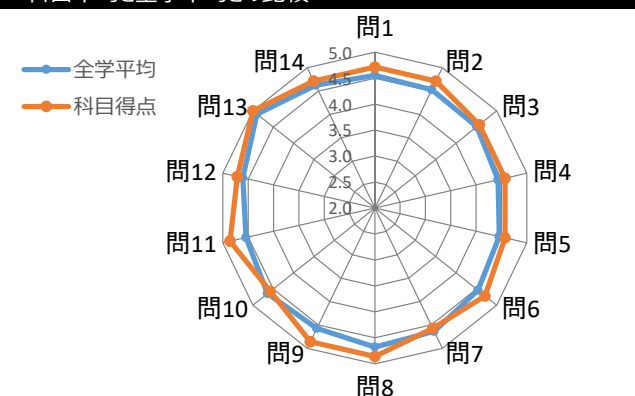
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語W2-2	[1F1103]	学部	看護学部	履修者数	11	回答率
教員名	遠藤 花子		授業形態	講義	回答数	7	63.6%

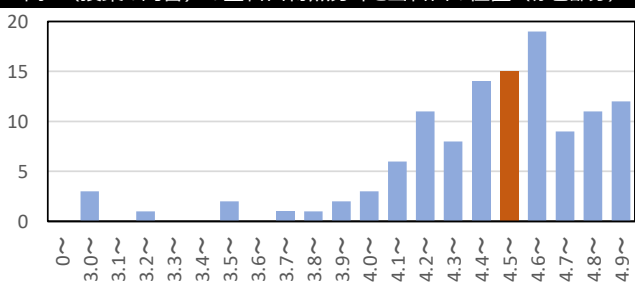
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5 2						4.71	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5 2						4.71	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	4 3						4.57	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	4 3						4.57	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4 3						4.57	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	5 2						4.71	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5 1 1						4.57	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	6 1						4.86	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	6 1						4.86	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	4 3						4.57	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6 1						4.86	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5 2						4.71	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	7						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5 2						4.71	4.62
問1～14全問平均								4.71	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

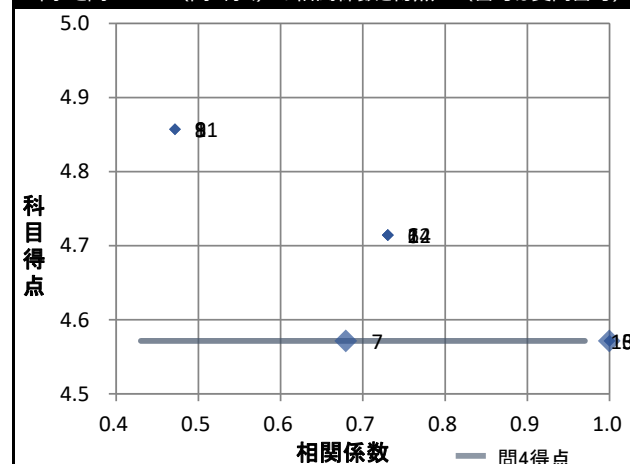


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

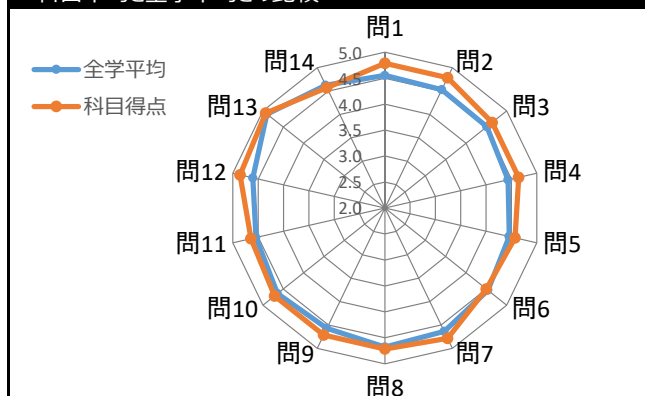
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	中国語Ⅱ	[1F1701]	学部	看護学部	履修者数	24	回答率
教員名	神谷 智幸		授業形態	講義	回答数	14	58.3%

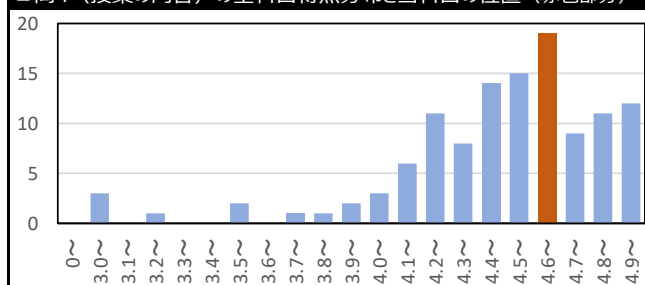
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11				3		4.79	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11				3		4.79	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10			3	1		4.64	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	9			5			4.64	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	9			4	1		4.57	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	8			5	1		4.50	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11				3		4.79	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11			2	1		4.71	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	10				4		4.71	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	10				4		4.71	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10			3	1		4.64	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	12				2		4.86	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	13				1		4.93	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9			4	1		4.57	4.62
問1〜14全問平均								4.70	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

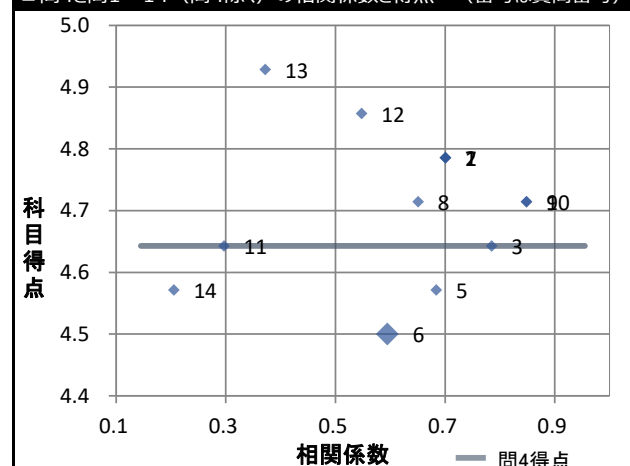


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	中国語Ⅱ	[1F1702]	学部	看護学部	履修者数	14	回答率
教員名	神谷 智幸		授業形態	講義	回答数	4	28.6%

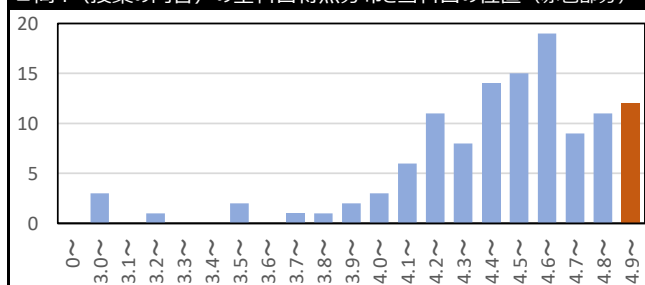
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			4				5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			4				5.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			4				5.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。			4				5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。			4				5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。			4				5.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			4				5.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。			4				5.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。			4				5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。			4				5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			4				5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。			4				5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			4				5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			4				5.00	4.62
問1〜14全問平均								5.00	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

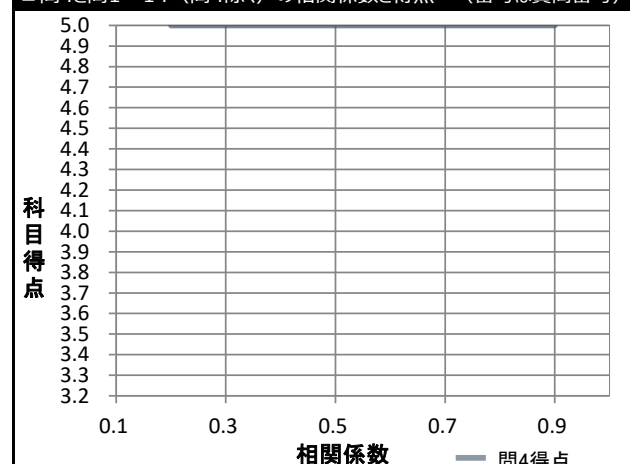


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

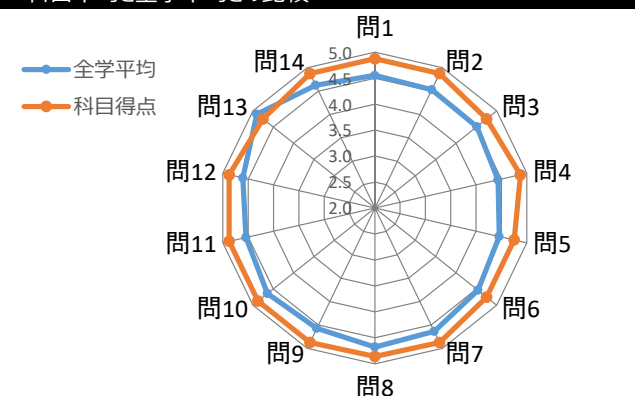
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	フランス語Ⅱ	[1F1901]	学部	看護学部	履修者数	9	回答率
教員名	西脇 雅彦		授業形態	講義	回答数	8	88.9%

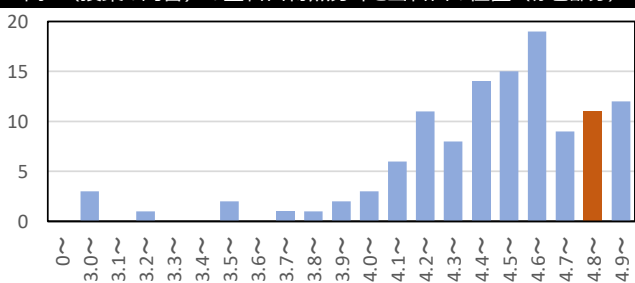
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.88	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.88	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.75	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.88	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.75	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.75	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.88	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.86	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.88	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.88	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.88	4.60
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.75	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.88	4.62
問1～14全問平均								4.84	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

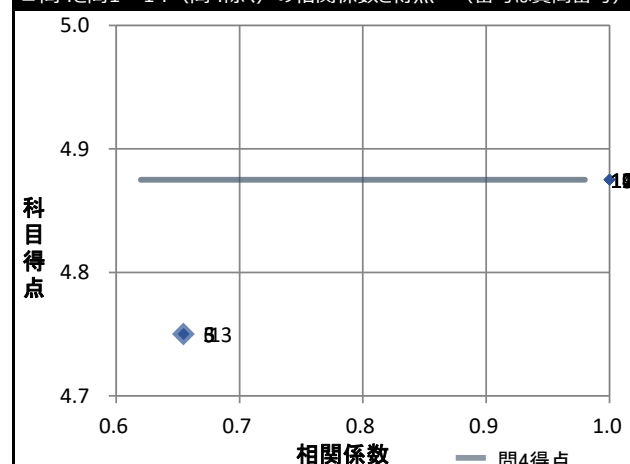


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

2021年度後期

科目名	フランス語Ⅱ	[1F1902]	学部	看護学部	履修者数	7	回答率
教員名	西脇 雅彦		授業形態	講義	回答数	7	100.0%

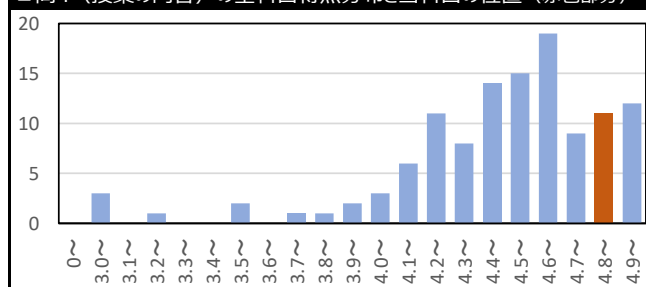
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						6	4.86	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						6	4.86	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						6	4.86	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						6	4.86	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。						6	4.86	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						6	4.86	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						6	4.86	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						5	4.71	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容は適切だった。						5	4.71	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						6	4.86	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						6	4.86	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						6	4.86	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。						6	4.86	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						6	4.86	4.62
問1〜14全問平均								4.84	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

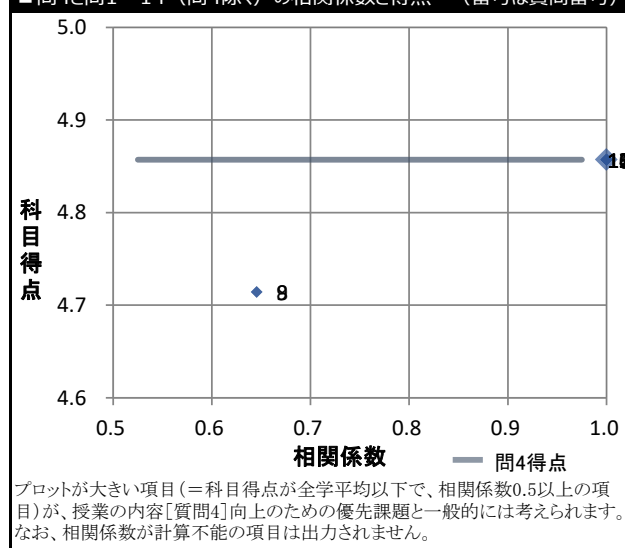


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0201]	学部	看護学部	履修者数	14	回答率	
教員名	遠藤 公久		授業形態	講義	回答数	14	100.0%	

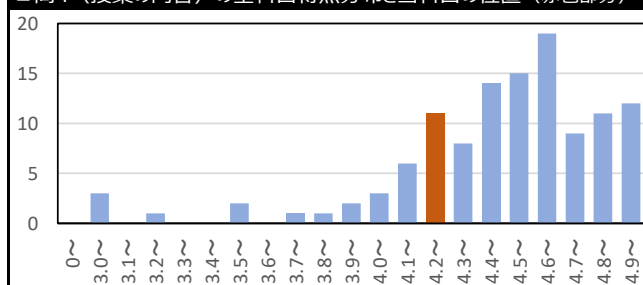
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6	6	1	1			4.21	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6	6	1	1			4.21	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7	6	1				4.36	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	6	7	1				4.29	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	7	5	1	1			4.14	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	7	5	1	1			4.14	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6	7	1				4.29	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	5	1				4.43	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	6	6	1	1			4.14	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	7	5	1	1			4.29	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6	7	1				4.29	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	5	1				4.43	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	12	2					4.86	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8	4	1	1			4.29	4.62
問1〜14全問平均								4.31	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

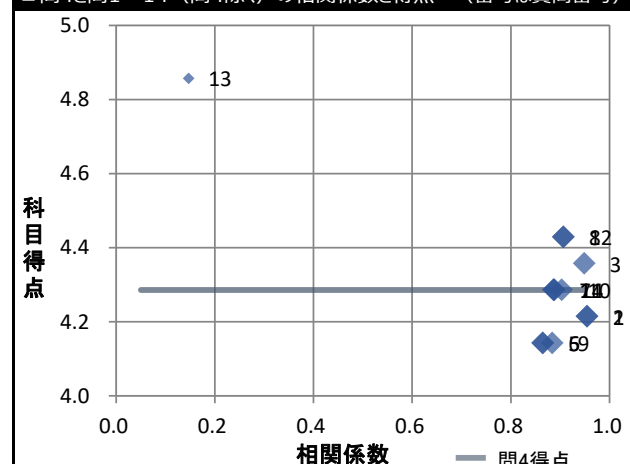


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0202]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	川崎 修一		授業形態	講義	回答数	10	83.3%

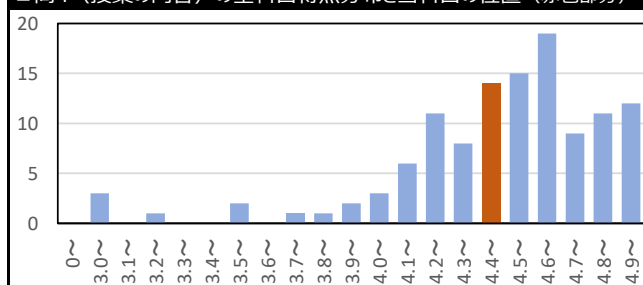
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5	4	1				4.40	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5	4	1				4.40	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	4					4.60	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	5	4	1				4.40	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5	3	1	1			4.20	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	5	3	1	1			4.20	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5	4	1				4.40	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	3	1				4.50	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	5	3	2				4.10	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	6	4					4.60	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5	4	1				4.40	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6	3	1				4.50	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	8	2					4.80	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	4	1				4.30	4.62
問1~14全問平均								4.41	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

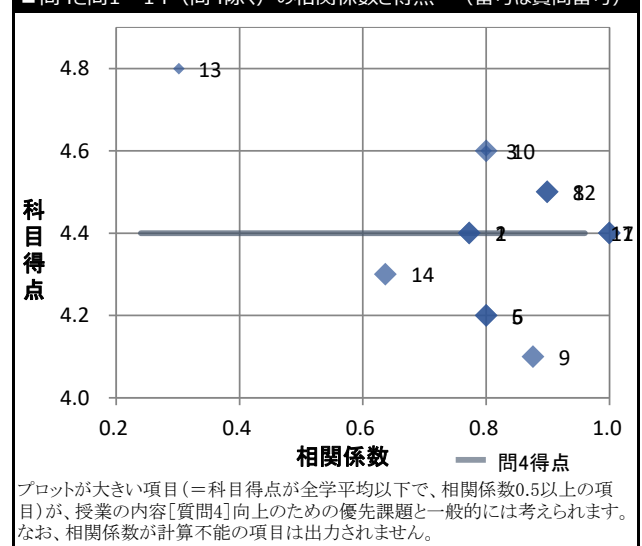


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

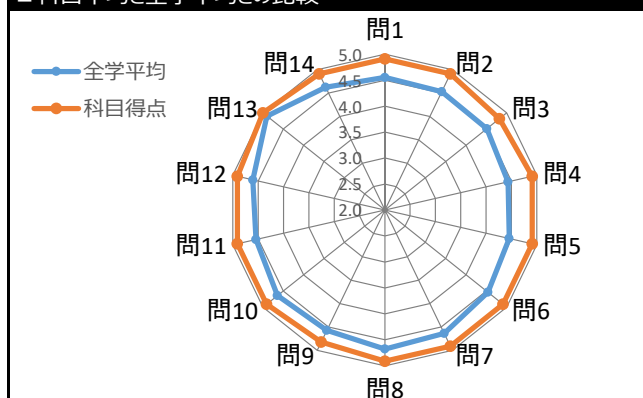
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0203]	学部	看護学部	履修者数	14	回答率	
教員名	遠藤 花子		授業形態	講義	回答数	11	78.6%	

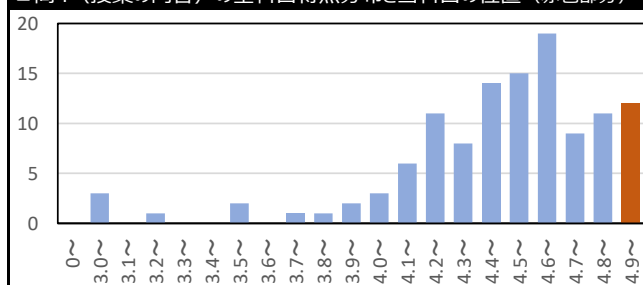
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						10	4.91	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						10	4.91	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						9	4.82	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						10	4.91	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。						10	4.91	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						10	4.91	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						10	4.91	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						10	4.91	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。						9	4.82	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						10	4.91	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						10	4.91	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						10	4.91	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。						11	5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						10	4.91	4.62
問1〜14全問平均								4.90	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

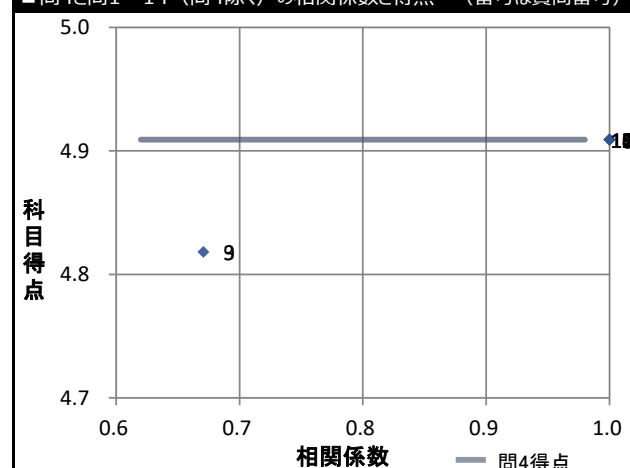


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0204]	学部	看護学部	履修者数	10	回答率
教員名	井上 明宏		授業形態	講義	回答数	8	80.0%

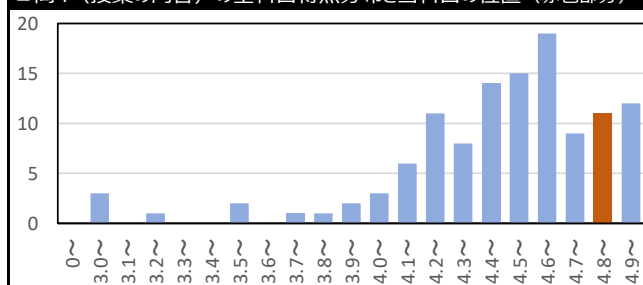
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					7	1	4.88	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					7	1	4.88	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					7	1	4.88	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。					7	1	4.88	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。					7	1	4.88	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。					7	1	4.88	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					7	1	4.88	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。					7	1	4.88	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。					8		5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。					8		5.00	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					8		5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。					8		5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。					7	1	4.88	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					8		5.00	4.62
問1~14全問平均								4.92	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

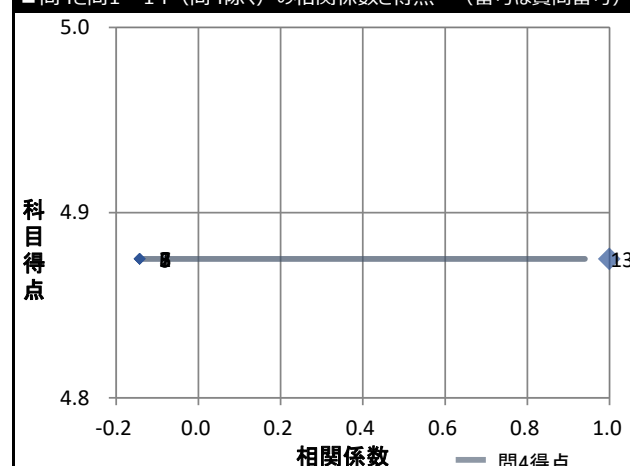


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

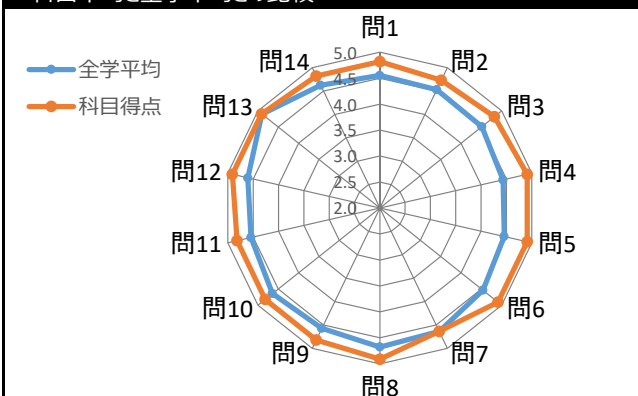
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0205]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	角田 敦彦		授業形態	講義	回答数	11	91.7%

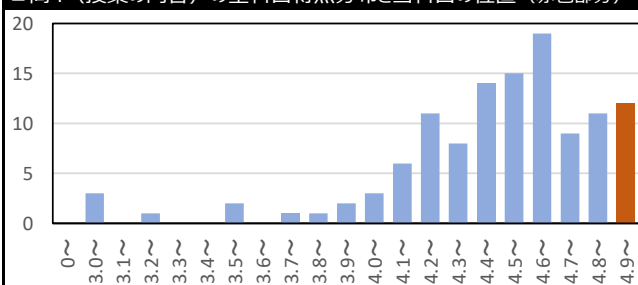
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	</							

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

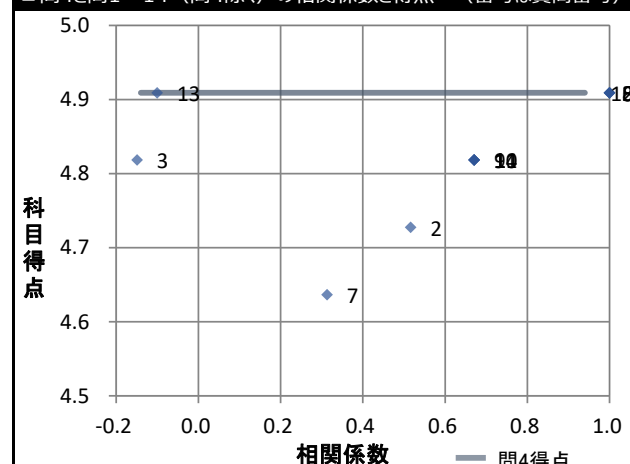


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらでもない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0206]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	川崎 洋平		授業形態	講義	回答数	11	91.7%

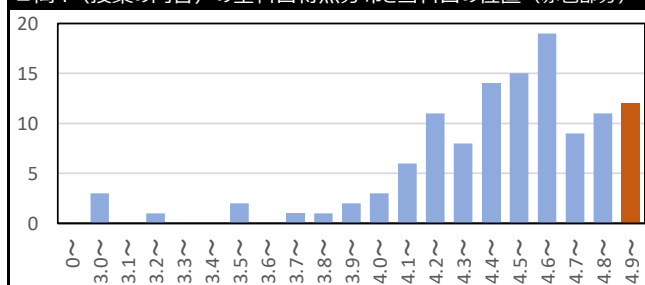
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						1	4.91	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						1	4.91	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						1	4.91	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。							5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。							5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。							5.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							5.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						1	4.91	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.62
問1~14全問平均								4.97	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

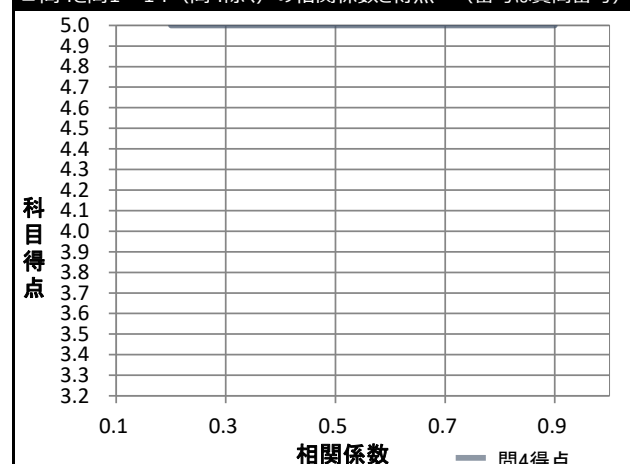


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

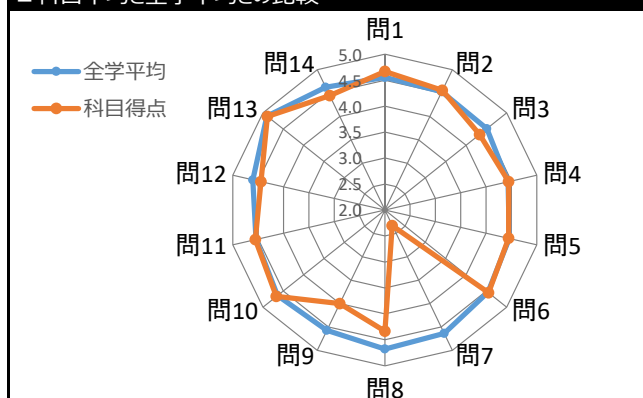
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0207]	学部	看護学部	履修者数	10	回答率
教員名	鈴木 勝己		授業形態	講義	回答数	9	90.0%

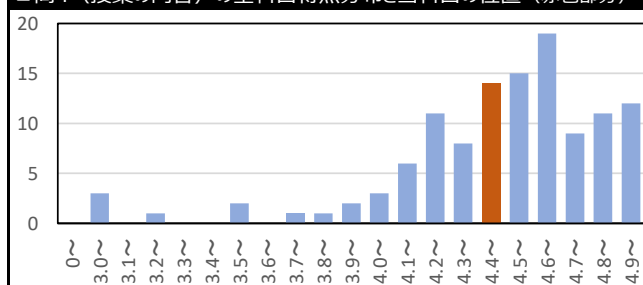
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6	3					4.67	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6	2	1				4.56	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	2	2				4.33	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	5	3	1				4.44	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6	1	2				4.44	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	6	2	1				4.56	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1	2	2	4			2.33	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	1	1	1			4.33	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	5	2	1	1			4.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	7	1	1				4.67	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6	2	1				4.56	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6	1	2				4.44	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	8	1					4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	3	1				4.44	4.62
問1〜14全問平均								4.33	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

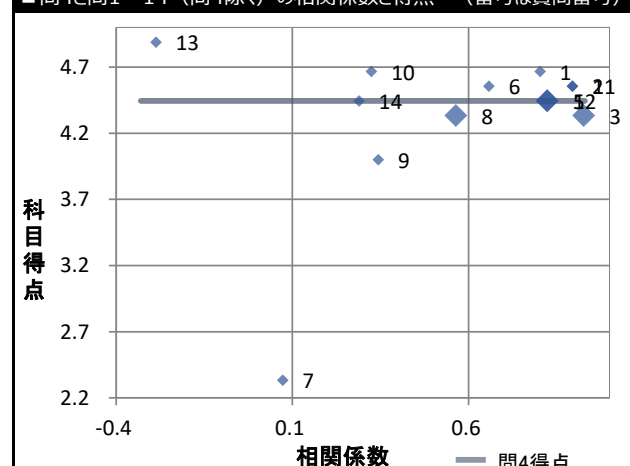


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

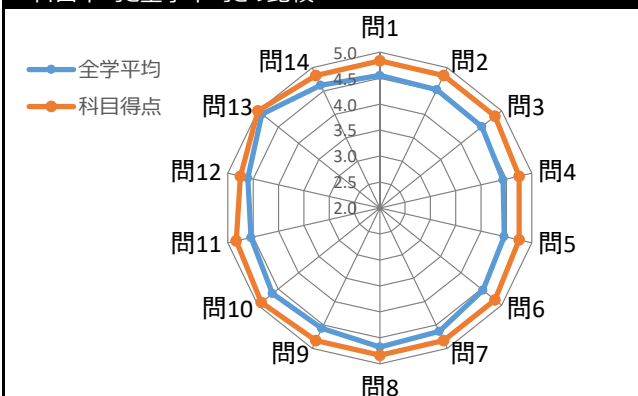
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0208]	学部	看護学部	履修者数	12	回答率	
教員名	越後 敬子		授業形態	講義	回答数	12	100.0%	

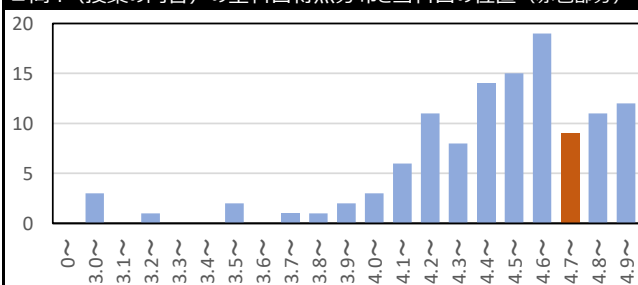
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					10	2	4.83	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					10	2	4.83	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					10	2	4.83	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。				9		3	4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。				9		3	4.75	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。					10	2	4.83	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					10	2	4.83	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。					10	2	4.83	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。					10	2	4.83	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。					11	1	4.92	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					10	2	4.83	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。				9		3	4.75	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。					12		5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					10	2	4.83	4.62
問1〜14全問平均								4.83	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

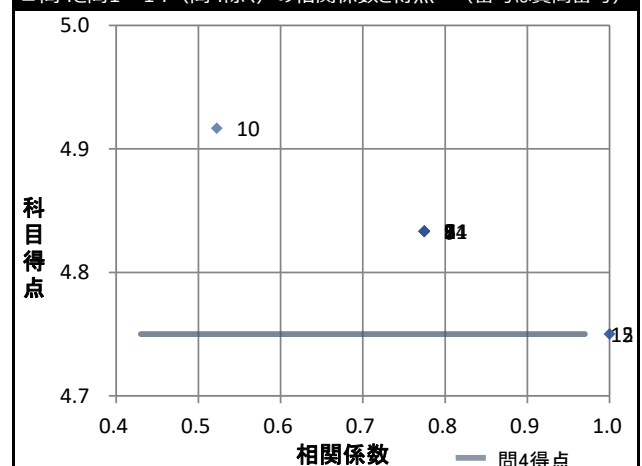


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0209]	学部	看護学部	履修者数	10	回答率	
教員名	伊藤 麻希		授業形態	講義	回答数	4	40.0%	

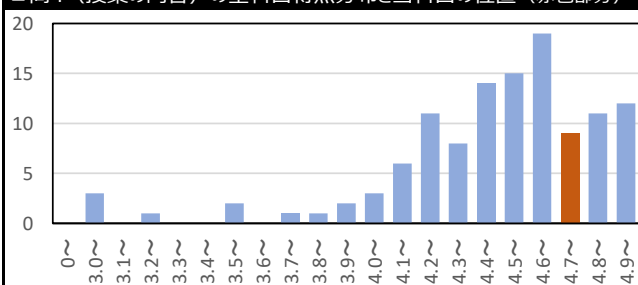
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			3		1		4.75	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			3		1		4.75	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			3		1		4.75	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。			3		1		4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。			3		1		4.75	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。			3		1		4.75	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。		2			2		4.50	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。		2			2		4.50	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。		2			2		4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。			4				5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。		3			1		4.75	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。			4				5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			4				5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			4				5.00	4.62
問1〜14全問平均								4.77	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

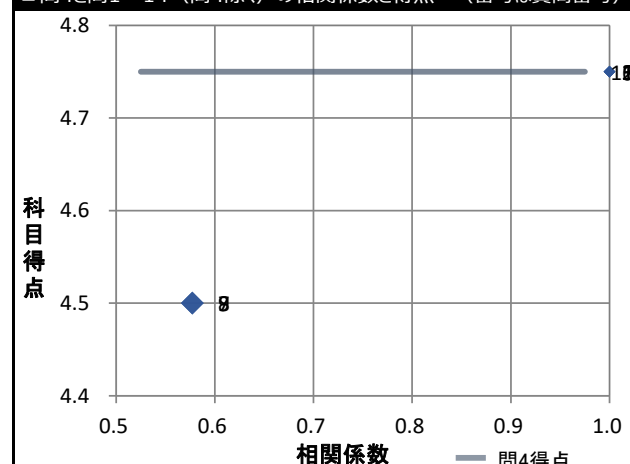


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0210]	学部	看護学部	履修者数	10	回答率
教員名	三好 洋		授業形態	講義	回答数	9	90.0%

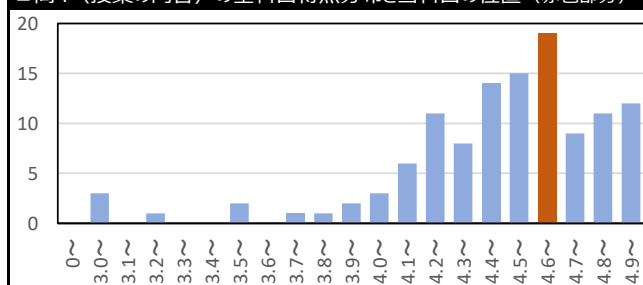
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7					2	4.78	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6					3	4.67	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6					3	4.67	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	6					3	4.67	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6				2	1	4.44	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	6				2	1	4.44	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	7					2	4.78	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6					3	4.67	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	7					2	4.78	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	6				2	1	4.75	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7					2	4.78	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7					2	4.78	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	9						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6					3	4.67	4.62
問1〜14全問平均								4.70	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

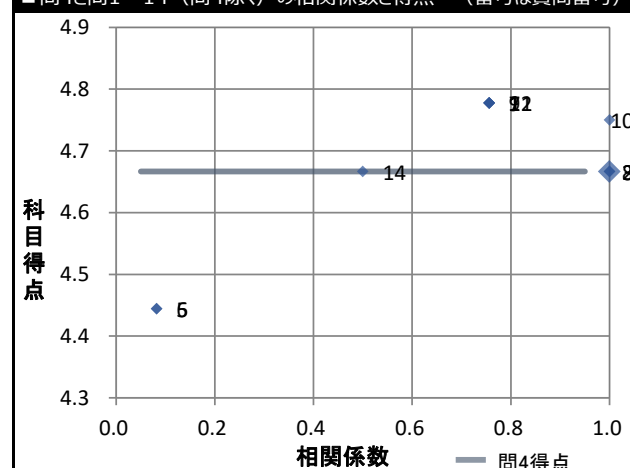


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

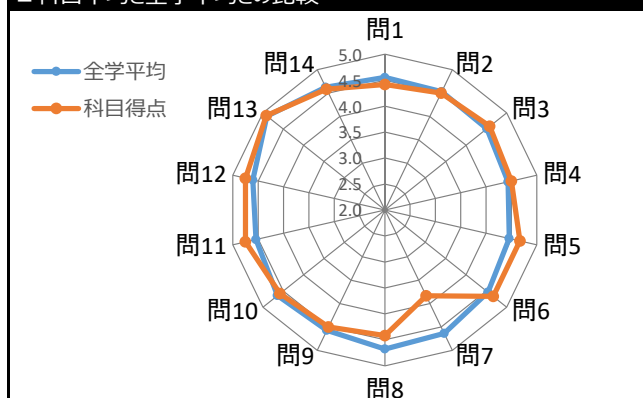
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0212]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率	
教員名	水野 壮		授業形態	講義	回答数	12	92.3%	

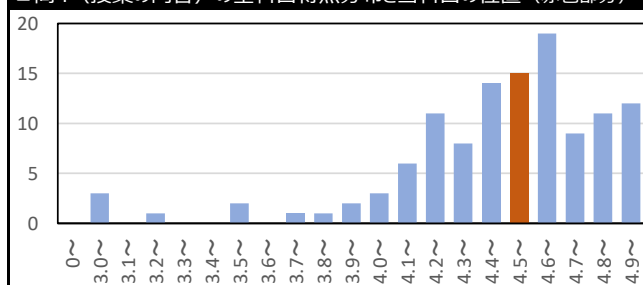
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7	3	2				4.42	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7	4	1				4.50	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7	5					4.58	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	7	4	1				4.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	8	4					4.67	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	8	4					4.67	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5	4	2	1			3.83	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7	4	1				4.42	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	6	6					4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	8	3	1				4.58	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	9	3					4.75	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	3					4.75	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	11	1					4.92	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8	3	1				4.58	4.62
問1~14全問平均								4.55	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

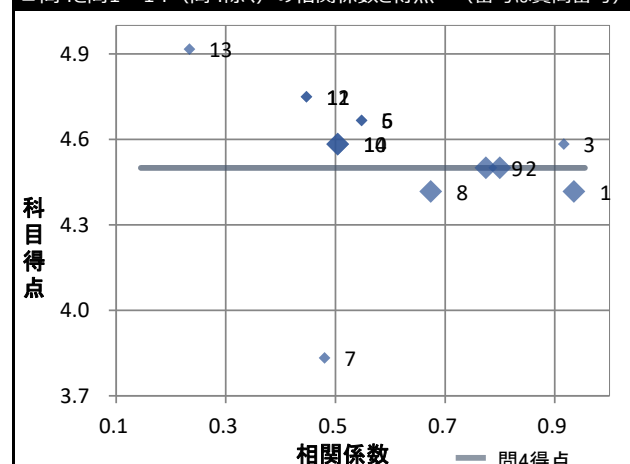


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

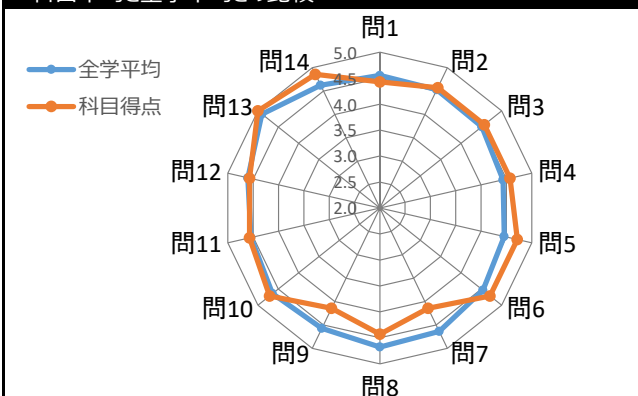
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[1G0230]	学部	看護学部	履修者数	11	回答率
教員名	渋谷 真樹		授業形態	講義	回答数	7	63.6%

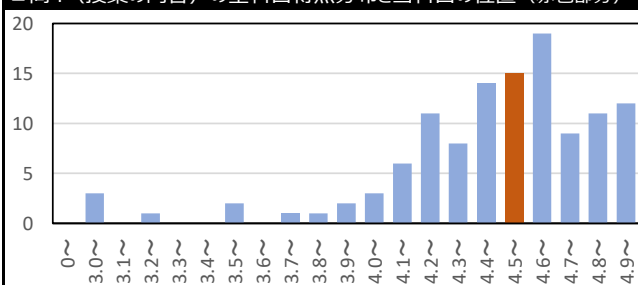
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3				4		4.43	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4				3		4.57	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4				3		4.57	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	4				3		4.57	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5				2		4.71	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	5				2		4.71	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3		2		2		4.14	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4		2		1		4.43	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	3		2		2		4.14	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	5				2		4.71	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4				3		4.57	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4				3		4.57	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	7						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6				1		4.86	4.62
問1〜14全問平均								4.57	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

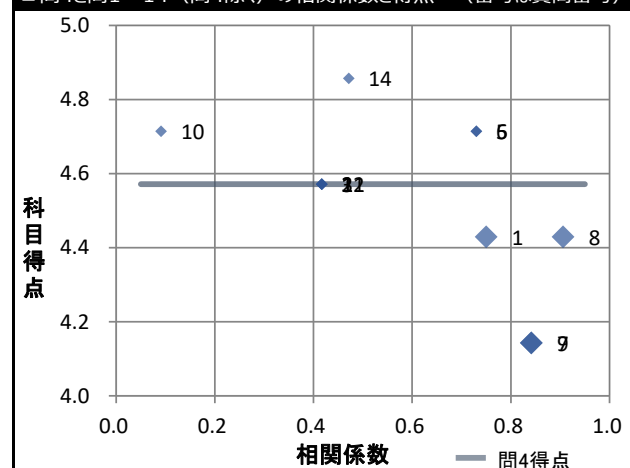


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

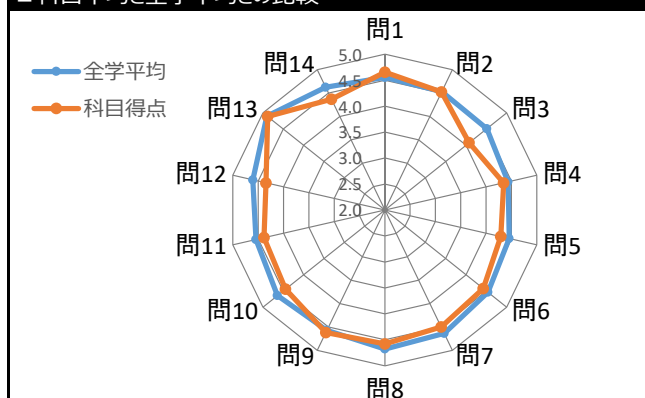
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	人体の構造と機能Ⅲ	[1H0301]	学部	看護学部	履修者数	73	回答率
教員名	菅田 晴夫		授業形態	講義	回答数	52	71.2%

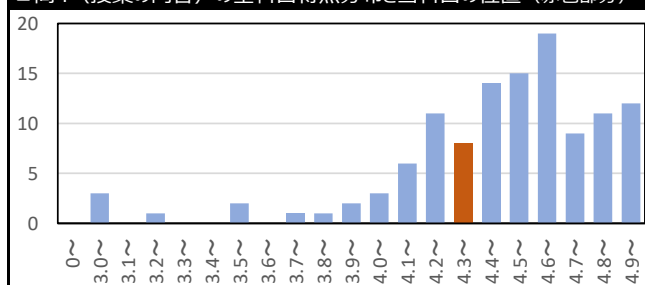
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	34				18		4.65	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	31				18	2	4.52	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17		23		11		4.08	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	23		24		5		4.35	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	21		25		6		4.29	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	25		24		3		4.42	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	29		20		3		4.50	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	31		20				4.58	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	32		20				4.62	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	27		21		4		4.44	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	26		20		6		4.38	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	24		22		6		4.35	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	46				6		4.88	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24		23		5		4.37	4.62
問1〜14全問平均								4.46	4.59

■科目平均と全学平均との比較



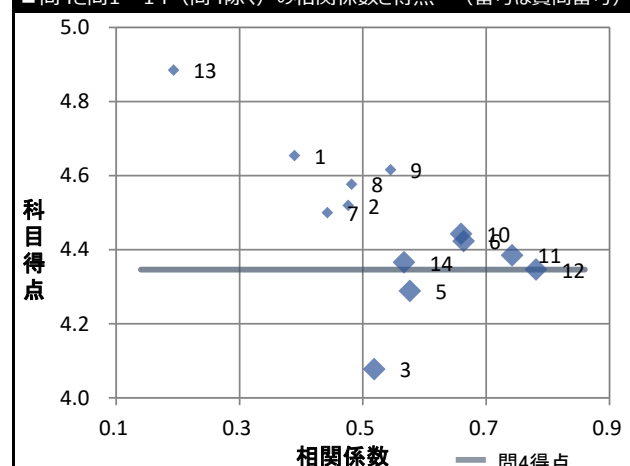
■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

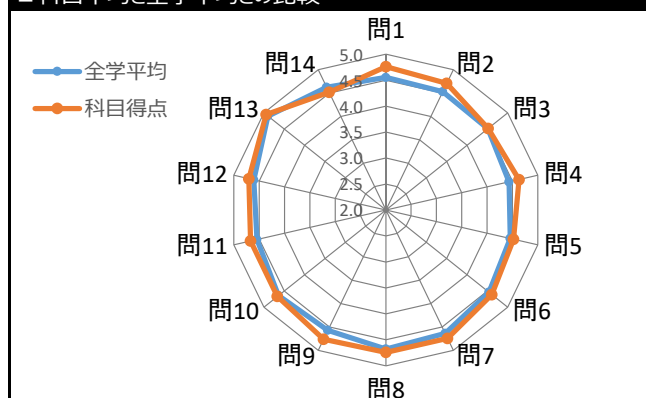
2021年度後期

科目名	人体の構造と機能Ⅲ	[1H0302]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	菅田 晴夫		授業形態	講義	回答数	54	75.0%

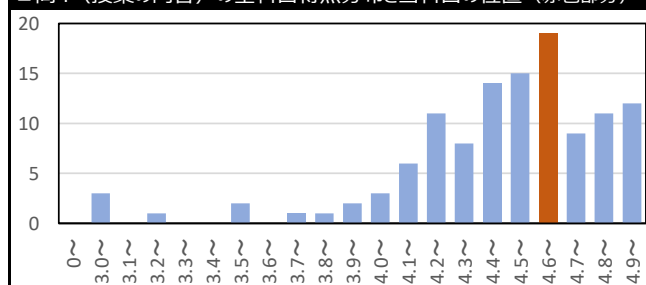
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	41				13		4.76	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	39				14		4.70	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	33				18	2	4.52	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	36				16	2	4.63	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	35				14	3	4.52	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	36				16		4.61	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	40				14		4.74	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	40				14		4.74	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	41				13		4.76	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	39				14		4.67	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	38				15		4.67	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	38				16		4.70	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	51				3		4.94	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	34				17		4.52	4.62
問1〜14全問平均								4.68	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

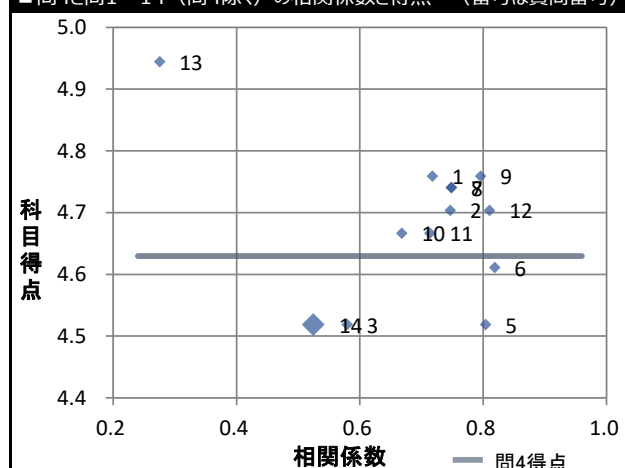


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガハは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I	[1H0400]	学部	看護学部	履修者数	146	回答率
教員名	井上 明宏		授業形態	講義	回答数	126	86.3%

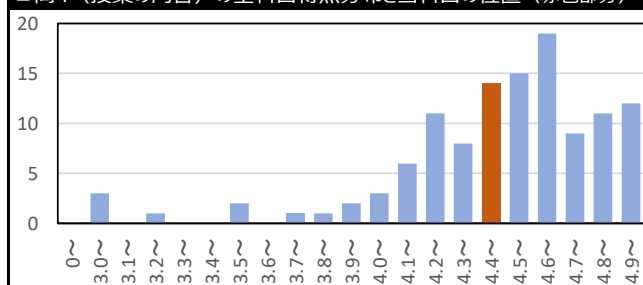
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	84				38		4.63	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	81				41		4.60	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	69			47		7	4.44	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	74			37		11	4.46	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	80			39		5	4.56	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	85			36		4	4.63	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	90			32			4.67	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	90			31		4	4.67	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	81			38		4	4.56	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	83			39			4.62	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	77			38		10	4.52	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	80			39			4.59	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	106					19	4.83	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	83			36		4	4.58	4.62
問1~14全問平均								4.60	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

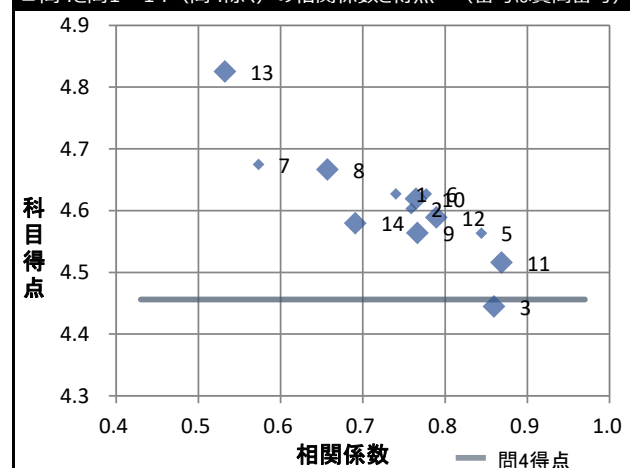


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	[1H0500]	学部	看護学部	履修者数	146	回答率
教員名	井上 明宏		授業形態	講義	回答数	121	82.9%

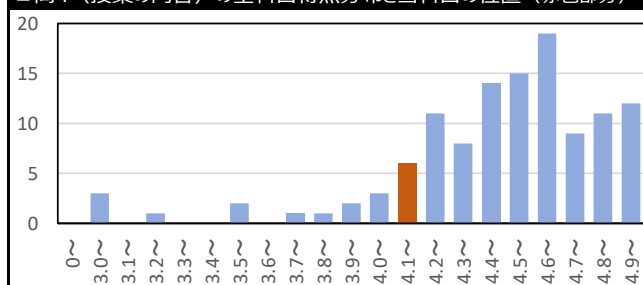
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	72	37	10				4.48	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	67	42	11				4.45	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	50	39	19	10			4.02	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	54	42	16	9			4.17	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	65	41	12				4.38	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	66	44	10				4.45	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	80	34	5				4.59	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	77	38	5				4.58	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	67	37	13	4			4.38	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	69	40	10				4.45	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	62	38	18				4.31	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	62	43	13				4.36	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	102	18					4.83	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	73	37	7				4.47	4.62
問1〜14全問平均								4.42	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

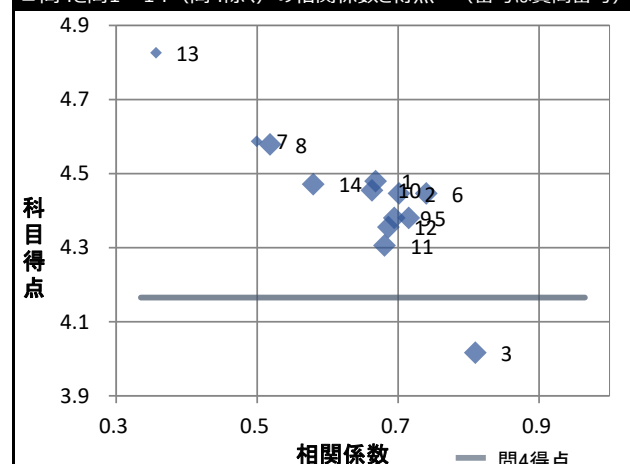


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	[1H0600]	学部	看護学部	履修者数	147	回答率
教員名	井上 明宏		授業形態	講義	回答数	133	90.5%

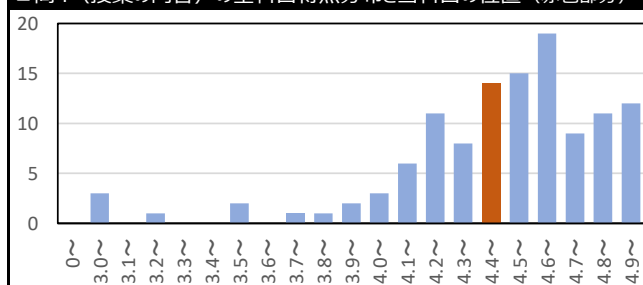
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	87				44		4.63	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	85				45		4.59	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	77				44	9	4.46	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	76				46	8	4.47	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	85				42	4	4.58	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	89				40		4.63	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	92				39		4.67	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	93				37		4.67	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	88				36	4	4.55	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	88				43		4.63	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	85				41	4	4.56	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	89				38	4	4.61	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	112				19		4.82	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	89				38	4	4.59	4.62
問1〜14全問平均								4.60	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

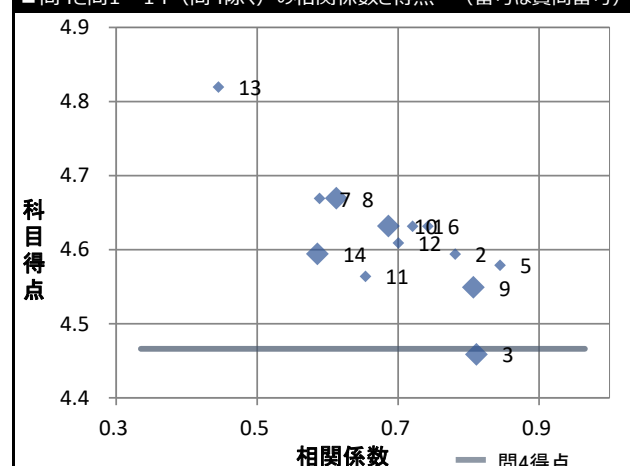


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	[1H0700]	学部	看護学部	履修者数	145	回答率
教員名	井上 明宏		授業形態	講義	回答数	6	4.1%

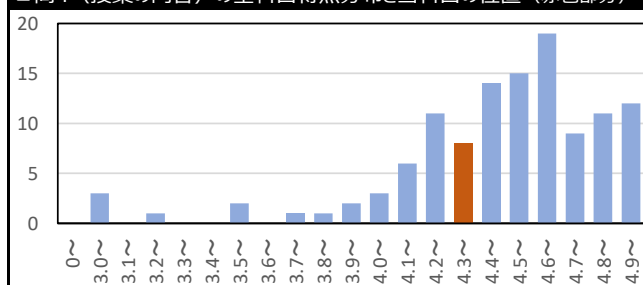
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4				2		4.67	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3		2		1		4.33	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3		2		1		4.33	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	3		2		1		4.33	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5				1		4.83	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	5				1		4.83	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4			2			4.67	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3			3			4.50	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	4			1	1		4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	4				2		4.67	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4			1	1		4.33	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	3		2		1		4.17	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	6						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5				1		4.83	4.62
問1〜14全問平均								4.57	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

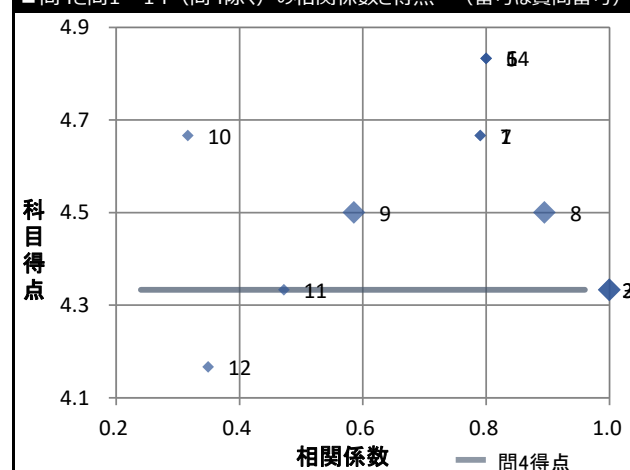


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ	[1H0800]	学部	看護学部	履修者数	123	回答率	
教員名	井上 明宏		授業形態	講義	回答数	113	91.9%	

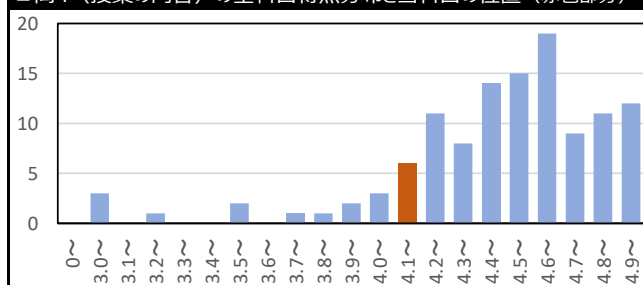
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	48	55	10				4.34	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	52	51	9				4.36	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	44	57	7	5			4.24	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	39	56	15				4.16	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	54	50	8				4.41	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	61	45	6				4.49	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	70	42					4.61	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	76	36					4.66	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	63	44	6				4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	63	45	5				4.51	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	43	49	18				4.17	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	50	50	13				4.33	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	92	20					4.81	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	64	45	4				4.53	4.62
問1〜14全問平均								4.44	4.59

■科目平均と全学平均との比較



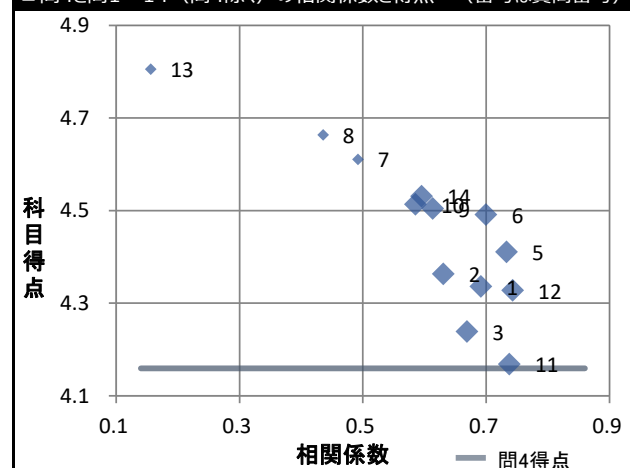
■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

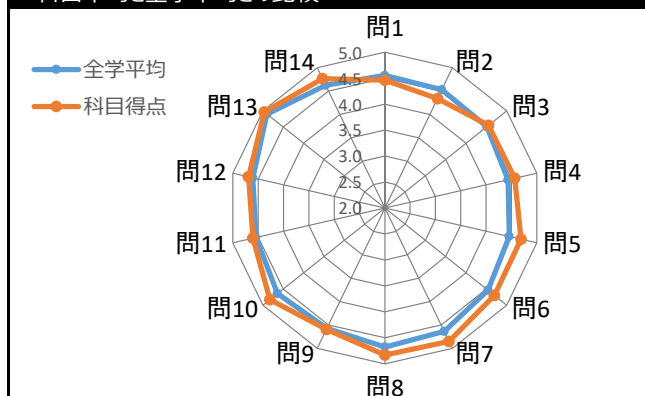
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	薬理学 [1H1000]	学部	看護学部	履修者数	122	回答率	
教員名	吉見 猛	授業形態	講義	回答数	106	86.9%	

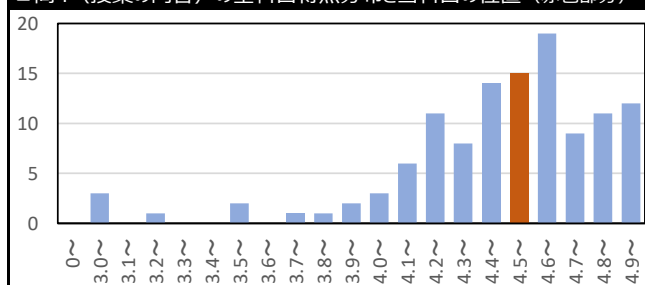
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	67	25	10	4			4.46	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	60	29	10	7			4.34	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	70	28	5				4.56	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	72	25	6				4.57	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	78	24					4.69	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	80	22					4.70	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	91	14					4.85	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	89	16					4.83	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容は適切だった。	73	24	8				4.59	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	88	16					4.83	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	76	21	7				4.60	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	81	19	5				4.69	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	102	4					4.96	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	86	16					4.76	4.62
問1~14全問平均								4.67	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

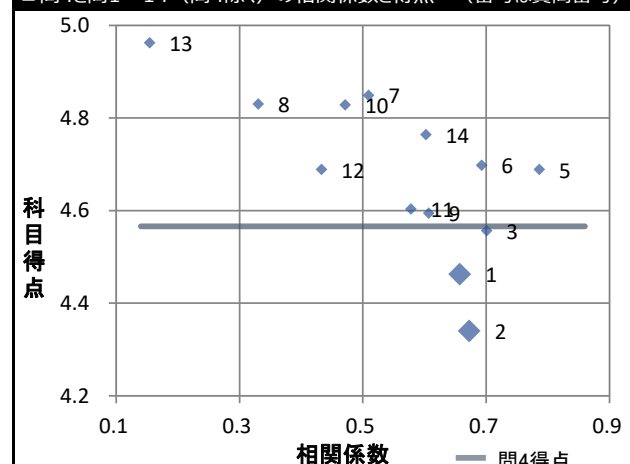


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

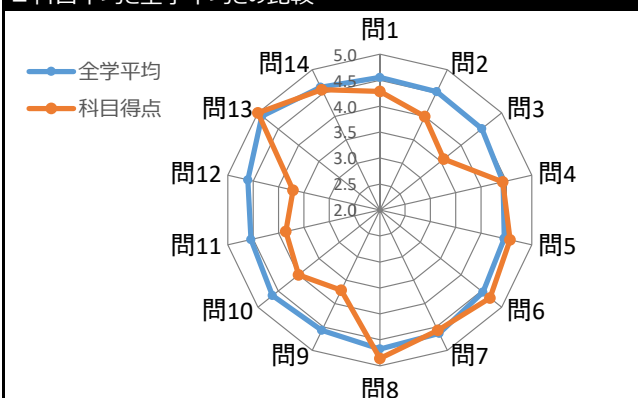
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	栄養学 [1H1300]	学部	看護学部	履修者数	138	回答率	
教員名	齋藤 沙織	授業形態	講義	回答数	7	5.1%	

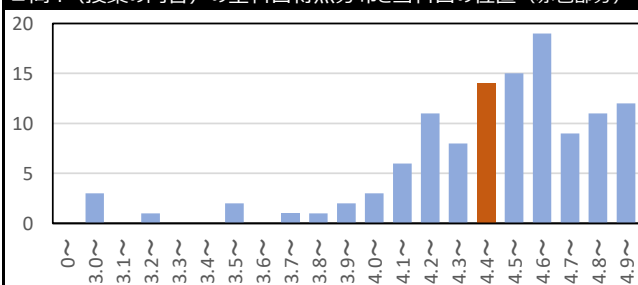
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4	1	2				4.29	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3	1	3				4.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2	2	1	2			3.57	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	4	2	1				4.43	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5	1	1				4.57	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	5	2					4.71	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4	3					4.57	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	1					4.86	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	2	2	2	1			3.71	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	3	2	1	1			4.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1	4	2				3.86	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2	1	4				3.71	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	7						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	3					4.57	4.62
問1~14全問平均								4.28	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

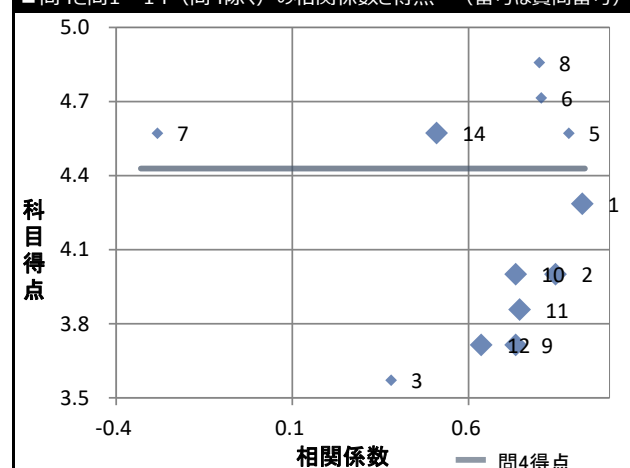


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護学概論Ⅱ	[110200]	学部	看護学部	履修者数	150	回答率
教員名	吉田 みつ子		授業形態	講義	回答数	140	93.3%

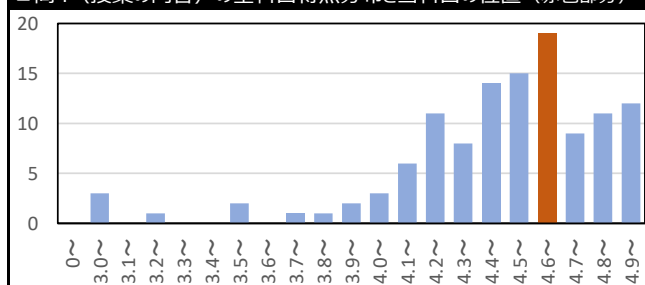
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	85	52					4.59	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	87	48	5				4.59	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	99	41					4.71	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	96	41					4.66	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	105	27	8				4.69	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	107	29					4.74	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	113	27					4.81	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	106	34					4.76	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	108	32					4.77	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	117	22					4.84	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	99	38					4.69	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	108	29					4.75	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	130	10					4.93	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	105	33					4.74	4.62
問1〜14全問平均								4.73	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

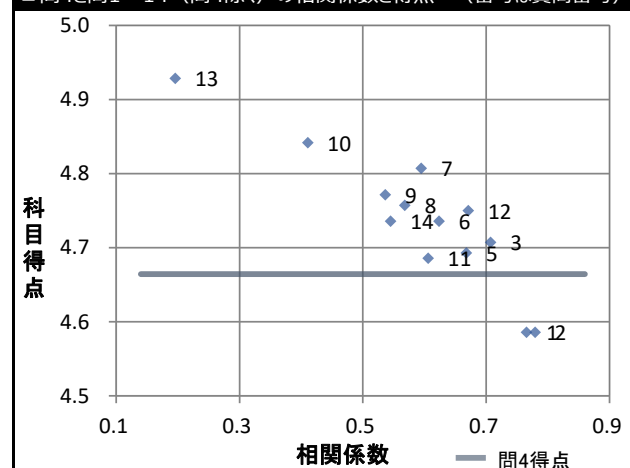


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	精神保健看護学 I	[1L0101]	学部	看護学部	履修者数	82	回答率
教員名	鷹野 朋実		授業形態	講義	回答数	9	11.0%

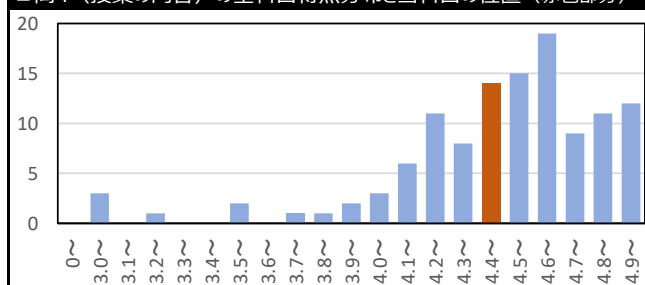
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5				4		4.56	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4		4		1		4.33	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5		2		2		4.33	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	5		3		1		4.44	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4		4		1		4.33	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	5		3		1		4.44	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5		2		2		4.33	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6		3				4.67	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	5		3		1		4.33	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	6		2		1		4.56	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5		2		2		4.33	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5		3		1		4.44	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	9						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6		2		1		4.56	4.62
問1〜14全問平均								4.48	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

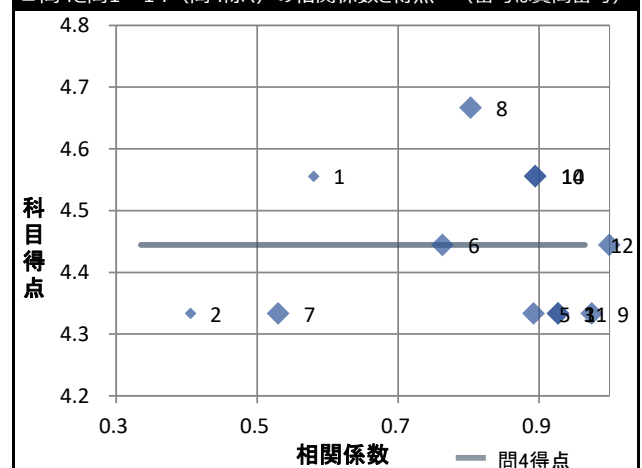


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

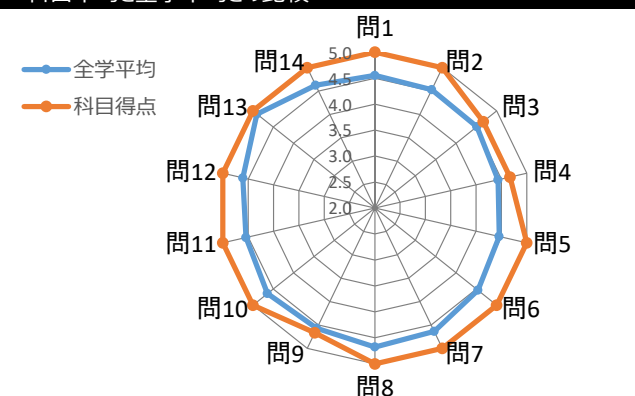
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	精神保健看護学 I	[1L0102]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	鷹野 朋実		授業形態	講義	回答数	3	4.2%

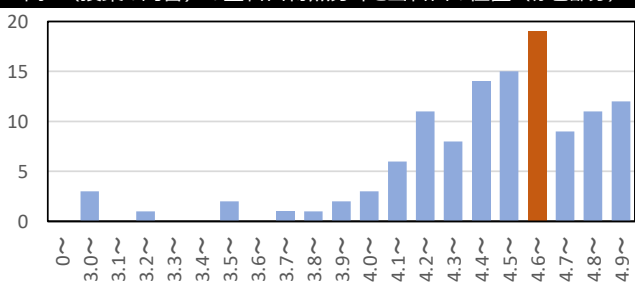
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3						5.00	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	2				1		4.67	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2				1		4.67	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3						5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	3						5.00	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3						5.00	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	3						5.00	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	2				1		4.67	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	3						5.00	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3						5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3						5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	3						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3						5.00	4.62
問1～14全問平均								4.93	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

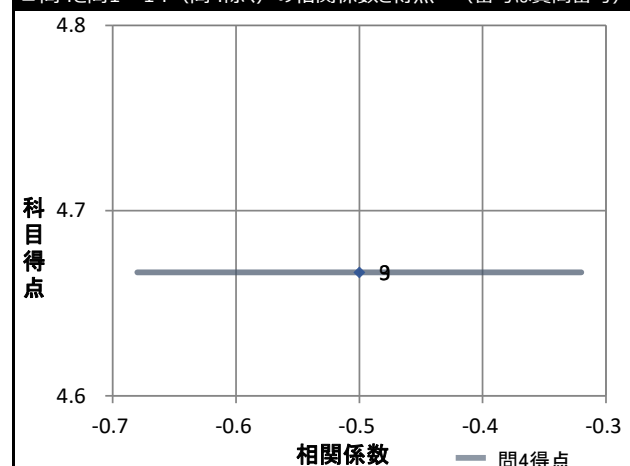


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

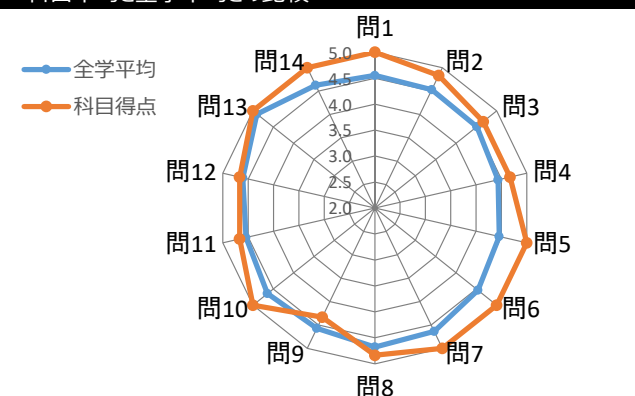
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	発達看護学 I ①	[1M0300]	学部	看護学部	履修者数	144	回答率
教員名	新田 真弓		授業形態	講義	回答数	6	4.2%

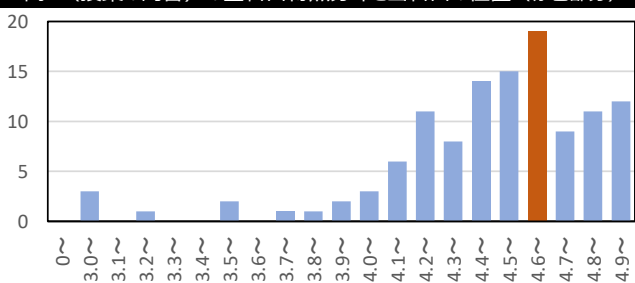
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5					1	4.83	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	5					1	4.67	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	4				2		4.67	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6						5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	6						5.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6						5.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	5					1	4.83	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3			2		1	4.33	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	6						5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5					1	4.67	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4				2		4.67	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	6						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6						5.00	4.62
問1～14全問平均								4.83	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

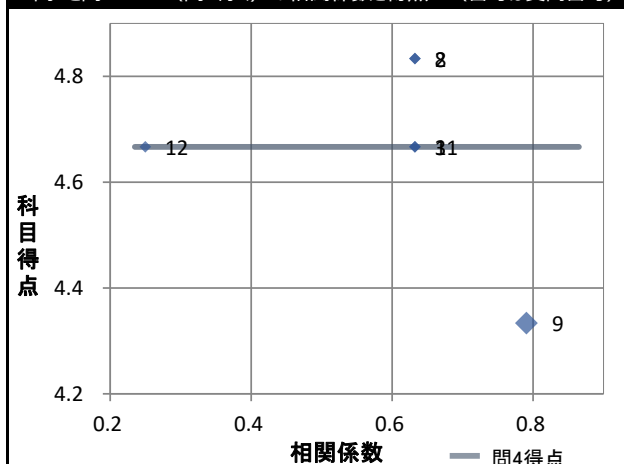


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

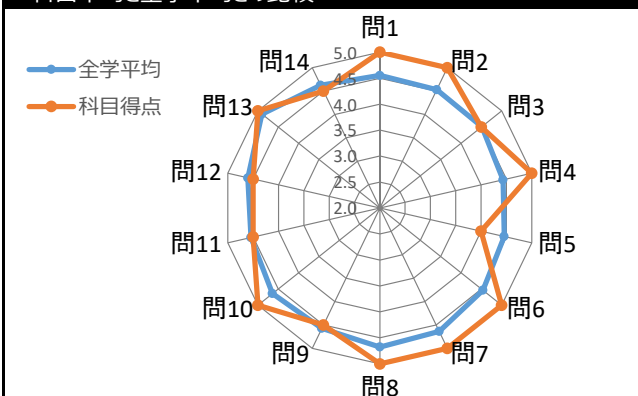
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	発達看護学Ⅱ①	[1M0501]	学部	看護学部	履修者数	71	回答率
教員名	江本 リナ		授業形態	講義	回答数	2	2.8%

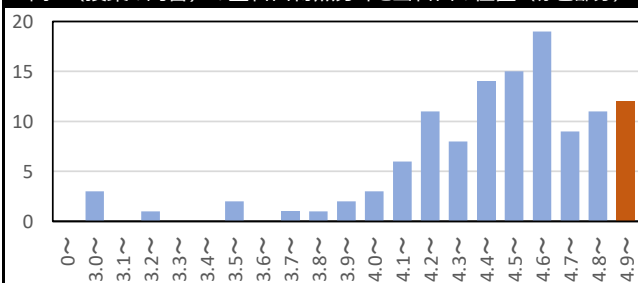
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2						5.00	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	1	1					4.50	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2						5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1	1					4.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	2						5.00	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2						5.00	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	2						5.00	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	1	1					4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	2						5.00	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1	1					4.50	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1	1					4.50	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	2						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1	1					4.50	4.62
問1～14全問平均								4.75	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

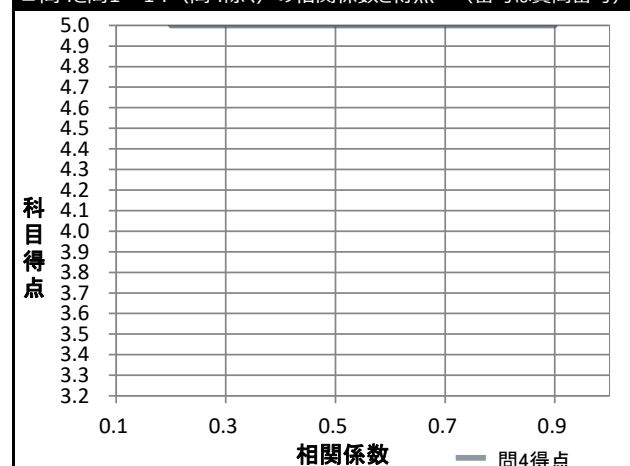


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	発達看護学Ⅱ①	[1M0502]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	江本 リナ		授業形態	講義	回答数	3	4.2%

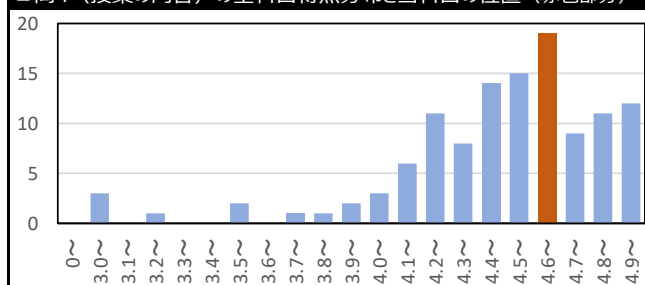
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3						5.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	3						5.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2		1				4.67	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3						5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	3						5.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3						5.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	3						5.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	3						5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	3						5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3						5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3						5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	3						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3						5.00	4.62
問1～14全問平均								4.98	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

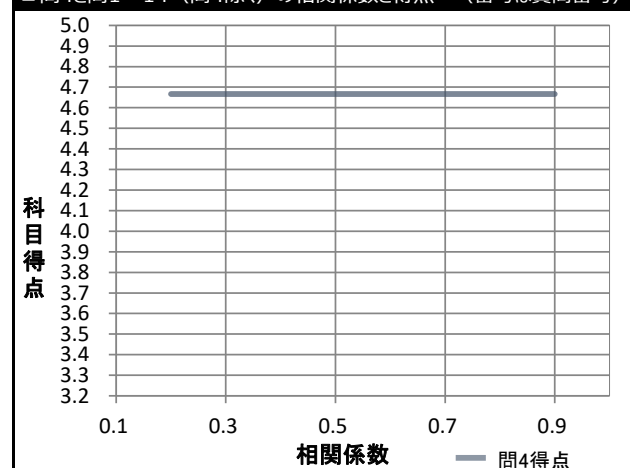


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	発達看護学Ⅲ①	[1M0700]	学部	看護学部	履修者数	144	回答率
教員名	坂口 千鶴		授業形態	講義	回答数	1	0.7%

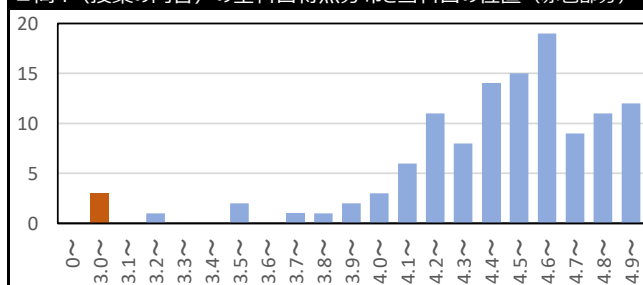
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						1	4.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						1	5.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						1	3.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						1	3.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。						1	5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						1	4.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						1	4.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						1	5.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。						1	4.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						1	5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						1	4.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						1	3.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。						1	5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						1	5.00	4.62
問1〜14全問平均								4.21	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

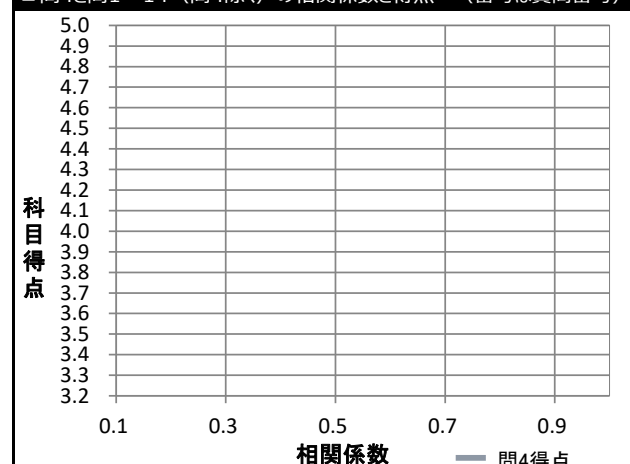


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	プライマリーヘルスケア	[1N0100]	学部	看護学部	履修者数	154	回答率
教員名	井口 理		授業形態	講義	回答数	103	66.9%

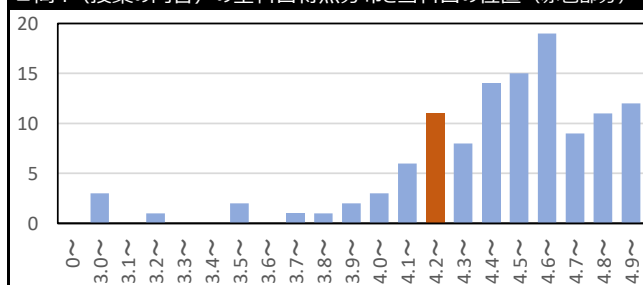
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	51	43	9				4.41	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	53	42	8				4.44	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	55	35	10				4.40	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	44	41	16				4.23	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	46	34	17	6			4.17	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	52	38	12				4.37	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	68	26	5	4			4.53	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	69	31					4.64	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	65	24	11				4.47	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	58	35	9				4.46	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	52	34	13				4.29	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	56	32	12				4.36	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	94	8					4.90	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	57	38	7				4.49	4.62
問1~14全問平均								4.44	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

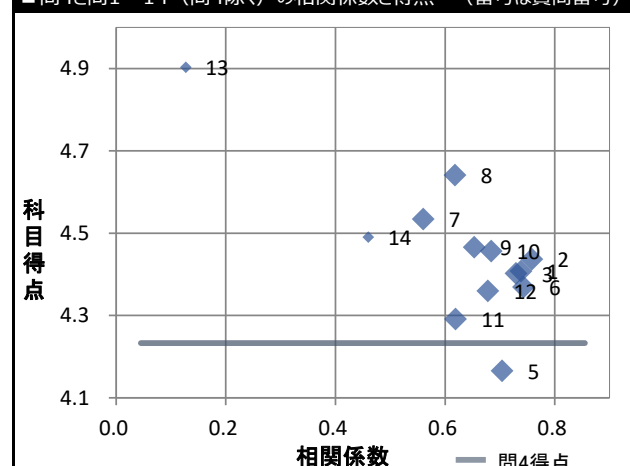


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

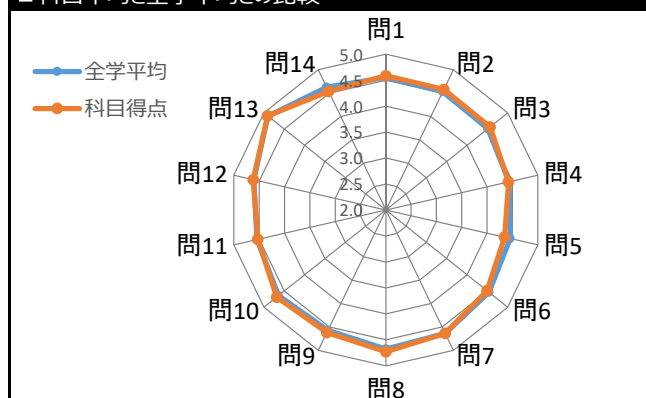
2021年度後期

科目名	地域看護学 [100100]	学部	看護学部	履修者数	155	回答率	
教員名	石田 千絵	授業形態	講義	回答数	99	63.9%	

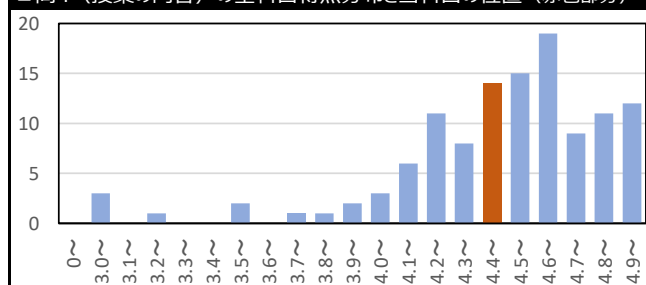
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	66	26	6				4.59	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	63	30	6				4.58	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	63	29	7				4.57	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	59	28	9				4.42	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	59	25	7	6			4.34	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	62	26	7				4.49	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	69	26					4.64	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	73	25					4.73	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	68	25	5				4.62	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	71	26					4.69	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	64	26	6	3			4.53	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	67	26	6				4.62	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	90	9					4.91	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	67	22	6	4			4.54	4.62
問1~14全問平均								4.59	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

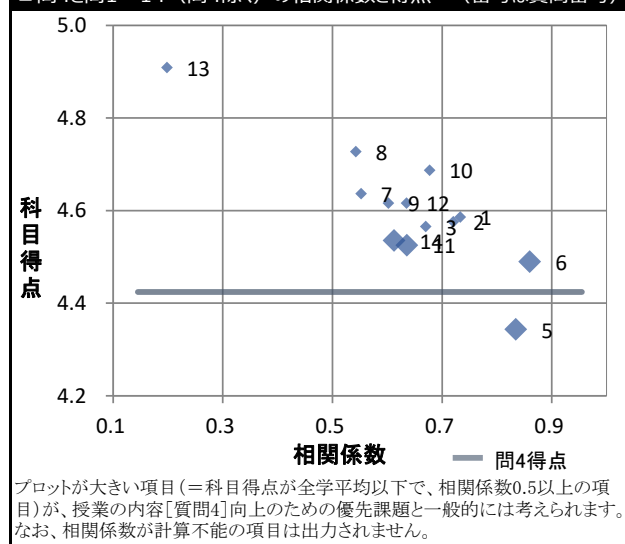


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	公衆衛生看護活動論	[100200]	学部	看護学部	履修者数	58	回答率
教員名	吉川 悦子		授業形態	講義	回答数	3	5.2%

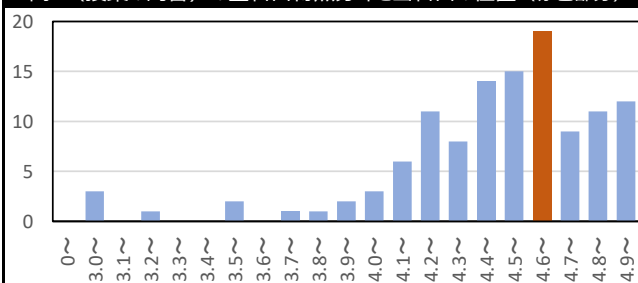
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3						5.00	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	1	2					4.33	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2					1	4.67	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3						5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	3						5.00	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3						5.00	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	3						5.00	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	2					1	4.67	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	3						5.00	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2					1	4.67	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2					1	4.67	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	3						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3						5.00	4.62
問1～14全問平均								4.86	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

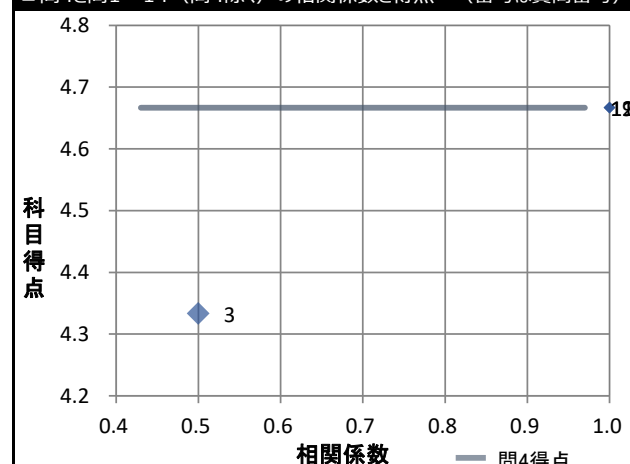


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

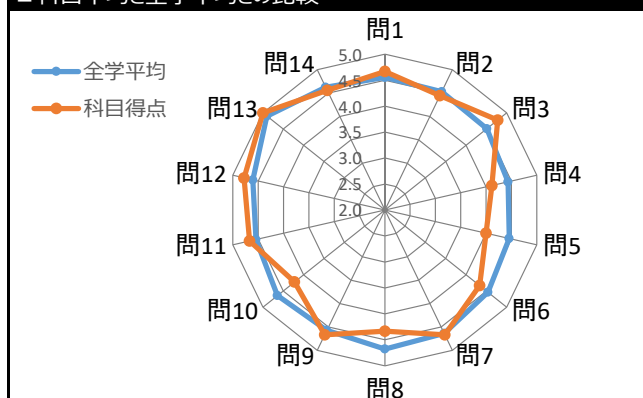
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	疫学 [100400]	学部	看護学部	履修者数	61	回答率	
教員名	川崎 洋平	授業形態	講義	回答数	9	14.8%	

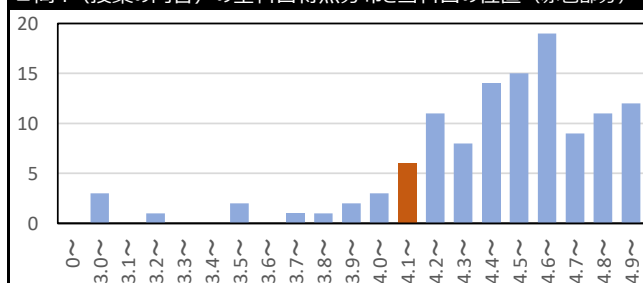
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.67	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.44	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.78	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.11	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.33	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.67	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.33	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.67	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.22	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.67	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.78	4.60
13	私の授業への出席率は、 (5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.56	4.62
問1～14全問平均								4.52	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

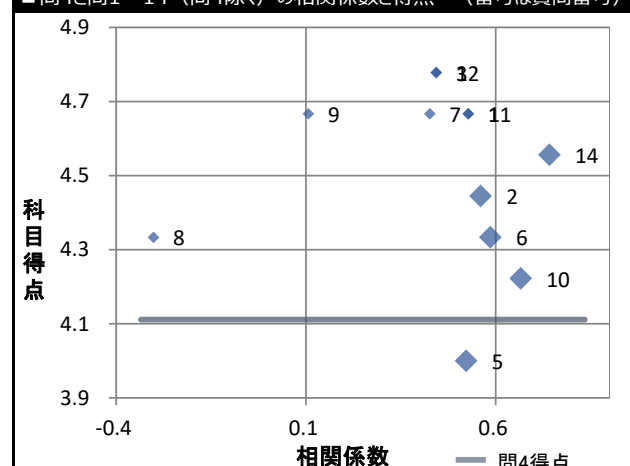


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

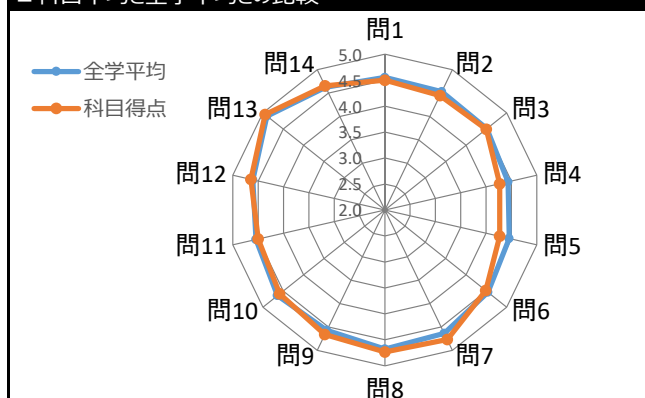
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護管理学 I	[1P0100]	学部	看護学部	履修者数	150	回答率
教員名	安部 陽子		授業形態	講義	回答数	112	74.7%

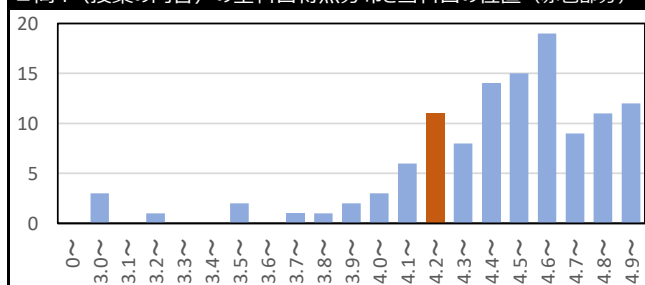
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	67	36	7				4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	60	43	8				4.45	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	69	31	8				4.50	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	55	36	17	4			4.27	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	53	41	13	5			4.27	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	60	46	6				4.48	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	87	24					4.77	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	83	28					4.73	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	79	29					4.66	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	76	28	6				4.59	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	65	39	7				4.50	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	75	34					4.64	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	106	6					4.95	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	78	30					4.65	4.62
問1~14全問平均								4.57	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

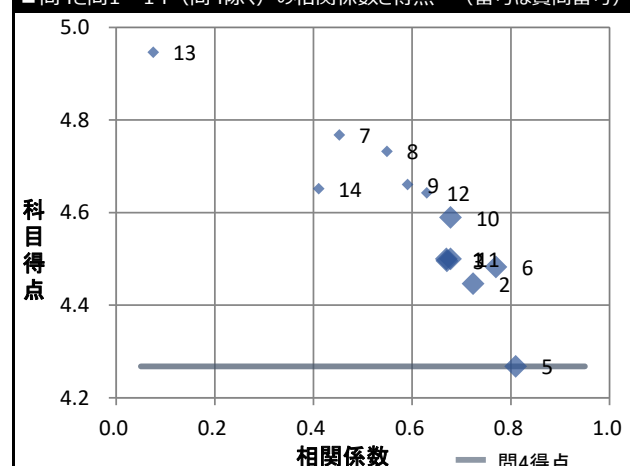


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護教育学 I	[1P0300]	学部	看護学部	履修者数	150	回答率	
教員名	佐々木 幾美		授業形態	講義	回答数	14	9.3%	

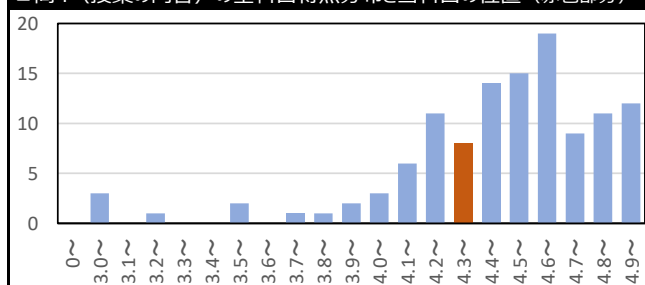
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9	4	1				4.57	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7	6	1				4.43	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	11	3					4.79	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	7	5	2				4.36	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10	4					4.71	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	12	2					4.86	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	10	3	1				4.64	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	11	3					4.79	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	9	5					4.64	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	12	2					4.86	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	11	3					4.79	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	13	1					4.93	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	14						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	14						5.00	4.62
問1~14全問平均								4.74	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

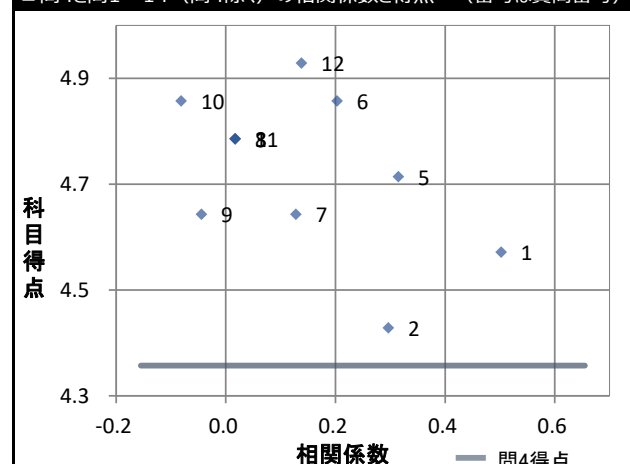


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護教育学Ⅱ	[1P0400]	学部	看護学部	履修者数	2	回答率
教員名	西田 朋子		授業形態	講義	回答数	2	100.0%

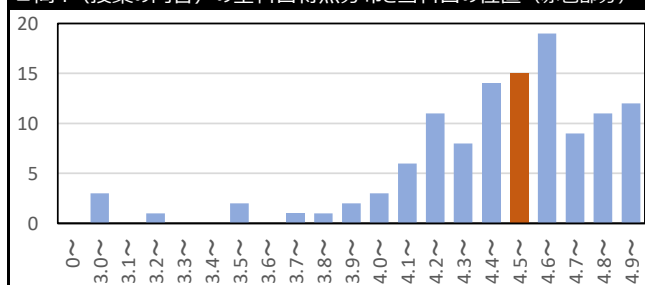
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1				1		4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1				1		4.50	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1				1		4.50	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	1				1		4.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。			2				5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。			2				5.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1				1		4.50	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1				1		4.50	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	1				1		4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。			2				5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1				1		4.50	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	1				1		4.50	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			2				5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			2				5.00	4.62
問1〜14全問平均								4.68	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

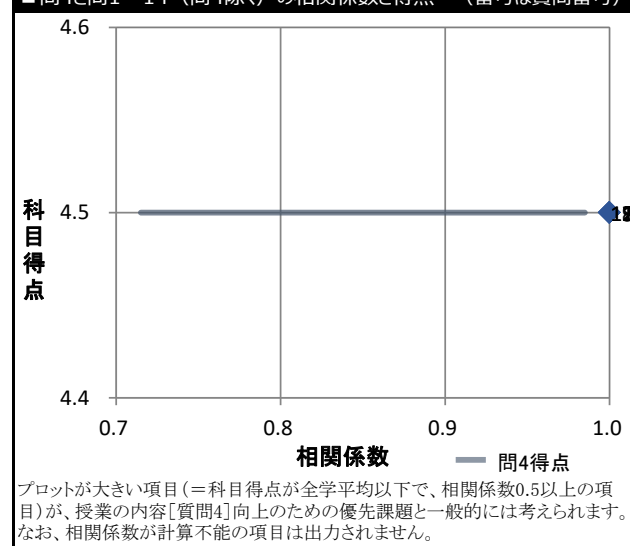


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	国際看護学Ⅱ	[1R0200]	学部	看護学部	履修者数	21	回答率	
教員名	織方 愛		授業形態	講義	回答数	4	19.0%	

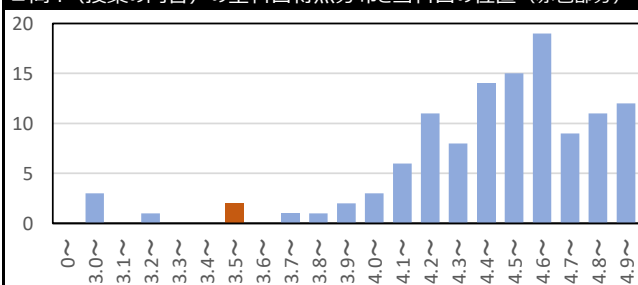
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1	2	1				4.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1	2	1				4.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1	3					4.25	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。		3	1				3.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。		3	1				4.75	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。		3	1				4.75	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2	2					4.50	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2	2					4.50	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	2	2					4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	4						5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2	2					4.50	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	3	1					4.75	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	4						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4						5.00	4.62
問1~14全問平均								4.50	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

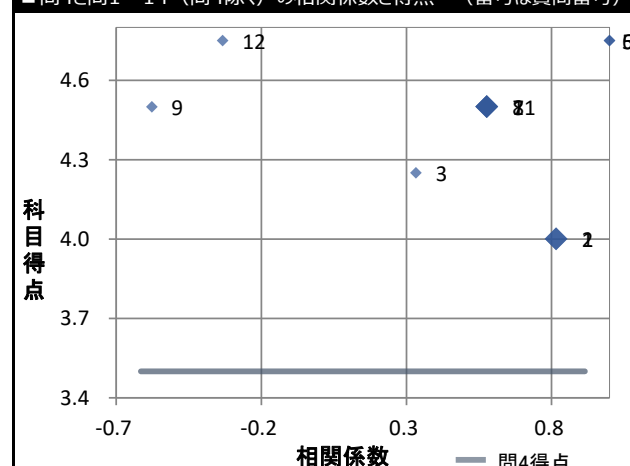


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

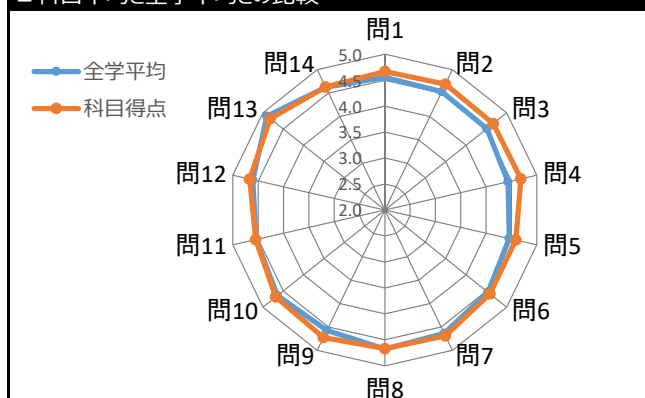
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	災害看護論 I	[1R0401]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	内木 美恵		授業形態	講義	回答数	51	70.8%

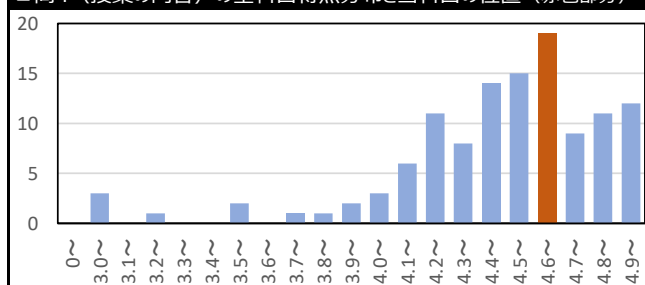
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	34				17		4.67	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	35				16		4.69	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	34				17		4.67	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	35				16		4.69	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	33			15	3		4.59	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	33			15	3		4.59	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	36				14		4.69	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	35				15		4.67	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	37				14		4.73	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	36				14		4.69	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	30				19	2	4.55	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	34				17		4.67	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	42				9		4.82	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	33				17		4.63	4.62
問1~14全問平均								4.67	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

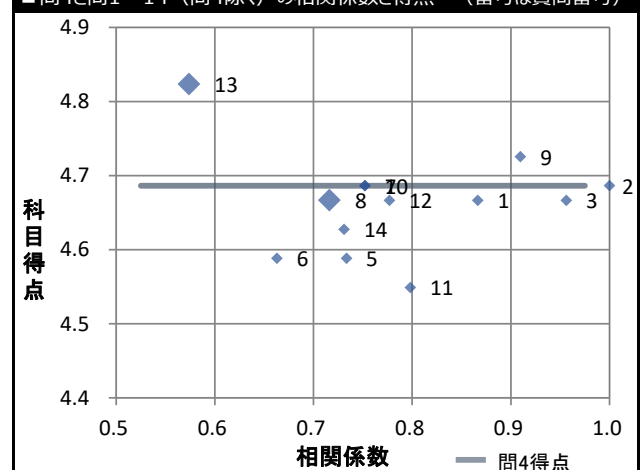


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

2021年度後期

科目名	災害看護論 I	[1R0402]	学部	看護学部	履修者数	83	回答率
教員名	内木 美恵		授業形態	講義	回答数	49	59.0%

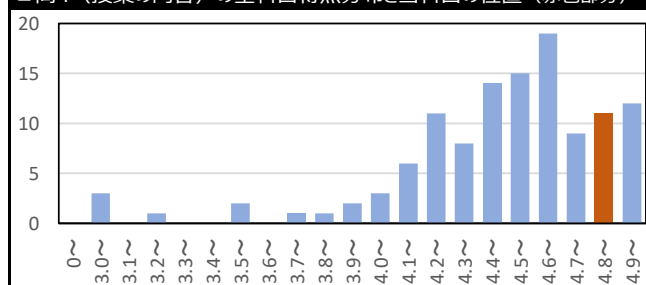
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						42	4.86	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						42	4.86	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						43	4.88	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						43	4.88	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。						43	4.88	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						45	4.92	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						43	4.88	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						44	4.90	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。						42	4.86	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						45	4.92	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						42	4.86	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						44	4.90	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。						49	5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						43	4.86	4.62
問1〜14全問平均								4.89	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

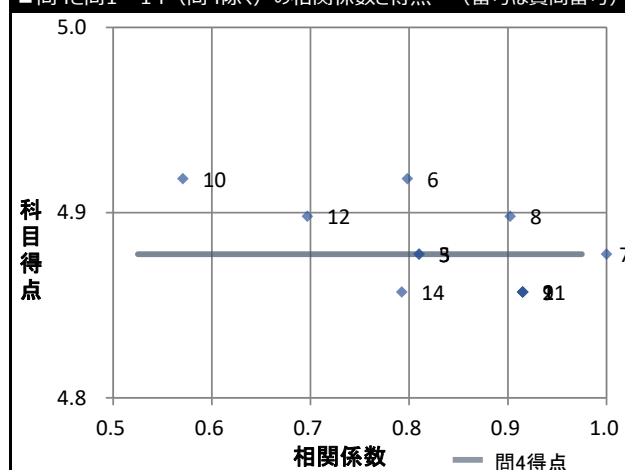


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガハは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

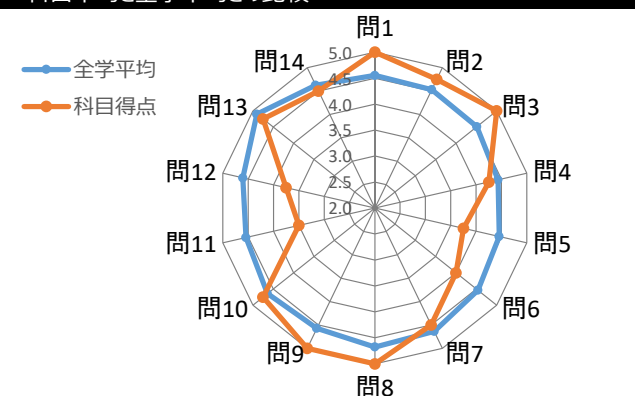
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	研究方法論Ⅱ	[1T0201]	学部	看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	江本 リナ		授業形態	講義	回答数	4	5.8%

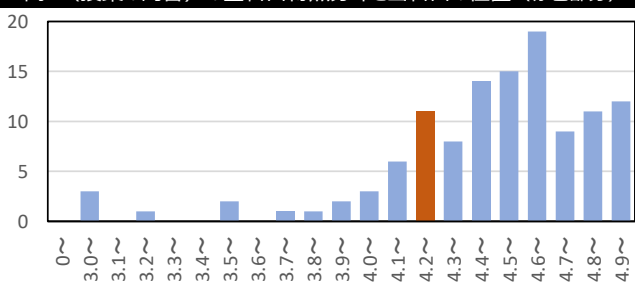
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3					1	4.75	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	4						5.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2		1		1		4.25	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1	1	2				3.75	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	1	2			1		4.00	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3					1	4.50	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	4						5.00	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	4						5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	3					1	4.75	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2		1		1		3.50	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2		1	1			3.75	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	3					1	4.75	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2		2				4.50	4.62
問1～14全問平均								4.46	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

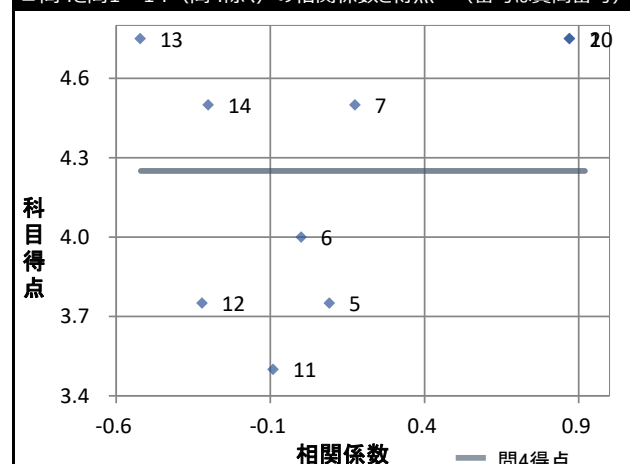


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	研究方法論Ⅱ	[1T0202]	学部	看護学部	履修者数	91	回答率
教員名	江本 リナ		授業形態	講義	回答数	14	15.4%

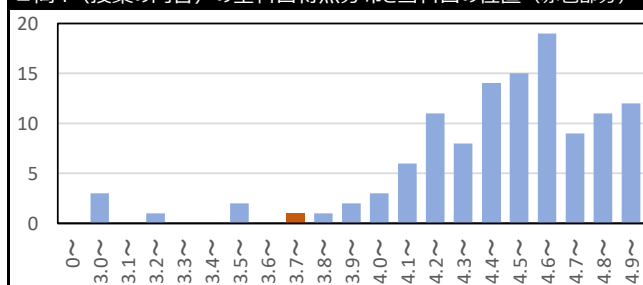
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7	6	1				4.36	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3	10	1				4.14	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	7	1				4.36	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2	7	4	1			3.71	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5	4	4	1			3.93	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	8	4	2				4.43	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	7	5	2				4.36	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7	7					4.50	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	8	4	2				4.43	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	8	5	1				4.43	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6	6	2				4.29	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7	5	2				4.36	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	14						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	3					4.79	4.62
問1〜14全問平均								4.36	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

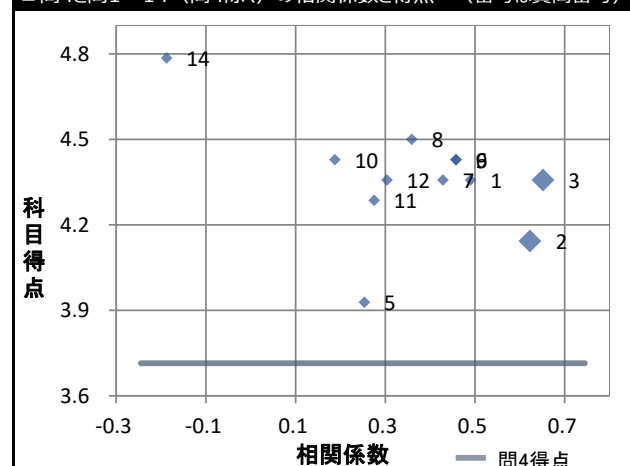


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1〜14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

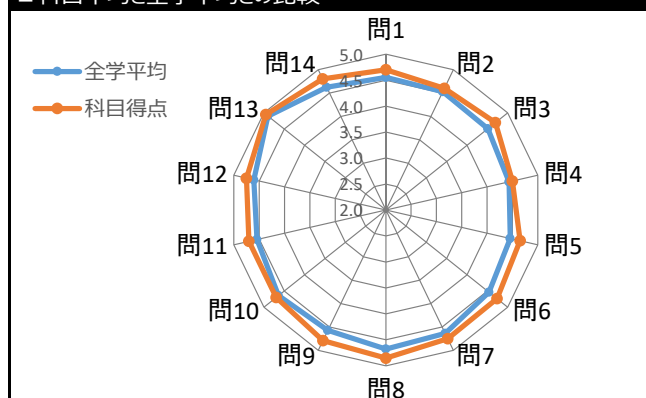
2021年度後期

科目名	公衆衛生看護活動展開論	[1U0100]	学部	看護学部	履修者数	20	回答率
教員名	吉川 悦子		授業形態	講義	回答数	20	100.0%

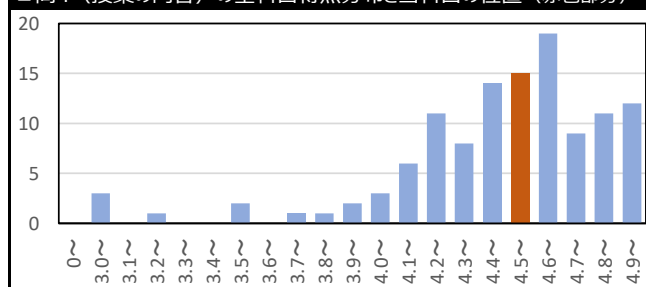
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	14	6					4.70	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13	6	1				4.60	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	15	4	1				4.70	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	12	6	2				4.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	13	7					4.65	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	14	5	1				4.74	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	16	3	1				4.75	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	3					4.85	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	15	4	1				4.79	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	15	4	1				4.70	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	16	3	1				4.70	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	16	3	1				4.75	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	19	1					4.95	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	4					4.80	4.62
問1〜14全問平均								4.73	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

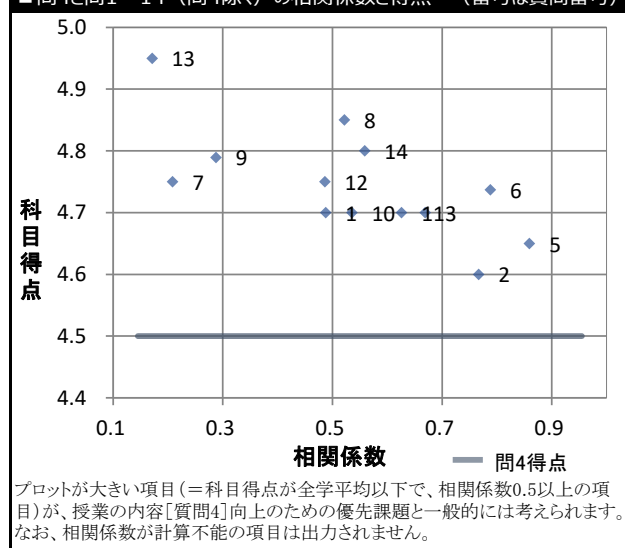


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらでもない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	公衆衛生看護方法論	[1U0300]	学部	看護学部	履修者数	20	回答率	
教員名	吉川 悦子		授業形態	講義	回答数	20	100.0%	

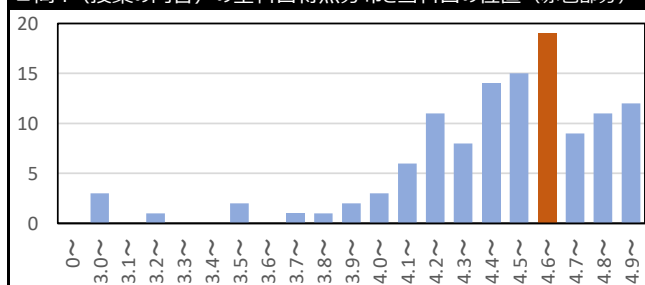
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	13	5	2				4.55	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11	7	2				4.45	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	6	1				4.60	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	14	5	1				4.65	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	14	6					4.70	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	14	5	1				4.74	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	10	7	3				4.35	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13	6	1				4.60	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	12	7	1				4.55	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	13	7					4.65	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	16	4					4.80	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	15	5					4.75	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	16	4					4.80	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15	5					4.75	4.62
問1~14全問平均								4.64	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

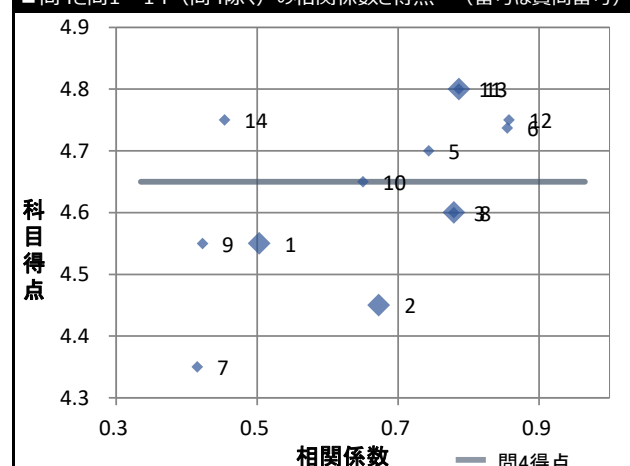


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1B0201	生命倫理	榊原哲也	コメントありがとうございました。今後の参考にさせていただきます。
1B0202	生命倫理	榊原哲也	コメントありがとうございました。今後の参考にさせていただきます。
1B0400	心理学Ⅱ	遠藤公久	概ね評価は高く、安心しました。コメントとして、スライドのコピーを希望されている方がいましたが、おそらく追加資料のことかと思いますので、それについてはGlexaでアップしていますが、直接手渡しできるようにしたいと思います。
1B0600	現代教育論	渋谷真樹	毎回グループで現代的な教育課題について意見交換する時間を設けたことが、有意義だったようです。今後はさらに受講生の皆さん自身の教育経験を活かしつつ、広く社会問題に目を向け、深く多角的に考えていけるように授業を展開していきたいと思います。
1B0700	身体運動論Ⅰ（理論）	伊藤麻希	担当初年度だったことや、全回が遠隔となったことで学生に十分なサポートが行えているか不安も多かったものの、受講学生の参加意欲が高く前向きな姿勢に助けられました。講義形式の際は学生が全員しっかり授業に取り組んでいるか疑問に感じる場面もありましたが、グループワークを取り入れたことで学生同士が積極的にコミュニケーションをとり参加意欲を高めることに繋がったと感じています。グループワークでは身体運動論Ⅰの理論だけでなく前期の身体運動論Ⅱの実技で学んだ知識も応用して発表する形式をとったため、知識と自身の体験を有効に活用する姿勢を身につけさせることができたと感じています。今年度の際も、積極的にグループワークを取り入れていきたいと考えています。しばしば授業時間が押してしまったことが反省であったため、今年度は授業前に完全に終了できるように心がけています。
1B0900	生活環境論	石田千絵	月曜日一限の大変ななかで、とても良く学べていたと思います。授業評価としましては、賛否両論ありましたので、可能な範囲で改善したいと思います。授業時間内に終わらないというご意見につきましては、2024年度カリキュラムから時間を大幅に増やせることになりました。後輩のためにご意見をありがとうございました。皆様におかれましては、この学びを卒業後も活かしていただけますと嬉しいです。
1B1000	障がい論	坂口千鶴	授業改善アンケートに回答して頂き、また貴重なご指摘、ありがとうございます。オンラインの種類、事前学の提出期限等につきましては、教員間で統一できるように検討していきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。
1C0200	社会学Ⅱ	鷹田佳典	本年度は授業内でグループディスカッションを行う時間を作りましたが、意見交換の時間が十分に少なかったことや、メンバーが固定化しがちだった点は大きな反省点です。授業構成全体を見直し、もう少しグループワークの時間を増やす工夫をしたいと思います。また、授業後も受講者間でディスカッションの続きが行えるよう、グレксаの活用などを検討したいと思います。
1C0400	家族社会学	三具淳子	家族について改めて考えてみると、知らないことが多いことに気づいたと思います。この授業では、社会で起きている様々な問題に目を向け、家族という視点からどのように読み解くことができるのか多様な資料をもとに考察してきました。看護師を目指す皆さんには、現代の家族が大きく変化しつつあることを理解し、広い視野をもって一人一人の患者さんに対応できる力をつけて欲しいと思っています。授業で取り上げたテーマをその入り口として、社会で起こっていることに関心をもち続け、考え続けていただきたいと思います。
1C0600	国際関係論	角田敦彦	全体的に肯定的な評価だったと認識しています。一方、講義の内容について、科目の性質もありますが、学生にとって難解な内容もあり、結果として興味関心を維持できない学生もあったようです。国際関係が複雑化する今日にあって、国際関係論を受講することで現在の国際関係を正しく読み解く力をつける一助になればと考えています。
1C0800	医療と文化	鈴木勝己	毎年、受講する皆さんから「面白かった」という感想をもらっています。本年度も例外なく、皆さんから好意的な評価、感想をもらい、うれしく思います。皆さんからの感想・評価から医療人類学は看護に必須の科目であることを確信しています。近年では医学部で必須科目になりましたが、私は医師以上に患者さんに近い、皆さん看護師こそ医療人類学の学びがより必要であると考えています。医療人類学という科目名が皆さんの記憶に残り、将来の看護師のあり方に迷ったときに良い導きとなることを期待しています。なお当科目は例年シラバスに沿った授業の進め方の評価がやや低めになりますが、これは皆さんの反応を見て順番や内容を修正しているためです。したがって、変更は皆さんの授業満足度に直結していると考えています（現状修正の必要はないと判断します）。

1D0200	数学Ⅱ	山下龍生	対面とオンラインでの講義があり、大変だとは思いますがおつかれさまでした。また、コメントをしてくれた方もいたようで、ありがとうございました。今後も数学関連の話題で不明な点が出てきたら気軽にメールしてもらえればと思います。
1D0400	生物学Ⅱ	宮崎正峰	みなさんからのコメント、大変感謝しています。これほどたくさんのコメントをもらったことはありません。みなさんのような学生の前で講義をできたことは幸せです。この先忘れないと思います。きちんとした理由もわからずにみなさんの前を去ることを強いられ大変に残念ですが、みなさんもこれからの人生、いいことも残念なこともあるかもしれません。たとえ自分の意に合わないことがあっても決して腐らずに、自分に合った環境を求めて新たな人生を歩んでいってください。動物の行動の講義でも話したようにあなたに合った環境は必ずあるはずです。あきらめることなく歩み、そして他人を納得させることにばかり気をとられずにあなたらしい生き方をすることを第一に考えてください。先生もこれから新たな歩みをしていきます。ペンギンや動物に興味のある人、そうでない人もいつでも連絡してください。みなさんと出会えたことを誇りに思い、最後に感謝の気持ちを述べます。ありがとうございました。
1E0100	情報学概論	鷹田佳典・川崎洋平	授業改善アンケートへの回答ありがとうございます。授業内容について、あまり興味を持てなかったという回答が幾つかありましたので、より皆さんが関心を持てるようなトピックを授業に取り入れていきたいと思っています。グループワークについては、「意欲的に取り組めた」というコメントをいただきましたので、今後も受講生の皆さんが主体的に授業に取り組めるよう、授業形態を工夫したいと思っています。
1E0201	情報科学	川崎洋平	学生さんの意見が無かったため、コメントは特にありません。
1E0202	情報科学	川崎洋平	学生さんの意見が無かったため、コメントは特にありません。
1F0301	英語R 1－2	遠藤花子	分かりやすかったというご意見があった一方で、話し方について、ご不満もあったようで、申し訳ございません。オンラインがほとんどでしたので、パソコンのマイクを見直したいと思います。
1F0302	英語R 1－2	川崎修一	過分な評価をありがとうございました。頂いた意見を基に授業改善に取り組みたいと思います。
1F0303	英語R 1－2	遠藤花子	概ね満足して頂いたようで良かったです。引き続き、英語を読むことを楽しんでください。
1F0304	英語R 1－2	川崎修一	過分な評価をありがとうございました。頂いた意見を基に授業改善に取り組みたいと思います。
1F0501	英語W 1－2	佐藤 眞	・大半の学生が熱心に授業を受けてくれたことを感謝します。・「順序立てて書き進める」ことを繰り返し伝えつつもりですが、十分ではなかったかも知れませぬね。・アンケートの回収率が70%程度だったのは少し残念です。
1F0502	英語W 1－2	Michelle van Bokhorst	学生によると良い授業でした。来年はアカデミックレポートだけではなく、他の英語の文章の書き方もより詳しく含めたいと思います。
1F0503	英語W 1－2	佐藤 眞	・大半の学生が熱心に授業を受けてくれたことを感謝します。 ・「順序立てて書き進める」ことを繰り返し伝えつつもりですが、十分ではなかったかも知れませぬね。 ・「グループで検討する時間が長い」というコメントをもらいました。グループによって時間がかかる場合もあり、なるべく遅いグループに合わせようとした結果だと思っています。適切な時間を考える必要がありますね。 ・アンケートの回収率が50%程度だったのは少し残念です。
1F0504	英語W 1－2	Michelle van Bokhorst	学生によると良い授業でした。来年はアカデミックレポートだけではなく、他の英語の文章の書き方もより詳しく含めたいと思います。
1F0701	英語LS 1－2	Benjamin Tutcher	Thank you all for your effort over the year, I enjoyed teaching the classes very much. And I appreciate the comments and reactions you gave to the questionnaire, I will consider these things moving forward with my teaching.
1F0702	英語LS 1－2	バンキン・サム	学生からの回答とコメントはほぼ良いです。そのため、シラバスと評価方法に自信が高められると思います。今学期にも、後期に、短いプロジェクトで探究学習を行います。昨年度の準備として、英語のレベルを調整したので、今のレベルの方が適当と思われます。今年度の後期には（学生たちが）ビデオ作りで探究学習を発展する予定です。
1F0703	英語LS 1－2	Michelle van Bokhorst	学生によると良い授業でした。来年も同じように行いたいと思います。
1F0704	英語LS 1－2	Benjamin Tutcher	Thank you all for your effort over the year, I enjoyed teaching the classes very much. And I appreciate the comments and reactions you gave to the questionnaire, I will consider these things moving forward with my teaching.

1F0705	英語LS1－2	バンキン・サム	学生からの回答とコメントはほぼ良いです。そのため、シラバスと評価方法に自信が高めると思います。今学期にも、後期に、短いプロジェクトで探究学習を行います。昨年度の準備として、英語のレベルを調整したので、今のレベルの方が適当と思われます。今年度の後期には（学生たちが）ビデオ作りで探究学習を発展する予定です。
1F0706	英語LS1－2	Michelle van Bokhorst	学生によると良い授業でした。来年も同じように行いたいと思います。
1F0901	英語R2－2	野村 美由紀	本文の英語の語法語句の説明とは別に、本文の内容に関する補足資料の配布も行って、説明しましたことが、理解に役立ったようで良かったです。質問の途中で解答してしまったらしいので、慌てずに、もっと最後まで落ち着いて聞くべきでした。
1F0902	英語R2－2	皆川 健次郎	質問の1～10までは、4点台とは言え、平均を下回っているの、改善していきたいと思います。特に「話し方」、「板書」は授業の要とも言えるモノなので、「話し方」⇒はっきり、明瞭に、「板書」⇒大きく、丁寧に 改善していきたいと思います。ZOOMでのチャットは、読めない学生がいたようですが、読める学生もいるので、原因はわかりません。
1F0903	英語R2－2	野村 美由紀	アンケートの回答数が一人ということで、コメントの方は何もいただけませんでしたが、必修の英語の授業の為、仕方なく履修することになってしまっている面があるにも拘らず、学生さんが「意欲的・積極的に授業に取り組んだ」とありましたのは、嬉しい結果でした。
1F0904	英語R2－2	皆川 健次郎	質問の5、6、8、9が4.0でしたので、テキストの扱い方に問題ありだと読み取りました。テキストは各分野で、多岐にわたっているので、読みにくいものもあったかもしれません。本年度から、テキストが変更になりました。現在のテキストNursing Researchは学生の興味のあるのもで、原書を編集して難しい部分もあるかもしれませんが、興味はともあると思います。興味という点では、現在のテキストが学生のニーズに格段に合っています。
1F1100	英語W2－2	遠藤花子	アンケートのご回答が1名でしたが、今後、改善すべきところは改善していきたいと思います。
1F1103	英語W2－2	遠藤花子	添削について、分かりやすかったというご意見を頂き、嬉しく思います。みなさん、引き続き頑張ってください！
1F1701	中国語Ⅱ	神谷智幸	アンケートの集計結果とご意見につきまして、担当教員よりコメントを述べたいと思います。まず、本授業の回答率は、24名中14名（58.3%）、得点としては、全14問中2問が全学平均を下回る結果でした。回答率が低かった理由は「時を戻す」必要がありますが、最終授業日（2022年1月6日）に大雪が降ったためでした（覚えてますか）。オンラインで参加された方々のご意見が反映されていない点は残念ですが、本結果に基づき、以下、反省点や改善点を確認したいと思います。全学平均の得点を下回った2つの質問は、それぞれ「この授業は自分にとって価値があった」「私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ」でした。いずれにも1名「どちらとも言えない」という回答がありました。教員としては、専門科目の学習が忙しさを増していくなか、みずからの意思で「中国語Ⅱ」を選択した方から、このような回答が出てしまったことは残念であり、反省したいと思います。ただ一方では、「先生の熱量を感じて良いし、内容も実用的で良かったです」という個別のコメントも寄せられました。今後は（後任者にバトンを渡しましたが）、履修選択の段階から授業についてきちんと説明し、慎重に選択していただくなど改善が必要かと思えます。最後に、「中国語Ⅱ」の授業が円滑に進むよう、毎週ご協力くださり、熱心に取り組んでくださったことに心から感謝申し上げます。この授業がみなさんの人生でどのように「役に立つ」かは（人によって異なり）分かりませんが、自分とは異なる「価値観」をもつ他者に関心を寄せ、認め、尊重していただけたら、一緒に学んだ時間は無駄ではなかったと思います。中国語についても、大事な基礎を学びましたので、それぞれの興味や時機に応じて、長い付き合いをしていただけたら幸いです。

1F1702	中国語Ⅱ	神谷智幸	アンケートの集計結果とご意見につきまして、担当教員よりコメントを述べたいと思います。まず、本授業の回答率は、14名中4名（28.6%）、得点としては、全14問が全学平均を上回るという結果でした。回答率が低かった理由は「時を戻す」必要がありますが、最終授業日（2022年1月6日）に大雪が降ったためでした（覚えてますか）。オンラインで参加された方々のご意見が反映されていない点は残念ですが、本結果に基づき、以下コメントを述べます。 全14問がすべて満点という結果は初めての経験なので、正直驚いています。個別のコメントは2つ頂き、一部抜粋すると、共通するキーワードは「丁寧」「分かりやすい」があり、「中国語についてより学びたい」「安心して授業を受けることが出来ました」というそれぞれのご意見がありました。教員といたしましては、専門科目の学習が忙しさを増していくなか、みずからの意思で「中国語Ⅱ」を選択していただいたので、「丁寧に分かりやすい」授業を心がけておりました。それがきちんと伝わったことは喜ぶべきことだと思います。ただ、満点だからといって慢心することなく、今後も（後任者にバトンを渡しましたが）、看護大学で中国語を学ぶ意義を丁寧に伝えられるよう引き続き努力する必要があります。最後に、「中国語Ⅱ」の授業が円滑に進むよう、毎週ご協力くださり、熱心に取り組んでくださったことに心から感謝申し上げます。この授業がみなさんの人生でどのように「役に立つ」かは（人によって異なり）分かりませんが、自分とは異なる「価値観」をもつ他者に関心を寄せ、認め、尊重していただけたら、一緒に学んだ時間は無駄ではなかったと思います。中国語についても、大事な基礎を学びましたので、それぞれの興味や時機に応じて、長い付き合いをしていただけたら幸いです。
1F1901	フランス語Ⅱ	西脇雅彦	回答ありがとうございます。少人数でしたが、みんなよく取り組んでくれてとてもよかったです。
1F1902	フランス語Ⅱ	西脇雅彦	回答ありがとうございます。少人数でしたが、みんなよく取り組んでくれてとてもよかったです。
1G0201	基礎ゼミⅡ	遠藤公久	1名だけ興味を持ってなかったり、あまり価値を感じなかった学生がいたことが悲しいことでした。基礎ゼミが第1希望でなかったことかもしれませんが、そうであったとしても、価値や意味を感じないとすれば、教員として反省すべき点かと思います。考えてみたいと思います。楽しかったとの自由記述がありましたので、何を授業に求めるかという点で検討が必要かと思いました。
1G0202	基礎ゼミⅡ	川崎修一	過分な評価をありがとうございました。頂いた意見を基に授業改善に取り組みたいと思います。
1G0203	基礎ゼミⅡ	遠藤花子	みなさんが楽しく授業を受けて下さったようで、私も満足しております。これからも異文化に対する興味を持ち続けてほしいです。
1G0204	基礎ゼミⅡ	井上明宏	おおむね楽しくゼミに参加していただいたようで、よかったです。”最高!”のコメントもありがとうございます。個性的かつ熱心に取り組むメンバーにも恵まれ、教員の方も楽しみ、学ばせていただきました。
1G0205	基礎ゼミⅡ	角田敦彦	概ね肯定的な評価であったと認識しています。学生の皆さんは、自発的に課題を設定し、他の学生と積極的に意見を交わす様子が見られ、科目としての目標には到達できたのではないかと思います。今後は、より活発なディスカッションが展開できるよう、学生へのかかわりについても考えていきたいと思います。
1G0206	基礎ゼミⅡ	川崎洋平	自主的に取り組める雰囲気の良い評価をいただきました。次年度以降は参考となる資料も増やして、よりよい授業を作っていこうと思います。
1G0207	基礎ゼミⅡ	鈴木勝己	「基礎ゼミ」は大学生としての学び方を身に着けるための非常に重要な科目です。教員から提供される授業の内容はもちろん重要ですが、それ以上に皆さん自身が主体的に取り組む、問題意識を育んでいくことが大事です。私の専門とする医療人類学は、そのための素材を多く提供できる学問です。ここ日赤看護大では「医療と文化」という科目名で提供されています。ぜひ受講してみてください。さて、本年度はコロナ禍もあり、授業の進行はスムーズとは言いかねるものであったことが今後の課題かと思います。対面とZOOM環境の混在や使い慣れないGlexa環境に対して十分な対応ができませんでした。早めの確認と対応でスムーズな進行を心がけたく思います。
1G0208	基礎ゼミⅡ	越後敬子	差別に関するテーマを各自で設定し、真摯に取り組んでいました。学生同士で話す機会があればよかったという意見がありました。プレゼンテーションをその機会に当てたつもりでしたが、意図がうまく伝えられていなかったようです。今後の授業に活かします。

1G0209	基礎ゼミⅡ	伊藤麻希	担当初年度であったこともあり、学生の学びの助けとなるように配慮しながら、対話を多くしながら授業を進めていきました。予測の目安としていたシラバスに完璧に沿うような授業の展開とは外れてしまっていた部分もありますが学生の参加意欲が高く感じられました。授業時間の配分が難しく、少し授業終了時間を押してしまった（長くても5分程度）ことがあったため、今年度の授業では時間内に収まるように十分配慮しています。
1G0210	基礎ゼミⅡ	三好 洋	自由記述がないので、コメントはありません。
1G0230	基礎ゼミⅡ	渋谷真樹	授業での説明やグループワークについては高評価でうれしいです。一方、授業の終了時間が遅くなり、次の授業への移動がたいへんだったとのご意見いただきました。今後、終了時刻の厳守に努めます。
1H0301	人体の構造と機能Ⅲ	菅田 晴夫	「声が聞き取りにくい」という項目が、低い評価でした。たぶん対面授業の場面だったかなと思います。例年になくノドの調子が悪く、時々声がかすれ気味になったことや、マイクを使いこなしていなかったためであろうと思います。来年度は十分注意したいと思います。まあでも、オンラインより対面の授業の方が皆さんの反応がわかっていいですね。私が気になったのは対面授業時の出席確認法です。Glexa上の出席者数よりも実際の出席者数の方が少なく感じていましたが、このアンケート実施日にそのことがはっきりしました。授業に出たくない日もあるでしょうが、出席数は受験資格に関わる項目ですので、おろそかにできません。何らかの対策が必要かなと考えています。
1H0302	人体の構造と機能Ⅲ	菅田 晴夫	「声が聞き取りにくい」とのコメントがありました。対面授業時かと思います。例年になくノドの調子が悪く、後半声がかすれたり、マイクの使い方が良くなかったかなと思います。来年度は注意します。まあでも、対面授業の方が、皆さんの反応が分かっていいですね。私が気になったのは、対面授業時の出席者数がGlexa上の数と合わないのではないか、ということです。このアンケート実施日にそのことがはっきりしました。皆さんにも授業に出たくない事情があるでしょうが、出席数は受験資格にかかわるので、おろそかにできません。何か対策を考えないといけないかな、と思っています。
1H0400	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	井上 明宏	オムニバス形式ですが、各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。リフレクションの提出締切がタイトだったということで、改善します。
1H0500	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	井上 明宏	オムニバス形式ですが、各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。座席指定の変更頻度が高いということで、毎回変更は避けようと思いますが、固定するというのも不公平感があるという意見もあります。演習中の巡回で集中できないという点については、学生の取り組みの様子も近くでないとわからないこともあるためです。
1H0600	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	井上 明宏	今年から、脳・神経系の講義を3人の先生で一般・内科・外科と分担していただき、バラエティーもあつた点を評価していただきました。手術動画などが好評のようなので、今後も講師の先生にお伝えしていきます。
1H0700	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	井上 明宏	回答者が6名ということで、アンケートとしては不十分かと思いますが、勉強環境が公平に保たれていたというコメントをいただき、とりあえずよかったです。
1H0800	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ	井上 明宏	医師の講師の熱意が感じられたというコメントをいただきましたので、お伝えしておきます。レジメの見難さや難解な部分もあつたかもしれませんが、豊富な内容を扱っていて、それらのすべてを理解して覚えてくださいということではありません。少しでも先端的な内容に触れることで、臨床現場の現状についてのイメージができればよいでしょう。国試対策を意識した講師とそうでない講師がいたかと思いますが、国試対策予備校の授業ではありませんので、大学の授業でないと聞くことができない話だということを前向きにとらえていただければと思います。
1H1000	薬理学	吉見 猛	授業のスピードが早すぎるという意見がありました。8回の講義で薬理学を網羅することには大変なので授業スピードが速くなりがちですが、できるだけ急がないように心がけようと思います。また、レジメを作成してほしいという意見がありましたので、検討したいと思います。

1H1300	栄養学	齋藤沙織	本授業は、8回で栄養学全般について講義する科目となっております。そのため、授業で講義する内容が多い、授業進度が早いと感じた学生がいたことがわかりました。また、今回は密を防ぐためホールで講義を行ったが声が小さく聞こえづらかったと感じていたことが学生のコメントよりわかりました。本授業の良い点として書かれていた重要な点については繰り返し話すようにすること、食事の写真を載せるなど、学生が具体的にイメージしやすい資料作りを今後も続けていきたいと考えます。改善点として書かれていた話す速度やマイクの音量については、授業の最初に毎回確認するように注意するようにいたします。
1I0200	看護学概論Ⅱ	吉田みつ子	受講者のみなさんの活発なグループワークによって、卒業前の時期に、改めて看護について深めることのできた授業になったと思います。授業評価については、演習用のアンケートのほうに答えやすいというご意見をいただきましたので、次年度から変更したいと思います。
1L0101	精神保健看護学Ⅰ	鷹野朋実	授業改善アンケートに回答していただいた9名の方には心から感謝いたします。皆様のご意見を次年度以降の授業に反映させていきたいと考えております。各回の授業テーマにより学習内容の量は全授業で均一化することは難しいのですが、バランスを再検討します。
1L0102	精神保健看護学Ⅰ	鷹野朋実	授業改善アンケートに回答していただいた3名の方には心から感謝いたします。皆様のご意見を次年度以降の授業に反映させていきたいと考えております。
1M0300	発達看護学Ⅰ①	新田真弓	ご意見ありがとうございました。授業内では、妊娠期や分娩期の状況設定からアセスメントと一緒に考える講義展開を行いました。皆さんの理解につながったようで良かったです。途中から急遽オンラインでの講義形式に変更したこともあり、授業の進行速度については適切でなかったと感じる方がいたようなので、今後検討していきたいと考えています。
1M0501	発達看護学Ⅱ①	江本 リナ	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。おおむね良好な評価をいただきました。今後もみなさんが楽しく学ぶことができるような授業を行っていききたいと考えています。
1M0502	発達看護学Ⅱ①	江本 リナ	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。おおむね良好な評価をいただきました。今後もみなさんが楽しく学ぶことができるような授業を行っていききたいと考えています。
1M0700	発達看護学Ⅲ①	坂口千鶴	授業改善アンケートへの回答、ありがとうございます。教員の話し方や内容の伝え方に課題があるとのこと指摘を受け、今後わかりやすい内容や伝え方について検討していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いします。
1N0100	プライマリーヘルスケア	井口 理	・動画の利用が内容理解を促したことを確認出来て、効果を実感しています。・リアクションペーパー提出の時間については、対面授業終了時に提出してもらっていたのと同等のイメージで授業当日の19時に設定していましたが、リモート授業が増えて、授業後に所要のある学生も多いようなので、今後、提出時間を遅くすることが必要なかと思うようになりました。ただ令和4年度は科目責任者変更に伴い、確約はしかねますのでご了承ください。また「他教科と比較して早すぎる」という指摘があるようですので、今後は大学全体で締め切り時間を標準化するなどご検討いただくようお願いしてみます。・リアクションシートの提出を出席確認のツールとするのは、1回ずつの授業で理解した内容をまとめていただく学習支援の意味もあり、ご説明もしていましたが、建設的なご意見というより複数の批判が寄せられていたことは残念です。・資料の配置はできるだけ事前に用意して配置しておりましたが一部前日までにお渡しできない時がありました。今後も気を付けて事前に配置できるようにします。・一部教員の言い回しが不快に感じたというご指摘は領域内で共有し、言動に留意するように申し合わせました。
1O0100	地域看護学	石田千絵	地域の看護職の働きやALSで療養をされている先生からのご講義等で、ポジティブなご意見が多々ありました。ありがとうございます。一方で、学修範囲が広く試験対策がしにくかったり、教員によってどこがポイントが分りにくかったりなどの問題が残されていたようです。皆様の様々なご意見を教員間で共有させていただきましたので、全ての教員が授業のポイントをお伝えできるように改善しようと思います。
1O0200	公衆衛生看護活動論	吉川悦子	授業改善アンケートの提出をありがとうございました。遠隔と対面を組み合わせた授業形態でしたが、おおむね良い評価をいただき、一安心しております。COVID-19の感染状況を鑑みて、急ぎょ対面からオンラインに変更などがある中、ブレイクアウトルームや全体での意見交換など、積極的に、関心を高く持ちながらこの講義に参加くださったことを重ねて感謝申し上げます。今後も皆さんが公衆衛生看護に興味や関心を寄せてくださることを期待します。

1O0400	疫学	川崎洋平	コメントはいただいていないのですが、授業の内容をより興味のあるものに変えていこうと思います。
1P0100	看護管理学Ⅰ	安部陽子	授業デザインおよびフィードバックには、好意的なご意見をいただき、ありがとうございます。課題の量が多いというコメントをいただきました。1単位を得るためには、国の法令や学則により、45時間の学修が必要です。各回、事前学習・授業時間・事後学習を含めて5-6時間の学修が必要になります（ただし、1時間は学則で定めている時間になります）。しかしながら、多様な学生さんの意見があることを踏まえ、規定とのバランスを考えて、課題等を計画していきたいと思います。事前・授業中・事後の課題があるのは、このような理由によるものですが、出欠と関連しているのは授業中の課題のみであり、それは授業の初回に説明し、ガイダンス資料に明示しています。今回、出欠と課題の関連についてご質問が記載されていたので、1回のみのご説明ではなく、複数回、説明していきたいと考えます。聞き取りにくさについては、授業中にお声がけいただけましたら調整できますが、お声がけが難しい状況にあったためご意見が出たと考えます。こちらから、確認させていただきまします。ここ数年、教科書をご用意いただけない方がそれなりの数いらっしゃるの、昨今の経済状況等も鑑み、今年度は教科書を指定せず、資料をすべて配布しました。その結果、資料が多くなりましたが、資料が多すぎるというご意見がありましたので、また、教科書を使用するかなど、検討いたします。
1P0300	看護教育学Ⅰ	佐々木幾美・西田朋子	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。回答者が14名という点は残念でしたが、全体としては高い評価をいただき、嬉しく思います。事後学修のレポートでの質問に対して、次回の授業で説明することは、学生の皆さんの学びにつながるという評価をいただきましたので、今後も継続していきます。試験の回答については対応していきたいと考えております。
1P0400	看護教育学Ⅱ	西田朋子	選択科目ですが関心を持って履修をしていただきありがとうございました。概ねよい評価をいただきましたが、看護教育制度をよりわかりやすく関心を持っていただけるよう改善もしていきます。
1R0200	国際看護学Ⅱ	織方 愛	アンケートへの回答ありがとうございます。国際の現場経験を聞けて楽しく学べたという意見を多く頂戴しました。確かに日本赤十字社の派遣要員経験のある教員や実際に現在派遣されている看護師の授業を受けられるのは貴重な機会だと存じます。今後総合実習では国際看護も準備していますので履修もご検討ください。改善点としては、貴重な意見を頂いたので改善すべき点は次年度に生かしていきたいと思います。教員から発表の講評をする時間はありませんでしたが、学生間の講評がすぐれていたため不要と判断しました。今後はサマリーなどでそのことをフィードバックする時間を確保していきたいと思います。2022年度はぜひ対面が実現すると嬉しく思います。
1R0401	災害看護論Ⅰ	内木美恵	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。ご意見から、皆さんが主体的に本科目の学修を進めておられたことが伝わり、嬉しく思っております。良い点として、教員の体験談が学習内容の理解に役立ったこと、災害看護論Ⅱが待ち遠しい等が挙がっていました。次年度に活かしていきます。貴重な意見をありがとうございました。
1R0402	災害看護論Ⅰ	内木美恵	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。ご意見から、皆さんが主体的に本科目の学修を進めておられたことが伝わり、嬉しく思っております。良い点として、教員の体験談が学習内容の理解に役立ったこと、災害看護論Ⅱが待ち遠しい等が挙がっていました。次年度に活かしていきます。貴重な意見をありがとうございました。
1T0201	研究方法論Ⅱ	江本リナ	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。概ねよい評価をいただきました。オフィスアワーでは丁寧で手厚いアドバイスを得られたという意見がある一方、学生一人あたりの時間が長すぎる場合があったり、教員によってアドバイスが異なっていたという意見もありました。学生と教員同士でコメントを共有し合えるような工夫や、提出したものに対するコメントの充実も図りたいと考えます。
1T0202	研究方法論Ⅱ	江本リナ	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。概ねよい評価をいただきました。オフィスアワーでは丁寧で手厚いアドバイスを得られたという意見がある一方、学生一人あたりの時間が長すぎる場合があったり、教員によってアドバイスが異なっていたという意見もありました。学生と教員同士でコメントを共有し合えるような工夫や、提出したものに対するコメントの充実も図りたいと考えます。

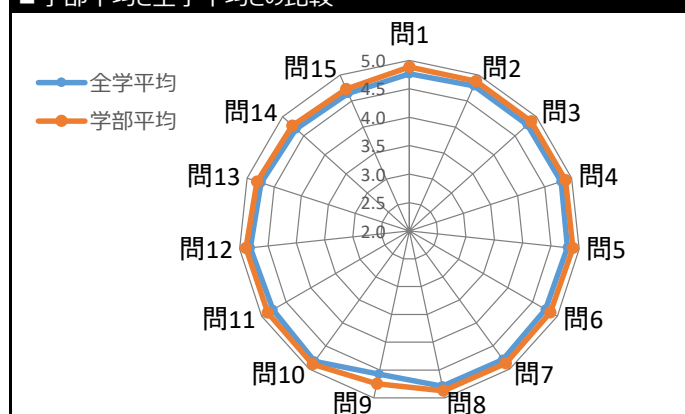
1U0100	公衆衛生活動展開論	吉川悦子	アンケートにご回答いただきありがとうございます。すべての項目に高い評価をいただき、皆さんが熱心に授業に取り組んでいただいていたことがよく伝わってきました。リモートと対面での授業の組み合わせでしたが、皆さんが関心をもって授業に参加してくださったことに感謝しています。いただいた意見は今後の授業展開にいかしていきたいと思っています。
1U0300	公衆衛生看護方法論	吉川悦子	アンケートにご回答いただきありがとうございます。全体としては良い評価をいただきましたが、8回という限られた回数の中での健康教育の企画・実施を展開するには、時間数が足りなかったというコメントもいただきました。次年度の演習や実習につなげるための、一連の過程を体験してみるという位置づけの明確化、評価の考え方などをしっかりと説明して、到達点について皆さんで再度確認する必要性を感じました。次年度の授業運営に活用していきたいと思っています。

学 部	看護学部	履修者数	455	回答率	79.6%
		回答数	362		

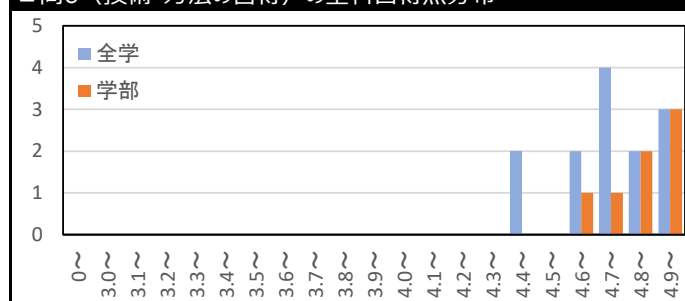
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						42	4.88	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。						42	4.88	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。						44	4.88	4.79
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。						42	4.88	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。						40	4.89	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。						47	4.86	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。						42	4.88	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。						44	4.87	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。						63	4.75	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						37	4.90	4.83
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。						44	4.87	4.77
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						40	4.89	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。						55	4.81	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。						59	4.77	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。						81	4.73	4.65
問1～15全問平均								4.85	4.76

■学部平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布

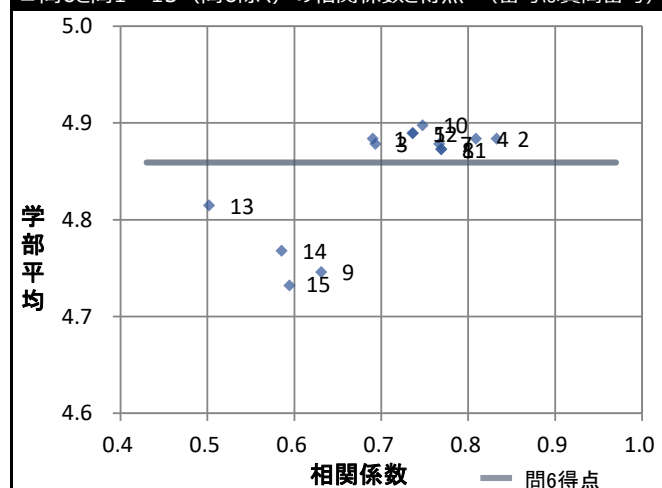


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝学部平均が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

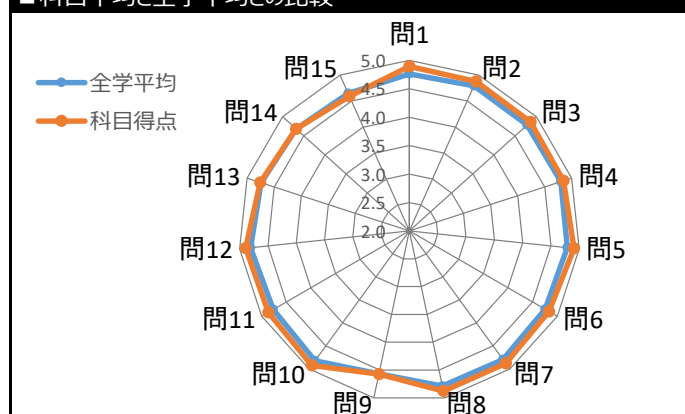
2021年度後期

科目名	看護技術論Ⅱ①	[1J0201]	学部	看護学部	履修者数	71	回答率
教員名	樋口 佳栄		授業形態	演習	回答数	66	93.0%

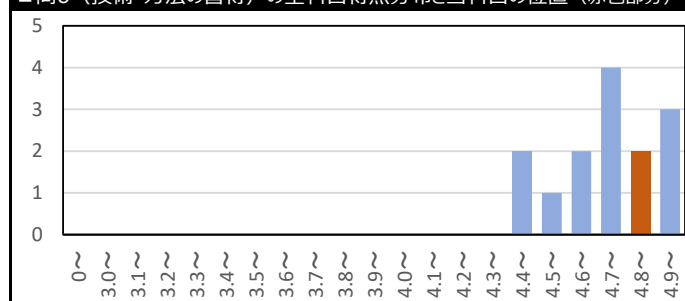
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						7	4.89	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。						8	4.88	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。						9	4.86	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。						10	4.85	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。						6	4.91	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。						11	4.83	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。						8	4.88	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。						8	4.88	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。						5	4.58	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						5	4.92	4.82
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。						9	4.86	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						7	4.89	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。						16	4.76	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。						18	4.68	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。						2	4.59	4.65
問1～15全問平均								4.82	4.75

■科目平均と全学平均との比較



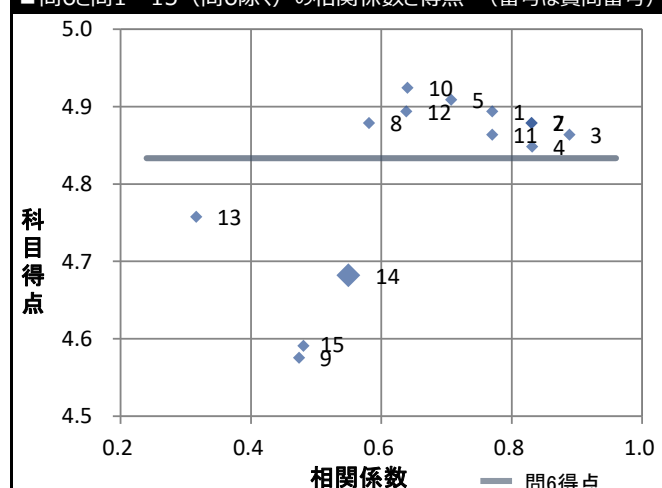
■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし

＜質問別回答内訳と得点＞
 ・グラフ内数字は回答数
 （3%未満は非表示）
 ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

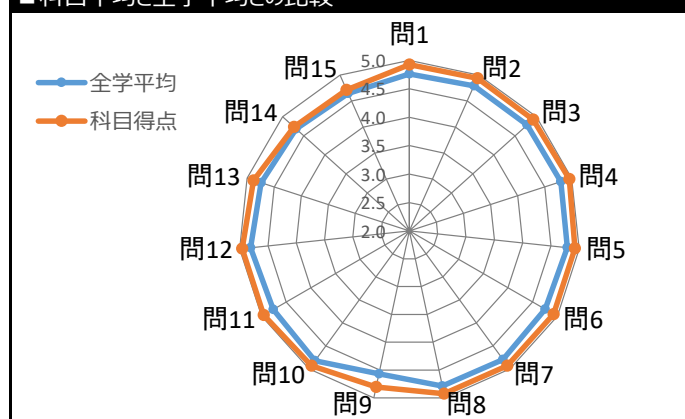
2021年度後期

科目名	看護技術論Ⅱ①	[1J0202]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	樋口 佳栄		授業形態	演習	回答数	67	93.1%

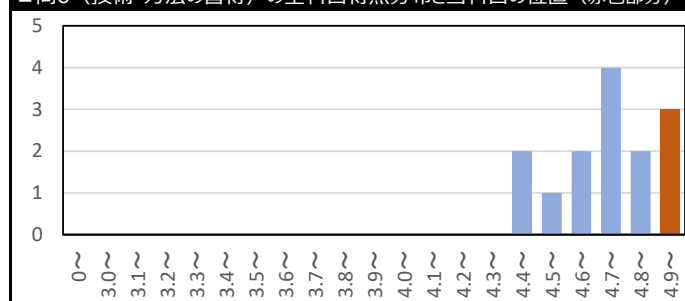
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						5	4.93	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。						4	4.94	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。						5	4.93	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。						3	4.96	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。						5	4.93	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。						5	4.93	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。						5	4.93	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。						5	4.93	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。						3	4.81	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						5	4.93	4.82
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。						3	4.96	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						3	4.96	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。						6	4.88	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。						14	4.73	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。						17	4.72	4.65
問1～15全問平均								4.89	4.75

■科目平均と全学平均との比較



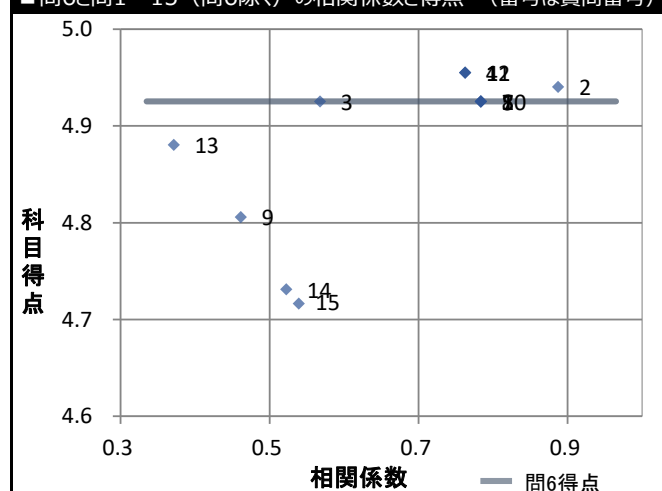
■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞
 ・グラフ内数字は回答数
 （3%未満は非表示）
 ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

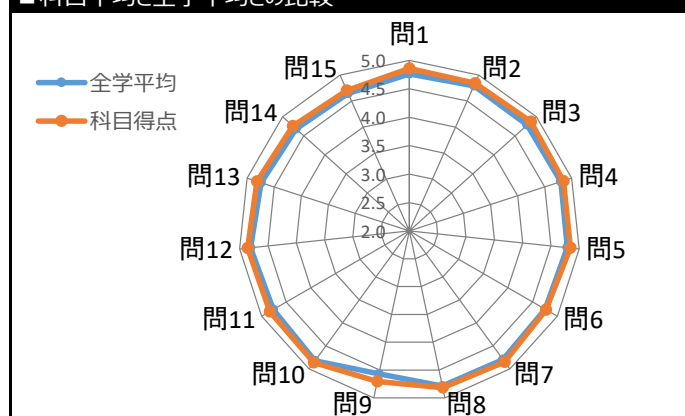
2021年度後期

科目名	看護技術論Ⅲ②	[1J0501]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	細野 知子		授業形態	演習	回答数	71	98.6%

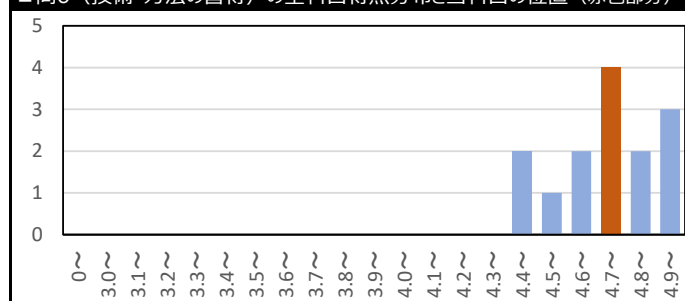
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					61	10	4.86	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。					60	11	4.85	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。					62	9	4.87	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。					60	11	4.85	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。					60	11	4.85	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。					57	12	4.77	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。					60	11	4.85	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。					58	13	4.82	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。					52	17	4.70	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。					61	10	4.86	4.82
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。					59	12	4.83	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。					61	10	4.86	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。					59	11	4.82	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。					57	12	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。					52	17	4.70	4.65
問1～15全問平均								4.82	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

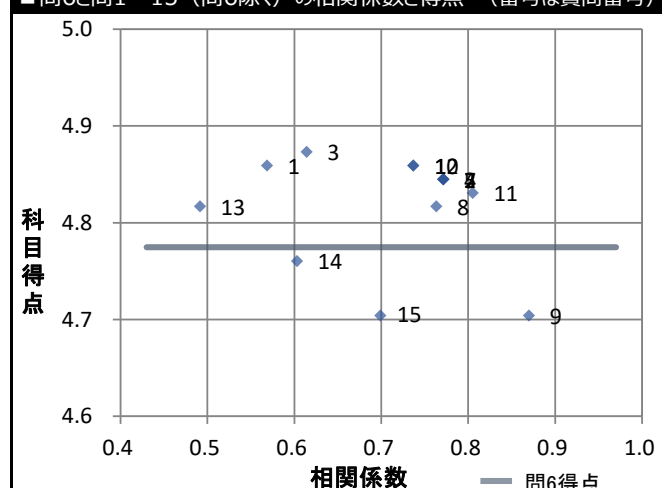


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

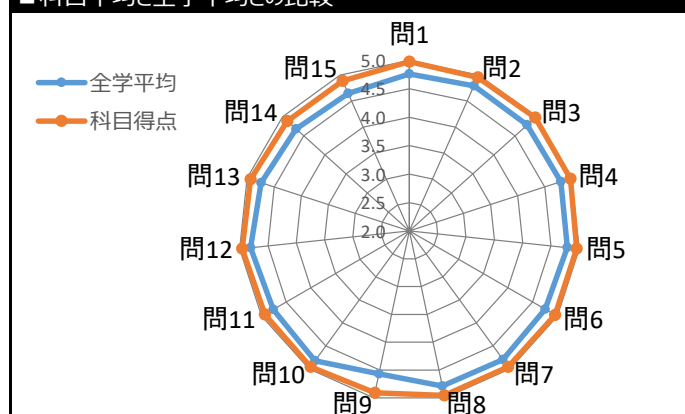
2021年度後期

科目名	看護技術論Ⅲ②	[1J0502]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	細野 知子		授業形態	演習	回答数	45	62.5%

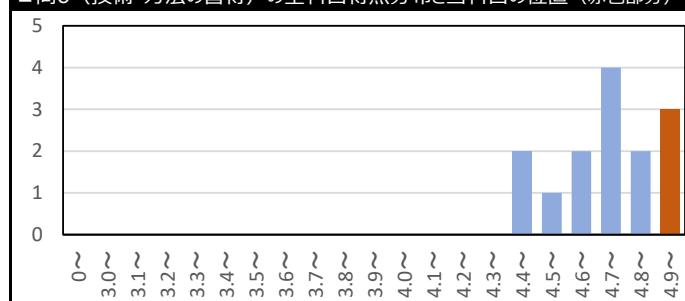
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.98	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。							4.96	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。							4.98	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。							4.98	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。							4.96	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。							4.96	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。							4.96	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。							4.96	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。							4.91	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.96	4.82
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。							4.93	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.96	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。							4.93	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。							4.89	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。							4.89	4.65
問1～15全問平均								4.95	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

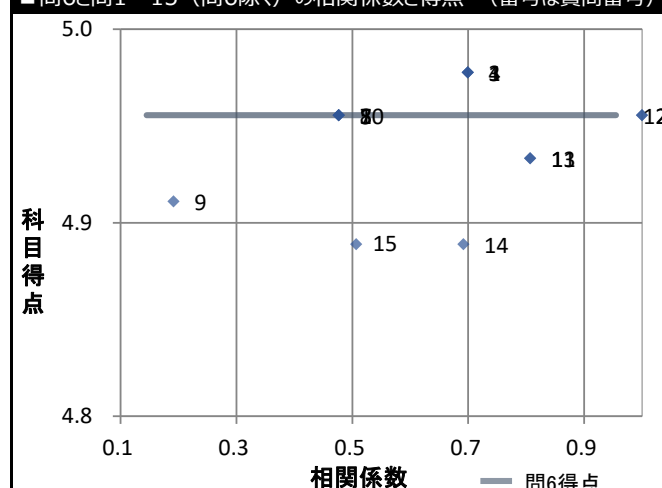


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

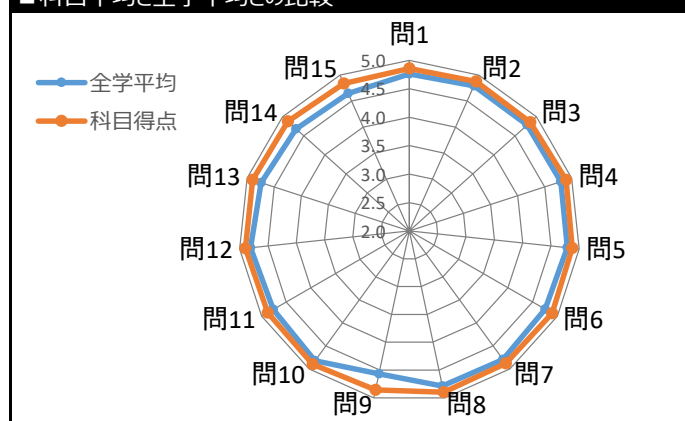
2021年度後期

科目名	健康レベル別看護学演習Ⅰ	[1N0501]	学部	看護学部	履修者数	71	回答率
教員名	河田 照絵		授業形態	演習	回答数	49	69.0%

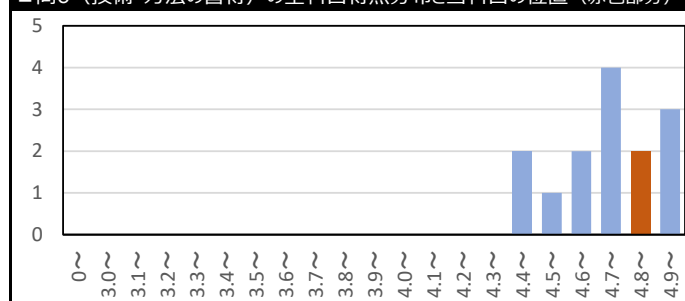
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					42	7	4.86	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。					43	6	4.88	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。					42	7	4.86	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。					44	5	4.90	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。					43	6	4.88	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。					44	5	4.90	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。					44	4	4.88	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。					44	5	4.90	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。					44	4	4.86	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。					44	5	4.90	4.82
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。					44	4	4.88	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。					44	5	4.90	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。					44	5	4.90	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。					43	6	4.88	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。					41	8	4.84	4.65
問1～15全問平均								4.88	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

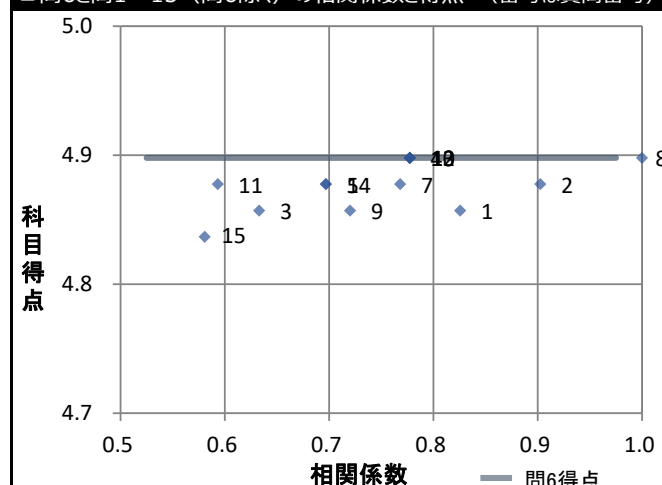


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

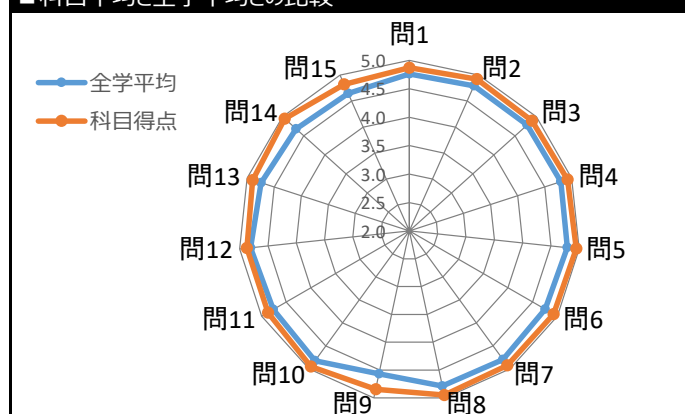
2021年度後期

科目名	健康レベル別看護学演習Ⅰ	[1N0502]	学部	看護学部	履修者数	72	回答率
教員名	河田 照絵		授業形態	演習	回答数	39	54.2%

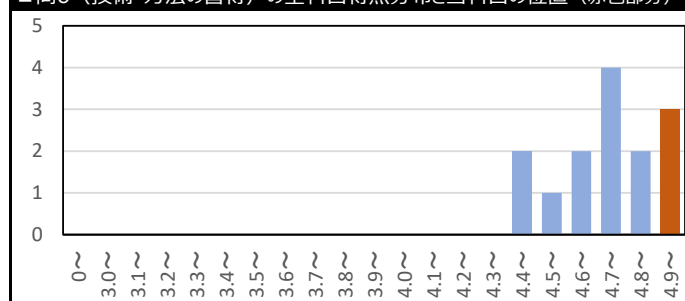
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						5	4.87	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。						3	4.92	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。						4	4.90	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。						3	4.92	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。						2	4.95	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。						3	4.92	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。						3	4.92	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。						2	4.95	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。						6	4.85	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						2	4.95	4.82
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。						5	4.87	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						5	4.87	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。						4	4.90	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。						2	4.95	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。						5	4.82	4.65
問1～15全問平均								4.90	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

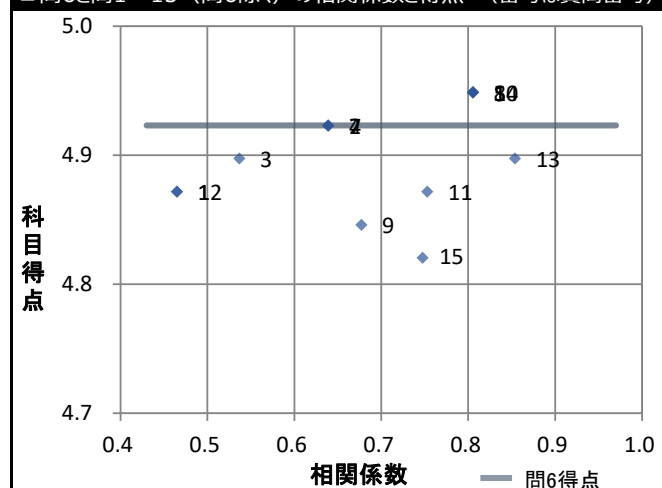


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

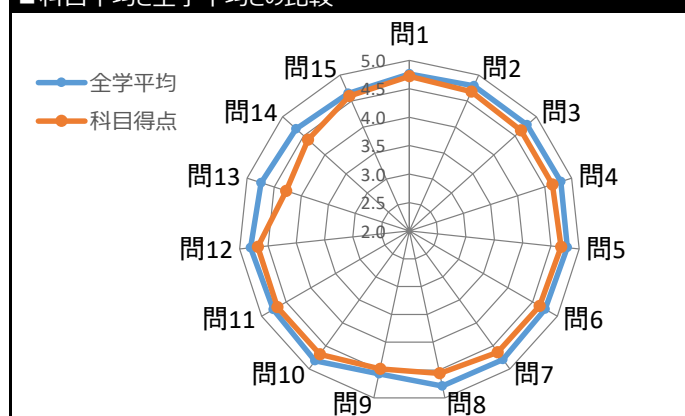
2021年度後期

科目名	災害看護活動論Ⅱ	[1R0700]	学部	看護学部	履修者数	25	回答率
教員名	内木 美恵		授業形態	演習	回答数	25	100.0%

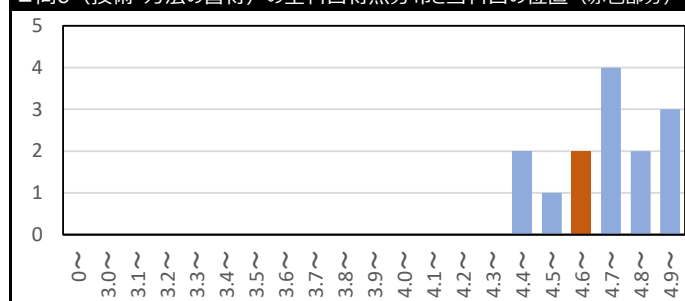
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	18				7		4.72	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。	17				8		4.68	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	16				9		4.64	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	16				9		4.64	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	17				8		4.68	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	16				9		4.64	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	16				9		4.64	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	15				9	1	4.56	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。	14				10	1	4.48	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	17				8		4.68	4.82
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	17				8		4.68	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	17				8		4.68	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	12				10	1 2	4.28	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	15				6	3 1	4.40	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	16				8	1	4.60	4.65
問1～15全問平均								4.60	4.75

■科目平均と全学平均との比較



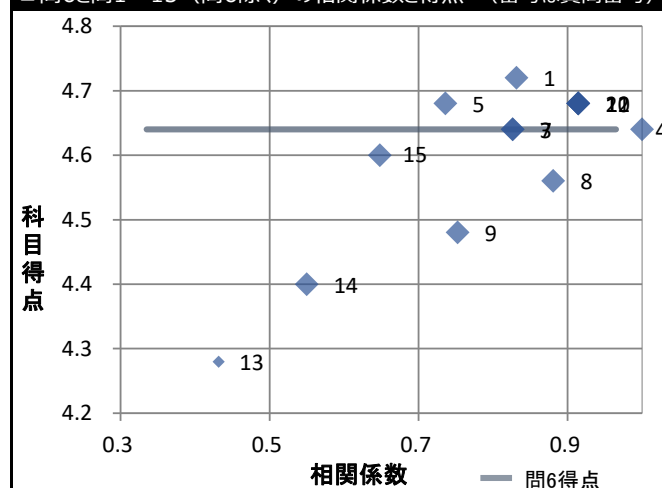
■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞
 ・グラフ内数字は回答数
 （3%未満は非表示）
 ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1J0201	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）	樋口佳栄	受講してくださいましたみなさま ご意見・ご感想をたくさんお寄せくださり、大変ありがとうございました。楽しく学んでくださった様子が伝わってきて、良かったなあと感じております。講義の部分が少々長いことについて複数のご意見をいただきました。身体を使って実践することの大事さを実感して下さっているようでうれしい気持ちもわいてきました。アセスメントの部分とのバランスや時間配分（時間内に終わることやあわただしい構成になっていることがあったなど）も単元ごとに、より丁寧に改めて検討したいなと思いました。バインダーを使うときの書き取りのしにくさなど、授業の構成に関するご意見をいくつかいただきました。大変ありがとうございました。先生方と検討しながら、より学びやすい構成になるように努力を重ねてまいります。また複数の実習室を繋いで行うときの聞きにくさについてもご意見をいただきました。音声や画像などできる限り丁寧に調整をしたり、音と目で確認しやすいようにするなど、資料にも工夫を重ねてまいりますね。ありのままのご意見をお寄せくださり、感謝です！ありがとうございました！
1J0202	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）	樋口佳栄	受講してくださいましたみなさまご意見・ご感想をたくさんお寄せくださり、大変ありがとうございました。楽しく学んでくださった様子が伝わってきて、良かったなあと感じております。講義の部分が少々長いことや時間配分（時間内に終わることやあわただしい構成になっていることがあったなど）、授業の構成に関するご意見をいくつかいただきました。大変ありがとうございました。先生方と検討しながら、より学びやすい構成になるように努力を重ねてまいります。複数の実習室を繋いで行うときの聞きにくさについてもご意見をいただきました。音声や画像などできる限り丁寧に調整をしたり、音と目で確認しやすいようにするなど、資料にも工夫を重ねてまいりますね。オフィスアワーをもっと開いてほしいとのご意見もいただきました。心意気を感じられてとてもうれしかったです。コロナの影響もあり、開くことが難しかったのですが、徐々に増やしていく方向で検討してまいりますね。「実習ではちゃんとするから演習ではネイルを許可してもらえないかな～」というご意見もございました。おしゃれも大事なことで、重々承知しております。私も同じ年代を生きてまいりましたから。私もそのことを時折考えます…。どうしたらいいかな～、って。私が心配しているのは何だろう…。演習のときに、ネイルした爪だったとしますとね、相手の学生さんの身体を傷つけないかなとか、ネイルの飾りがとれないかな、とか 遠慮して、自分自身が学ぶことを自分自身で妨げてしまうことがありますでしょうか…。演習は、看護師になる自分を、自分で育てる機会と思っております。私としては、その機会を十分に活用してほしいと願っております。如何でしょうか…。また機会がありましたら是非お気持ち聞かせていただきたいなと思っております。みなさま、ありのままのご意見をお寄せくださり、感謝です！ありがとうございました！
1J0501	看護技術論Ⅲ②	細野知子	看護技術論Ⅲ②を楽しく学んでいただきありがとうございます。本科目では、看護技術を身につけるだけでなく、「なぜそうするのか」を考えられる看護師になるための力がつくように授業をつくりました。アンケート結果からは、その意図を皆さんが汲み取ってくださったことがわかり、とてもうれしく感じております。特に、総合演習はいい学びの機会になったようですね。次年度も続けていきたいと思います。コメントをありがとうございました。また、皆さんが気軽に質問して下さることもうれしく感じています。おかげで皆さんがわからないこと、うまくできないこと、困っていること、それだけでなくわかったことやできるようになったことも知ることができて、教員も皆さんと一緒に学ぶことができています。音声や映像の共有トラブルが多かった点はご迷惑をおかけしました。次年度の課題といたします。学生さんたちが学びやすい環境を整えて、さらに授業内容をブラッシュアップしてまいります。皆さんのご成長を楽しみにしています。

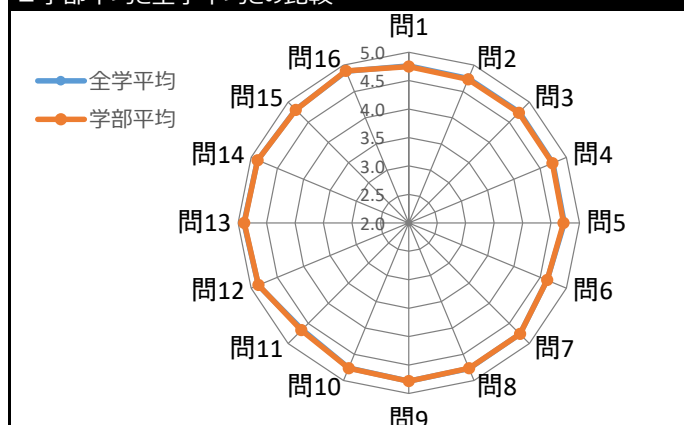
1J0502	看護技術論Ⅲ②	細野知子	看護技術論Ⅲ②を楽しく学んでいただきありがとうございます。本科目では、看護技術を身につけるだけでなく、「なぜそうするのか」を考えられる看護師になるための力がつくように授業をつくりました。アンケート結果からは、その意図を皆さんが汲み取ってくれたことがわかり、とてもうれしく感じております。前回の復習から始まる授業で皆さんの学びが深まっているようで、安心いたしました。また、皆さんが気軽に質問して下さることもうれしく感じています。おかげで皆さんがわからないこと、うまくできないこと、困っていること、それだけでなくわかったことやできるようになったことも知ることができて、教員も皆さんと一緒に学ぶことができています。リアクションペーパーを書く時間の確保と提出方法につきまして、ご意見をありがとうございました。次年度の課題といたします。学生さんたちが学びやすい環境を整えて、さらに授業内容をブラッシュアップしてまいります。皆さんのご成長を楽しみにしています。
1N0501	健康レベル別看護学演習Ⅰ	河田照絵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。皆さんが演習に意欲的・積極的に取り組んだと高く評価されていることを嬉しく拝見しました。2021年度も感染対策のため、オンデマンド講義と少人数の演習を組み合わせた形で実施しました。関心や興味をもって演習に参加いただき、自己学習に取り組んでいただけたこと、演習を価値あるものと捉えてくださっていらっしゃいました。これからの皆さんが実践されるケアにつながっていくことを期待いたします。また、改善点についても建設的なご意見をいただきありがとうございました。皆さんの学修によりつながるようにしてまいります。
1N0502	健康レベル別看護学演習Ⅰ	河田照絵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。皆さんが演習に意欲的・積極的に取り組んだと高く評価されていることを嬉しく拝見しました。2021年度も感染対策のため、オンデマンド講義と少人数の演習を組み合わせた形で実施しました。関心や興味をもって演習に参加いただき、自己学習に取り組んでいただけたこと、演習を価値あるものと捉えてくださっていらっしゃいました。これからの皆さんが実践されるケアにつながっていくことを期待いたします。また、改善点についても建設的なご意見をいただきありがとうございました。皆さんの学修によりつながるようにしてまいります。
1R0700	災害看護活動論Ⅱ	内木美恵	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。ご意見から、皆さんが主体的に本科目の学修を進めておられたことが伝わり嬉しく思っております。良い点として、演習など主体的に学ぶ機会が多く得られるものが多かったこと、実践的に学ぶことができた等が挙がっていました。次年度に活かしていきます。貴重な意見をありがとうございました。

学 部	看護学部	履修者数	1269	回答率	70.7%
		回答数	897		

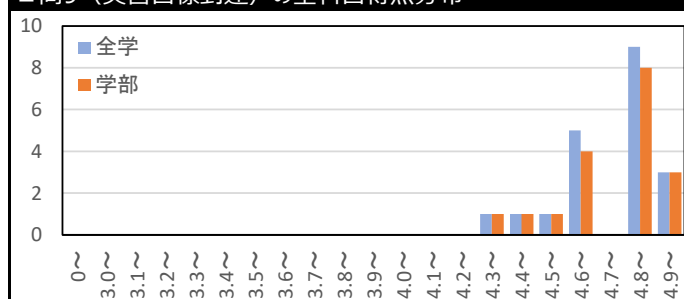
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	719					139	4.75	4.76
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	712					145	4.73	4.74
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	703					155	4.73	4.75
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	718					130	4.73	4.74
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	723					116	4.72	4.73
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	652					164	4.63	4.63
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	713					135	4.76	4.76
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	717					125	4.77	4.77
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	724					129	4.78	4.78
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	725					110	4.77	4.76
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	679					130	4.67	4.65
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	781					105	4.86	4.86
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	807					81	4.89	4.90
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	795					93	4.88	4.88
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	744					133	4.81	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	817					61	4.89	4.89
問1～16全問平均								4.77	4.78

■学部平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布



グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

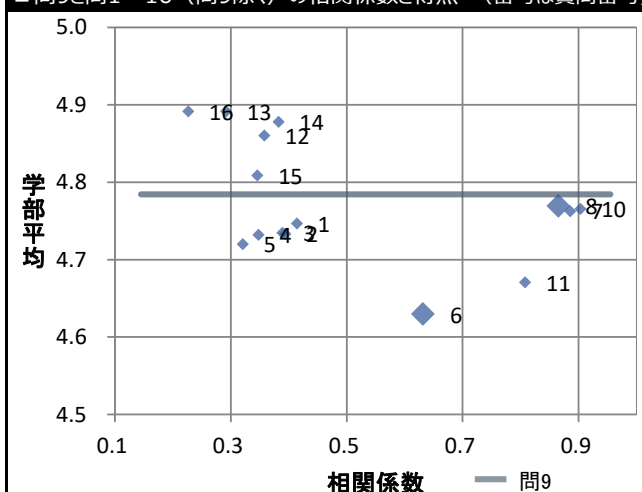
<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数

(3%未満は非表示)

・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝学部平均が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	[1S0100]	学部	看護学部	履修者数	142	回答率
教員名	川原 由佳里 他		授業形態	実習	回答数	38	26.8%

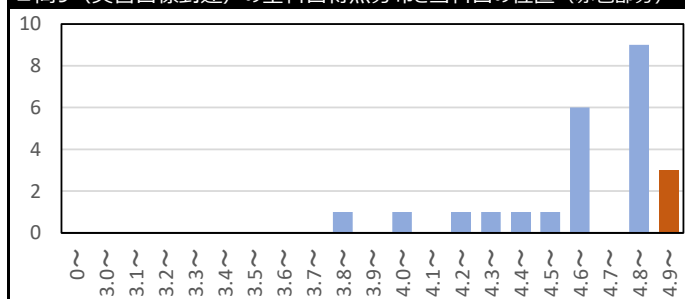
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	36					2	4.95	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	36					2	4.92	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	36					2	4.92	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	35					3	4.92	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	37					1	4.95	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	35					2	4.89	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	36					2	4.95	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	36					2	4.95	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	36					2	4.95	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	36					2	4.95	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	32					6	4.84	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	36					2	4.95	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	33					5	4.87	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	36					2	4.95	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	35					2	4.89	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	36					2	4.95	4.88
問1～16全問平均								4.92	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

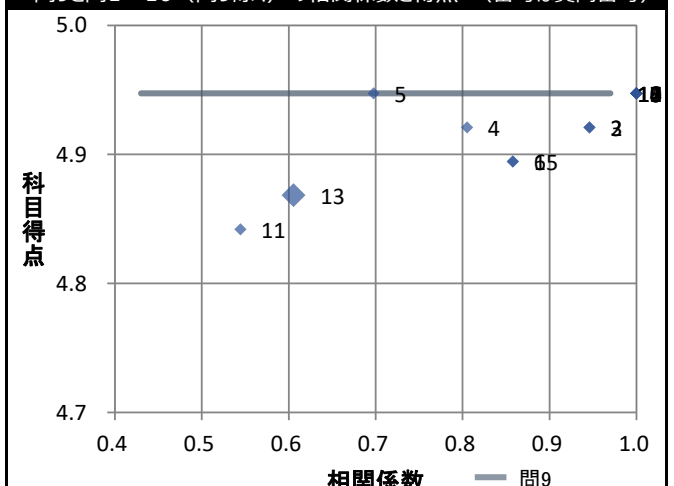


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全学平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

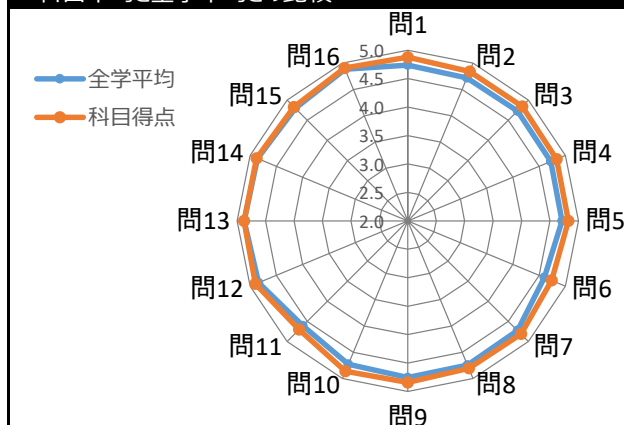
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	[1S0200]	学部	看護学部	履修者数	143	回答率
教員名	三浦 英恵 他		授業形態	実習	回答数	107	74.8%

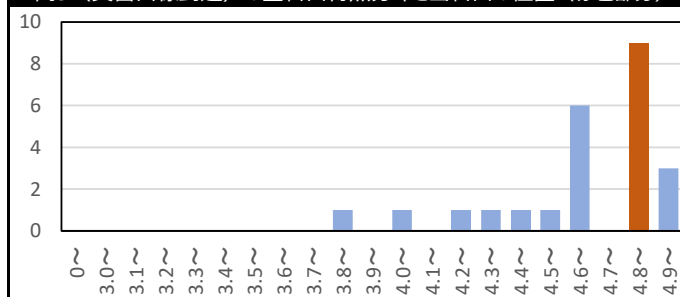
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	95					11	4.88	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	91					15	4.84	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	91					15	4.84	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	92					12	4.83	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	93					10	4.82	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	85					19	4.74	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	90					14	4.81	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	89					15	4.80	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	92					13	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	93					13	4.86	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	82					19	4.70	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	97					9	4.90	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	95					11	4.88	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	95					11	4.88	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	91					14	4.83	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	99					6	4.91	4.88
問1～16全問平均								4.84	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

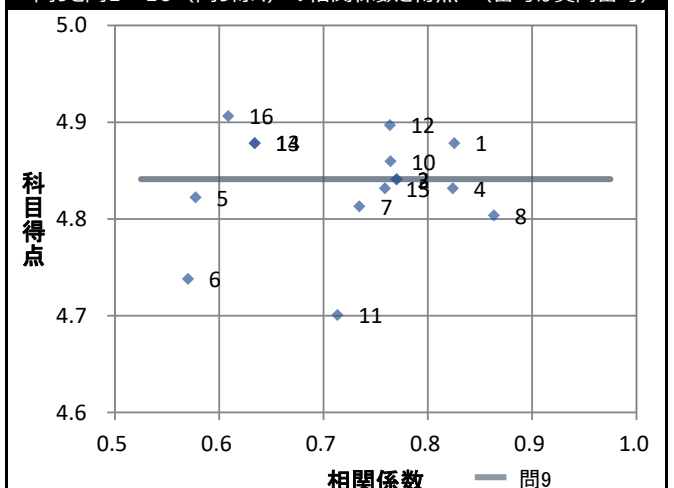


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

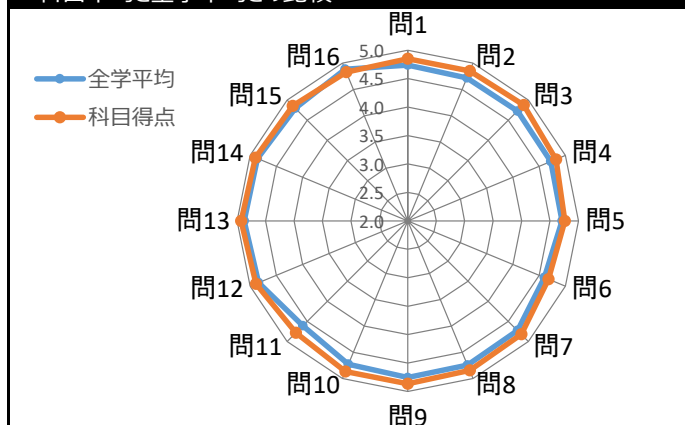
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕	[1S0300]	学部	看護学部	履修者数	138	回答率
教員名	鷹野 朋実 他		授業形態	実習	回答数	100	72.5%

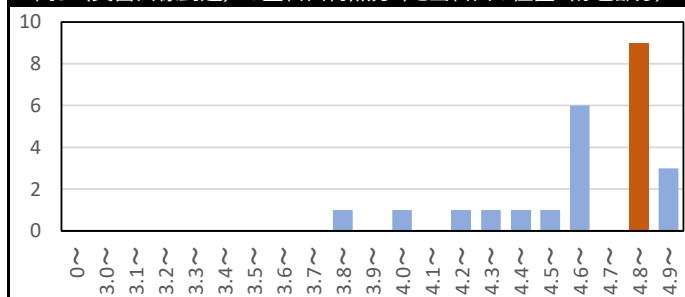
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	87					11	4.85	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	88					10	4.85	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	91					7	4.88	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	86					11	4.82	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	83					11	4.76	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	74				14	7	4.68	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	81					13	4.82	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	83					11	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	84					11	4.86	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	85					9	4.86	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	82					9	4.78	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	91					7	4.89	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	93					7	4.93	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	90					10	4.90	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	87					12	4.86	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	87					9	4.83	4.88
問1～16全問平均								4.84	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

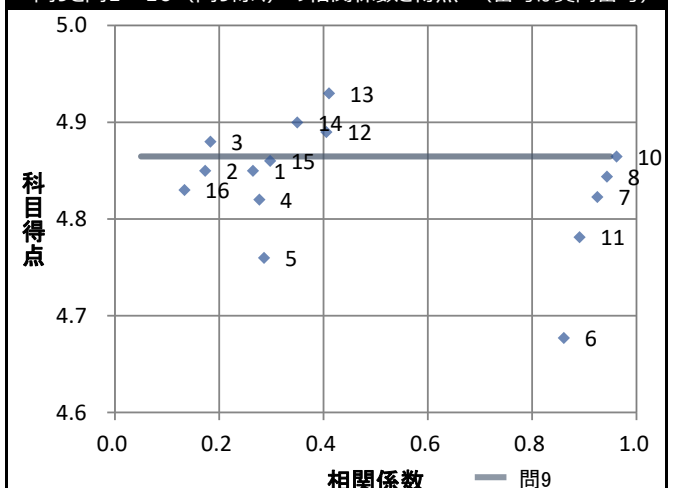


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護）実習〔レベルⅢ〕	[1S0400]	学部	看護学部	履修者数	139	回答率
教員名	井村 真澄 他		授業形態	実習	回答数	89	64.0%

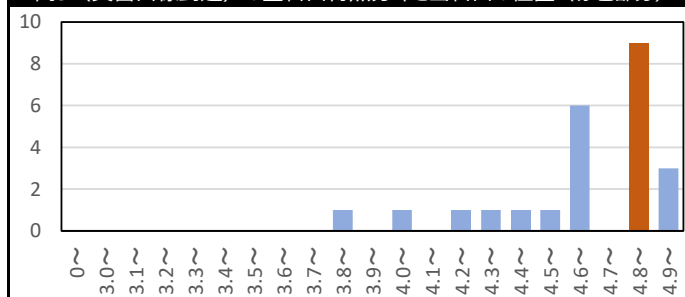
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	76				8	3	4.76	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	66			18			4.67	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	70			16			4.74	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	66			13	7		4.60	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	68			15	4		4.66	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	62			18	7		4.60	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	69			17			4.76	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	79			7			4.88	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	77			11			4.85	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	75			7	5		4.77	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	68			8	9		4.59	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	79			8			4.88	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	85			3			4.97	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	84			3			4.94	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	77			7	4		4.83	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	84						4.93	4.88
問1～16全問平均								4.78	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

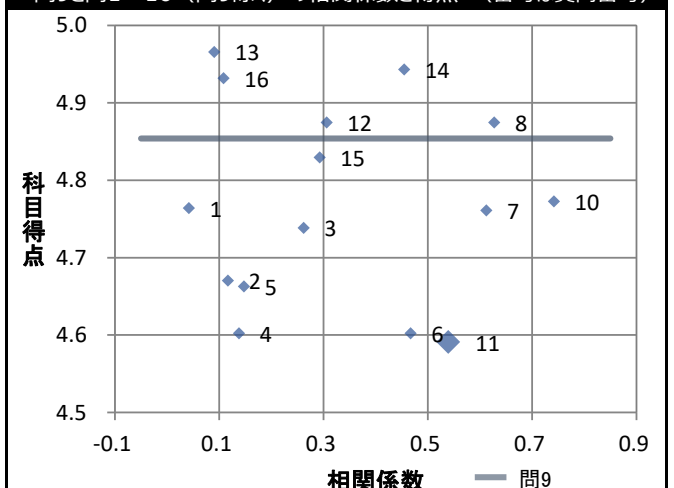


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

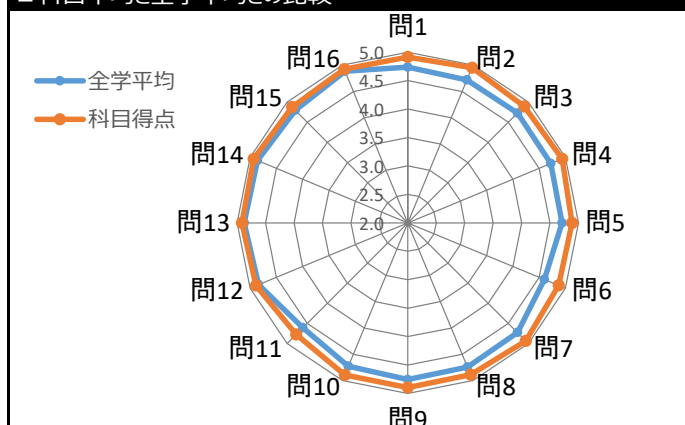
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名 発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）実習〔レベルⅢ〕	[1S0500]	学部	看護学部	履修者数	140	回答率	
教員名	江本 リナ 他	授業形態	実習	回答数	106	75.7%	

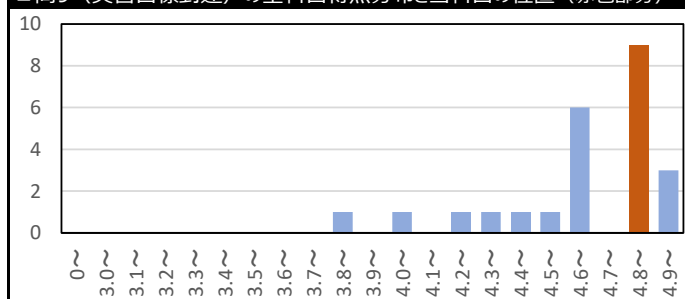
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						97	4.92	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。						101	4.95	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						95	4.90	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						99	4.93	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。						95	4.89	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。						94	4.87	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						99	4.93	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。						95	4.89	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						96	4.90	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						96	4.90	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。						84	4.77	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。						94	4.89	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。						98	4.92	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。						99	4.93	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。						94	4.88	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。						100	4.92	4.88
問1～16全問平均								4.90	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

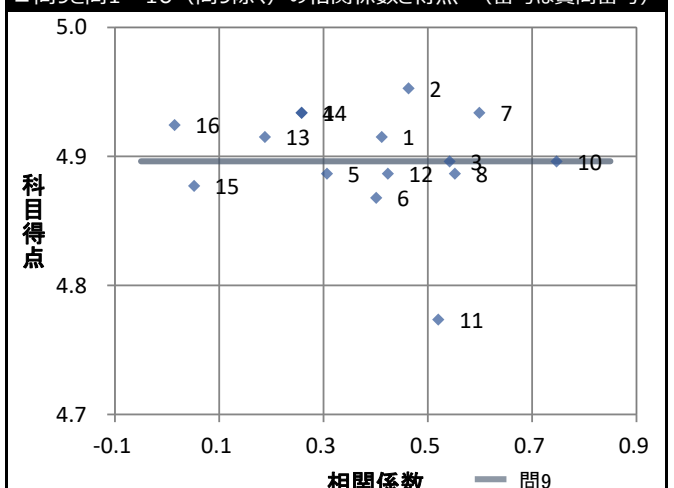


グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

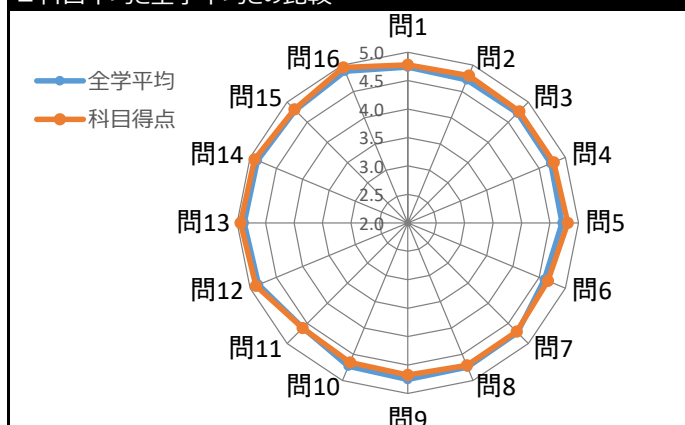
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習〔レベルⅢ〕	[1S0600]	学部	看護学部	履修者数	138	回答率	
教員名	坂口 千鶴 他		授業形態	実習	回答数	117	84.8%	

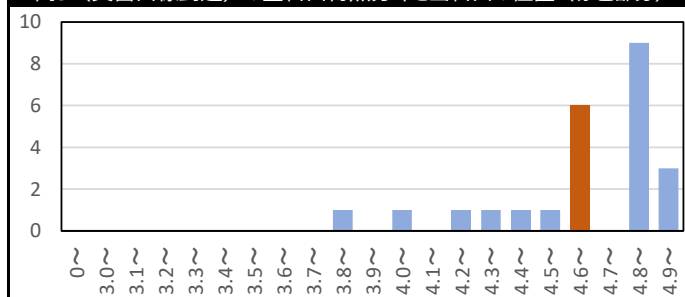
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	95					20	4.78	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	97					19	4.80	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	94					21	4.77	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	99					13	4.78	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	101					12	4.81	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	86			21		5	4.67	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	86			14		7	4.70	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	83			19		4	4.71	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	82			19		6	4.68	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	81			17		8	4.65	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	80			14		10	4.61	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	104					13	4.89	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	110					7	4.94	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	107					10	4.91	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	97					19	4.82	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	112					5	4.96	4.88
問1～16全問平均								4.78	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

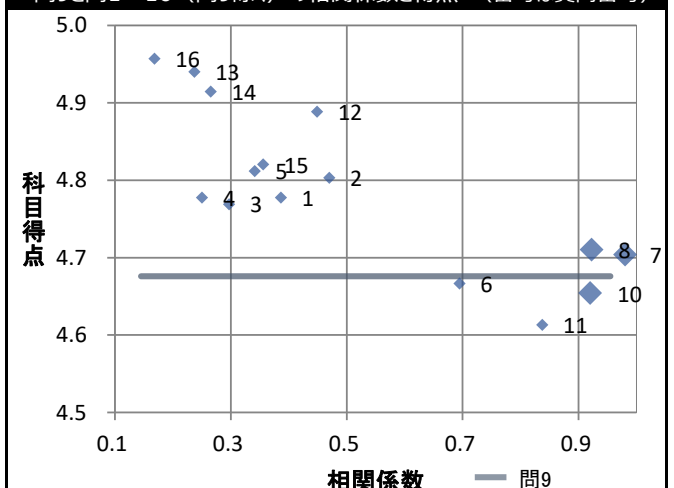


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16 (問9除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

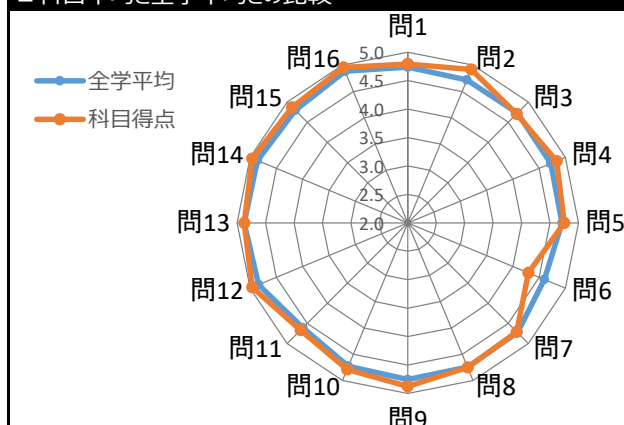
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名 地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1(精神保健)	[1S0801]	学部	看護学部	履修者数	34	回答率
教員名 鷹野 朋実 他		授業形態	実習	回答数	24	70.6%

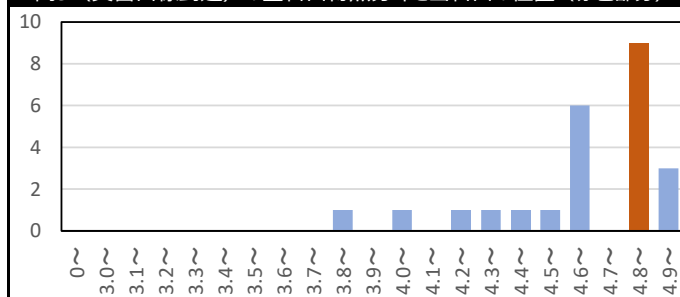
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	19				5		4.79	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	22				2		4.92	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	19			4	1		4.71	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	21			2	1		4.83	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	21			1	1	1	4.75	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	15		5	1	2	1	4.29	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	20			2	1	1	4.71	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	19			4	1		4.75	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	21			3			4.88	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	20			3	1		4.79	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	20			1	2	1	4.67	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	23				1		4.96	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	21			3			4.88	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	23				1		4.96	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	21			3			4.88	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	23				1		4.96	4.88
問1～16全問平均								4.79	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

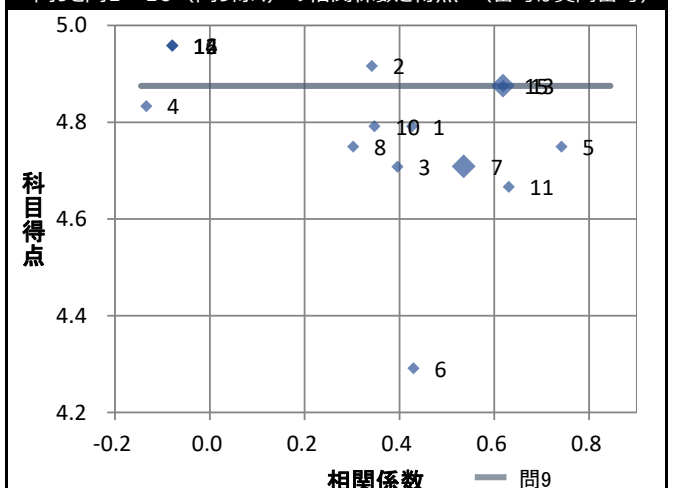


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

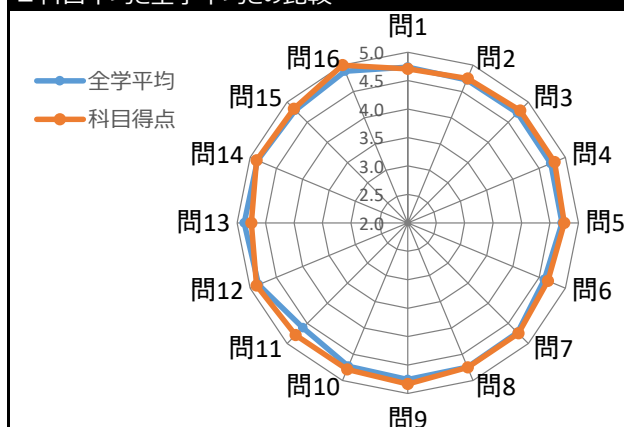
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（母性）	[1S0802]	学部	看護学部	履修者数	35	回答率	
教員名	井村 真澄 他		授業形態	実習	回答数	24	68.6%	

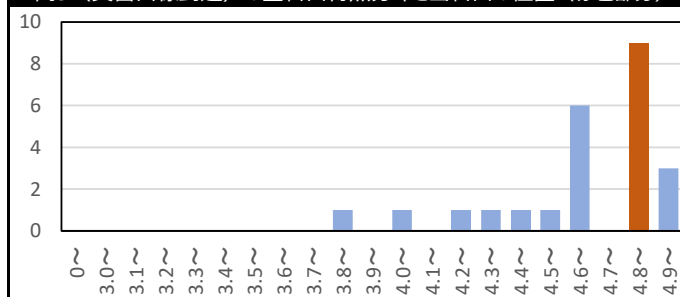
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	18				5	1	4.71	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	19				4	1	4.75	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	20				3	1	4.79	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	20				3	1	4.79	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	19				4	1	4.75	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	18				4	2	4.67	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	21				2	1	4.75	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	21				2	1	4.75	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	21				2	1	4.83	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	21				1	2	4.79	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	21				1	2	4.79	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	22				1	1	4.88	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	20				2	2	4.75	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	22				1	1	4.88	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	21				2	1	4.83	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	24						5.00	4.88
問1～16全問平均								4.79	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

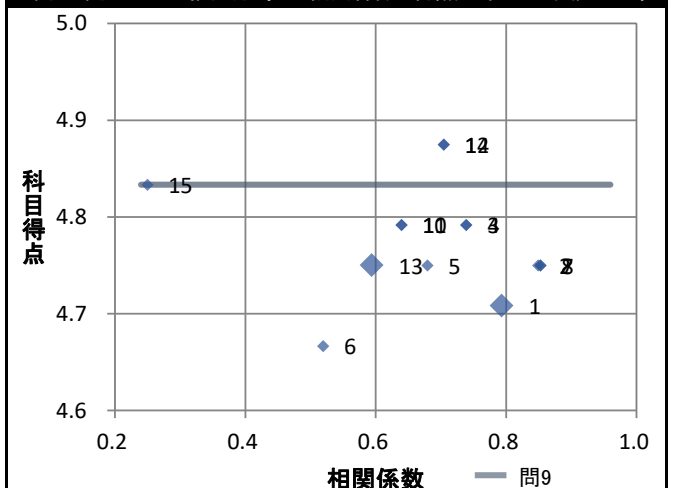


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

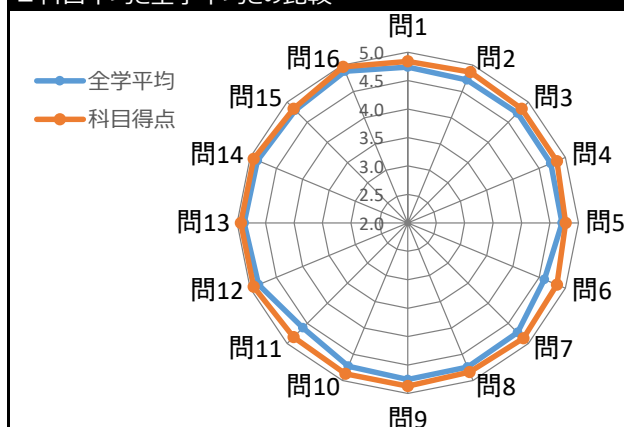
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（小児）	[1S0803]	学部	看護学部	履修者数	35	回答率	
教員名	江本 リナ 他		授業形態	実習	回答数	31	88.6%	

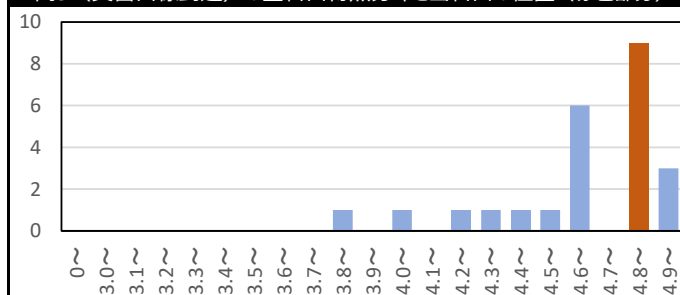
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	27				3	1	4.84	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	27				4		4.87	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	26			3	1	1	4.83	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	26				5		4.84	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	27			2	1	1	4.77	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	27				3	1	4.84	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	27				4		4.87	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	27				3	1	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	28				2	1	4.87	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	28				2	1	4.87	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	27				3	1	4.84	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	29				2		4.94	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	29				2		4.94	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	29				2		4.94	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	26				5		4.84	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	30				1		4.97	4.88
問1～16全問平均								4.87	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

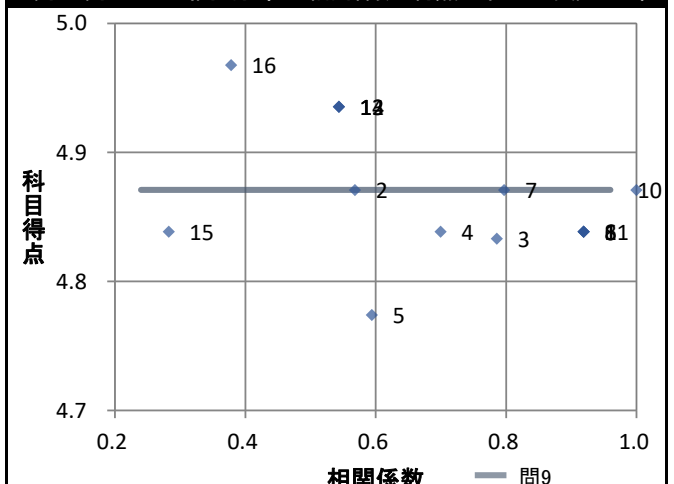


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点＜全学平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（老年）	[1S0804]	学部	看護学部	履修者数	34	回答率
教員名	坂口 千鶴 他		授業形態	実習	回答数	29	85.3%

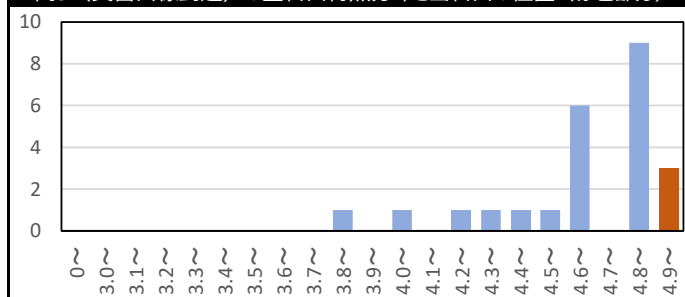
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	24	4	1				4.79	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	26	2	1				4.86	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	24	5					4.83	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	26	3					4.90	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	27	1	1				4.90	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	27	2					4.93	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	25	4					4.86	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	22	3	1	3			4.81	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	27	1	1				4.96	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	26	1	1	1			4.89	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	25	1	2	1			4.82	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	27	2					4.93	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	27	2					4.93	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	28	1					4.97	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	25	4					4.86	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	28	1					4.97	4.88
問1～16全問平均								4.89	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

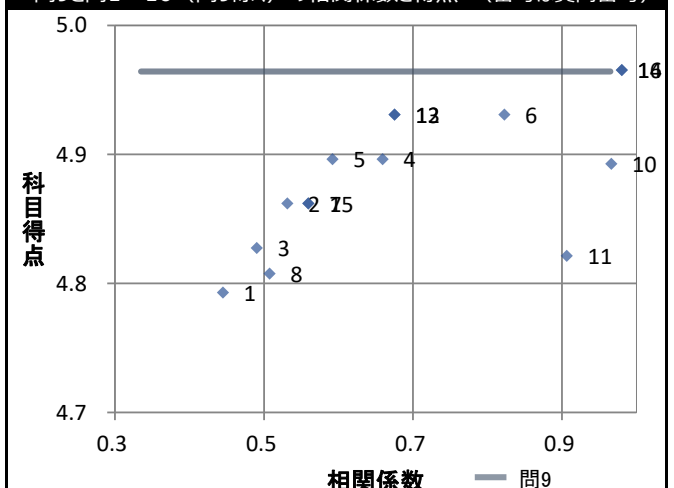


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－２(地域)	[1S0900]	学部	看護学部	履修者数	141	回答率
教員名	石田 千絵 他		授業形態	実習	回答数	135	95.7%

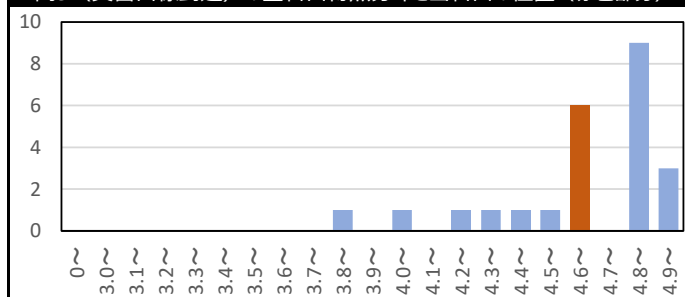
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	80	40	13				4.47	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	77	46	9				4.46	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	73	51	10				4.47	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	81	43	10				4.51	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	84	34	13				4.47	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	74	40	18				4.37	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	88	36	10				4.56	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	93	30	10				4.59	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	94	32	8				4.62	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	96	28	8				4.61	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	92	28	10				4.53	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	100	30					4.71	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	109	23					4.79	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	104	28					4.75	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	95	35	5				4.67	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	110	21					4.79	4.88
問1～16全問平均								4.58	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

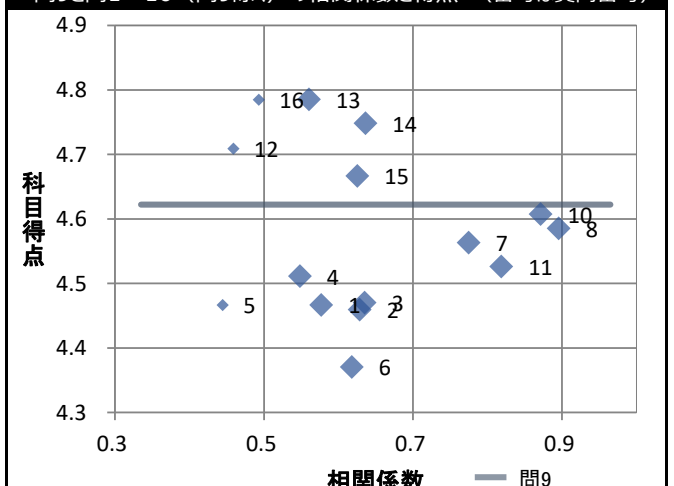


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

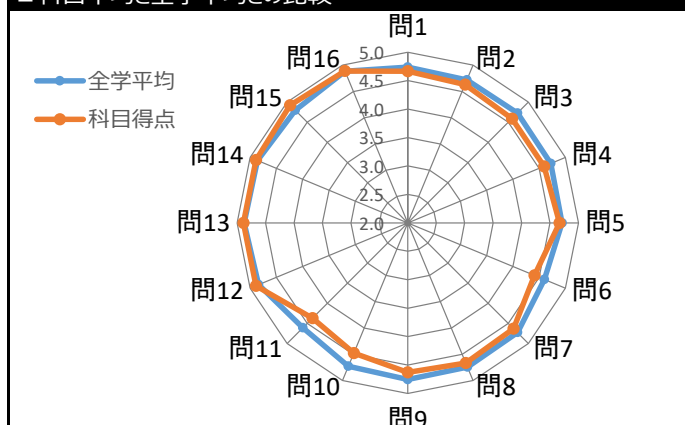
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護学総合実習(基礎・成人)	[1S1001]	学部	看護学部	履修者数	56	回答率
教員名	佐々木 幾美 他		授業形態	実習	回答数	27	48.2%

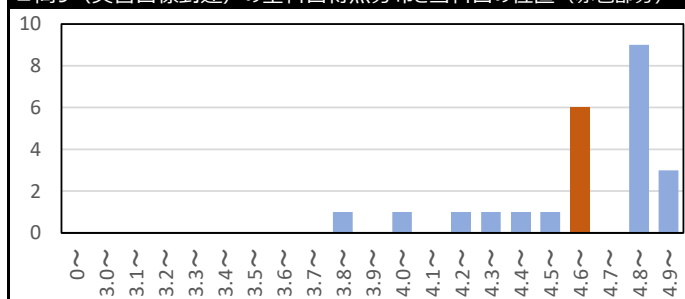
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	23	1	2	1			4.67	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	22	2	2	1			4.63	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	21	3	2	1			4.59	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	21	3	2	1			4.59	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	23	1	2	1			4.67	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	17	6	3	1			4.41	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	21	4	1	1			4.63	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	22	3	1	1			4.67	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	21	4	1	1			4.63	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	20	2	4	1			4.48	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	19	3	2	2	1		4.37	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	24	3					4.89	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	25	1	1				4.89	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	24	3					4.89	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	25	2					4.93	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	25	1	1				4.89	4.88
問1～16全問平均								4.68	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9(実習目標到達)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

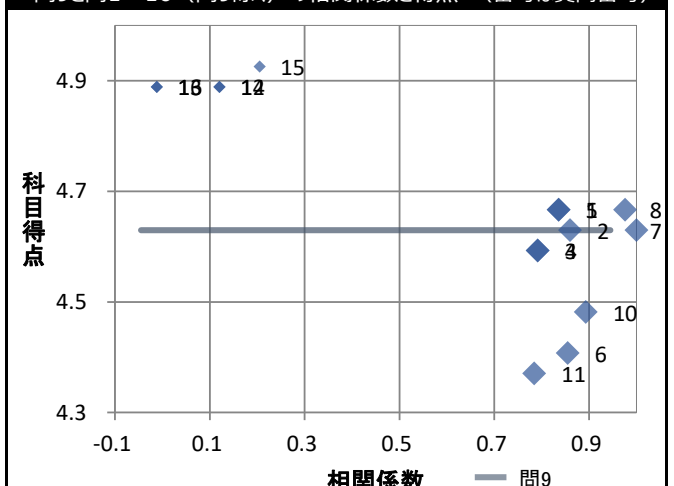


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16(問9除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護学総合実習(精神保健)	[1S1002]	学部	看護学部	履修者数	16	回答率
教員名	鷹野 朋実 他		授業形態	実習	回答数	11	68.8%

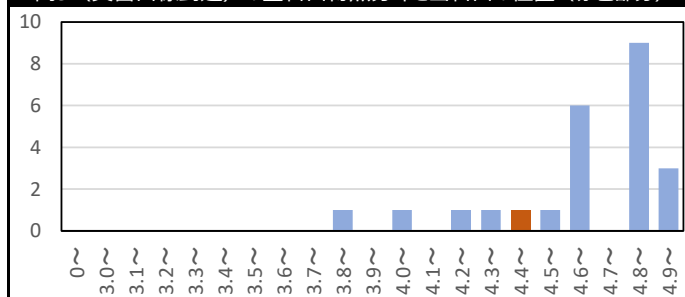
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	9	1	1				4.73	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	9	1	1				4.64	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	9	2					4.82	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	10	1					4.82	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	9	1	1				4.64	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	6	4	1				4.45	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5	4	2				4.27	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5	4	1	1			4.18	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	6	4	1				4.45	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	6	1	4				4.18	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5	4	2				4.27	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	7	4					4.64	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	10	1					4.91	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	9	2					4.82	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	9	2					4.82	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	8	2	1				4.64	4.88
問1～16全問平均								4.58	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9(実習目標到達)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

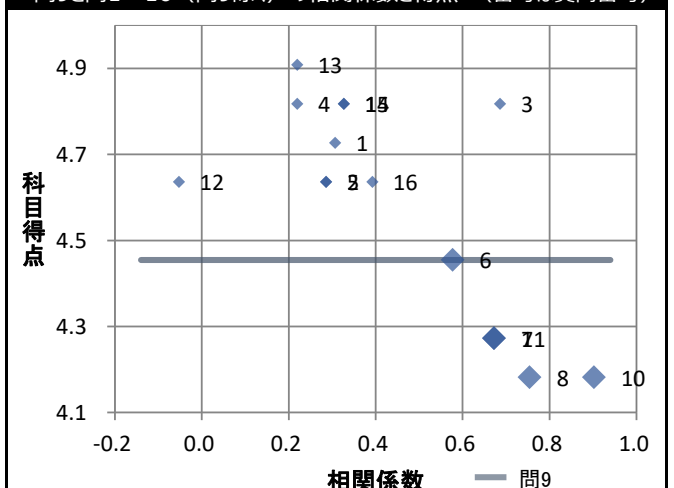


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16(問9除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

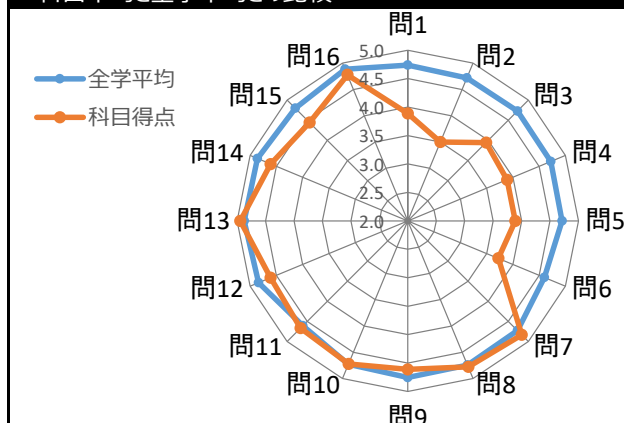
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護学総合実習(母性)	[1S1003]	学部	看護学部	履修者数	24	回答率
教員名	井村 真澄 他		授業形態	実習	回答数	18	75.0%

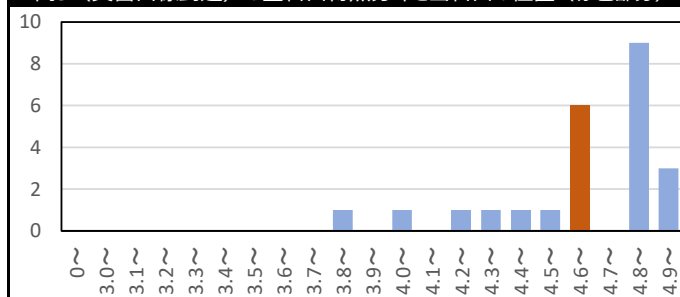
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	4	8	6				3.89	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	2	8	5	3			3.50	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5	7	6				3.94	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	6	6	4	2			3.89	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5	8	3	2			3.89	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	6	5	5	2			3.72	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	15	3					4.83	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	14	4					4.78	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	11	7					4.61	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	13	5					4.72	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	13	4	1				4.67	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	11	7					4.61	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	17	1					4.94	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	12	5	1				4.61	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	10	6	2				4.44	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	15	2	1				4.78	4.88
問1～16全問平均								4.36	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9(実習目標到達)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

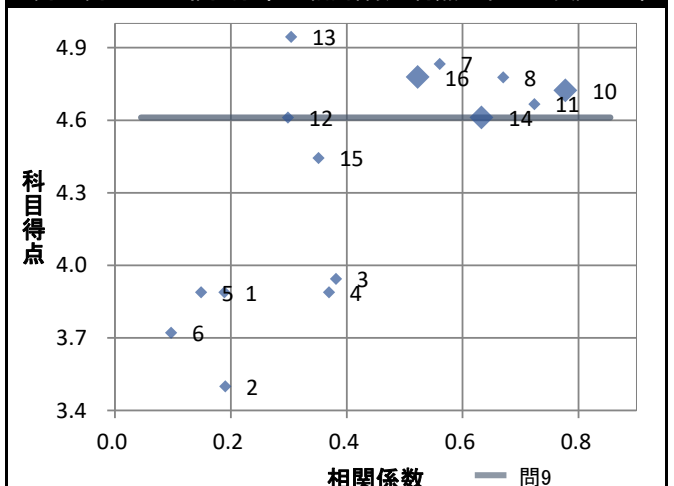


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16(問9除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護学総合実習(小児)	[1S1004]	学部	看護学部	履修者数	16	回答率
教員名	江本 リナ 他		授業形態	実習	回答数	13	81.3%

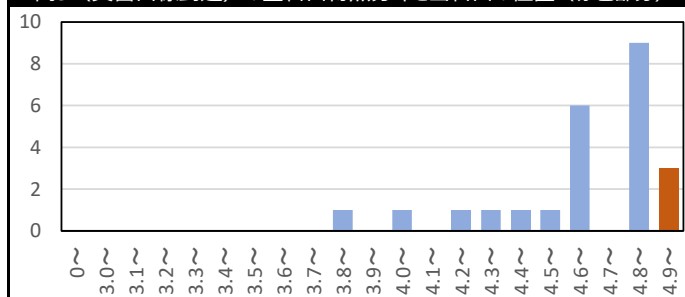
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	8		4	1			4.46	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	9	1	2	1			4.38	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	9	1	2	1			4.38	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	9	1	2	1			4.38	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	10	1	1	1			4.54	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	7	4	1	1			4.50	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	10	1	2				4.91	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	10	1	2				4.91	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	10	1	2				4.91	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	10	1	2				4.91	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	9	2	2				4.82	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	12	1					4.92	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	12	1					4.92	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	10	2	1				4.69	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	8	5					4.62	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	12	1					4.92	4.88
問1～16全問平均								4.70	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9(実習目標到達)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

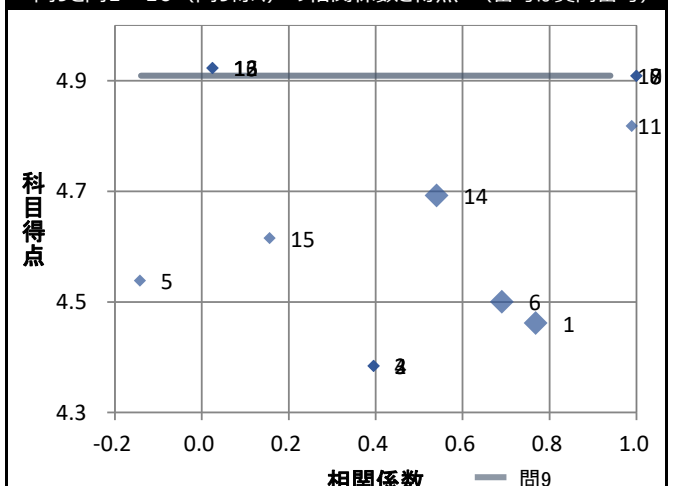


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16(問9除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

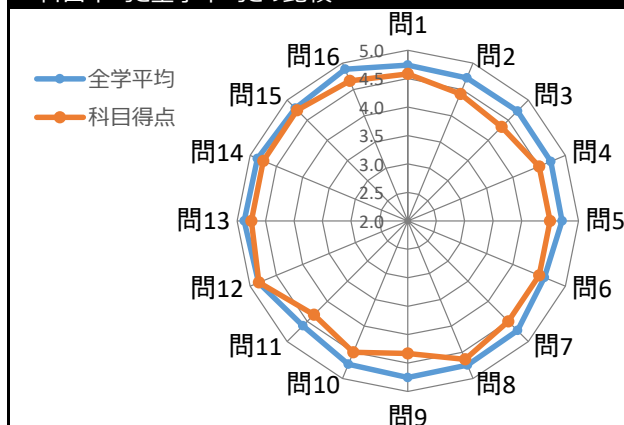
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護学総合実習(老年)	[1S1005]	学部	看護学部	履修者数	16	回答率
教員名	坂口 千鶴 他		授業形態	実習	回答数	12	75.0%

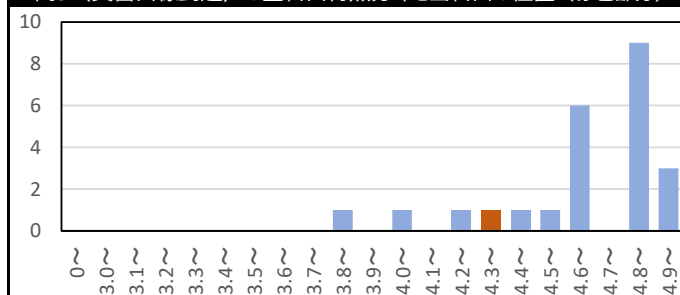
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	7			5			4.58	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	6			5	1		4.42	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	6			4	2		4.33	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	7			4	1		4.50	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	7			4	1		4.50	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	7			4	1		4.50	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	6			6			4.50	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	7			4	1		4.64	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	6			4	2		4.33	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	6			6			4.50	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5			6	1		4.33	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	10			2			4.83	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	9			3			4.75	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	9			3			4.75	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	9			3			4.75	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	9			2	1		4.67	4.88
問1～16全問平均								4.56	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9(実習目標到達)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

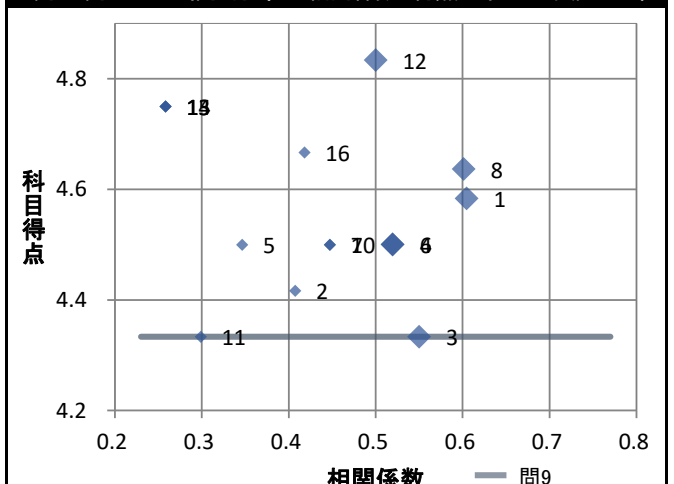


グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16(問9除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

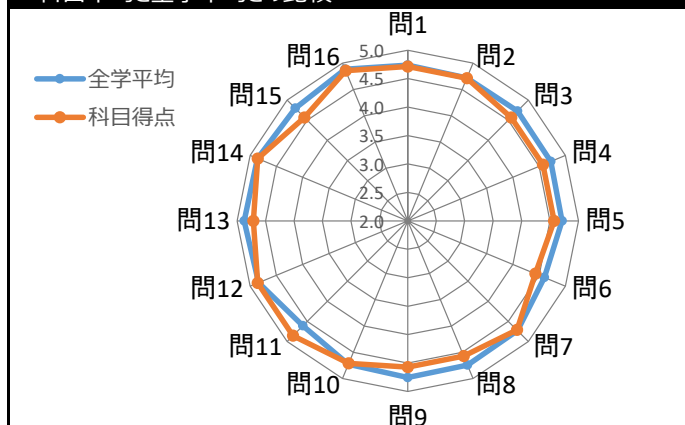
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護学総合実習(地域)	[1S1006]	学部	看護学部	履修者数	13	回答率
教員名	石田 千絵 他		授業形態	実習	回答数	7	53.8%

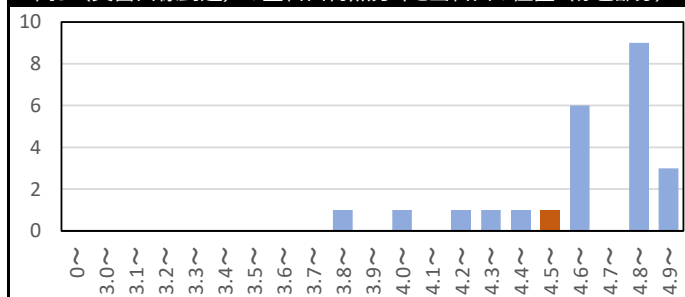
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5				2		4.71	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5				2		4.71	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5			1	1		4.57	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5			1	1		4.57	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5			1	1		4.57	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	4		2		1		4.43	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5				2		4.71	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	4				3		4.57	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	4				3		4.57	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5				2		4.71	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	6				1		4.86	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	6				1		4.86	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5				2		4.71	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	6				1		4.86	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5			1	1		4.57	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	6				1		4.86	4.88
問1～16全問平均								4.68	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9(実習目標到達)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

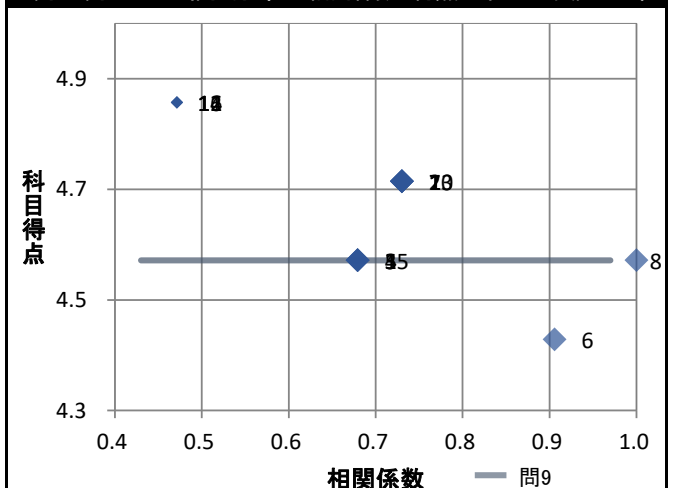


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16(問9除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護学総合実習(国際・災害)	[1S1007]	学部	看護学部	履修者数	9	回答率
教員名	野口 眞貴子 他		授業形態	実習	回答数	9	100.0%

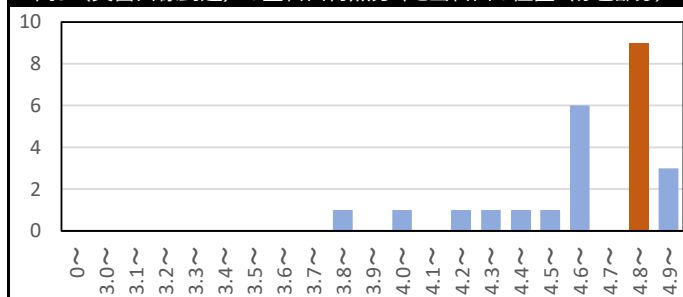
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0% 20% 40% 60% 80% 100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	9	5.00	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	9	5.00	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	9	5.00	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	9	5.00	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	9	5.00	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	8 1	4.89	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	9	5.00	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	8 1	4.78	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	8 1	4.89	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	8 1	4.89	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	9	5.00	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	9	5.00	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	9	5.00	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	8 1	4.89	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	9	5.00	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	9	5.00	4.88
問1～16全問平均			4.96	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9(実習目標到達)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

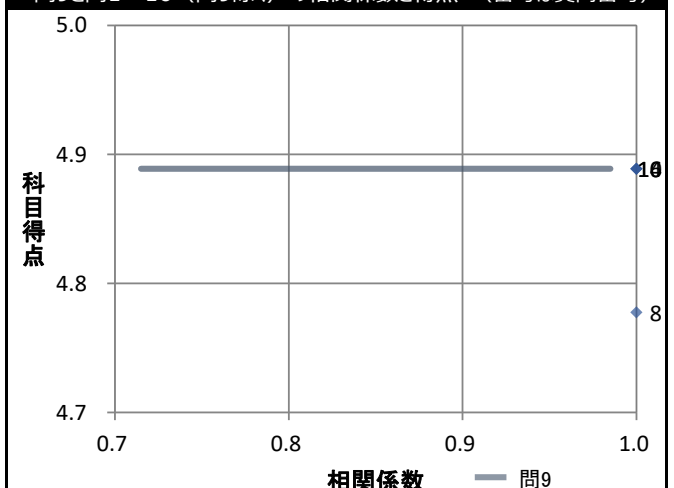


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16(問9除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1S0100	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	川原由佳里他	COVID-19感染症が流行している中、施設および学生の双方で感染対策に取り組みながら実習を行いました。急な変更も多かった中でも、学びを得ることができたとの評価をもらえて、教員も励みになりました。これからも困難を乗り越え、遅しく成長していかれることを願っています。
1S0200	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	三浦英恵他	実習改善アンケートへのご協力をありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、オンライン実習を組み合わせた実習となりました。臨地での実習は、短い期間でしたが、体調管理に努め、積極的に実習に臨んでくださったことや多くの学びを得たことがわかりました。特に、教員、実習指導者からの具体的なアドバイスや助言、相談しやすい雰囲気、良い評価を頂きました。これからも、学生の皆様の状況に合わせた指導ができるように、継続していきたいと思います。
1S0300	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕	鷹野朋実	実習に関して、多くのご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見を活かして、より実りある実習となるようにしていきたいと思います。ご意見の中に、実習先の発表時期に関する意見をいただきました。次年度以降、皆さんが実習先への定期券購入などに支障が出ないよう、早めに発表できるよう調整して参りたいと思います。ご意見ありがとうございました。
1S0400	発達看護学Ⅰ（リブ・ロク・ティグ・ヘルスと看護）実習〔レベルⅢ〕	井村真澄	ご意見ありがとうございました。今年度は、限られた日数ではありましたが、臨地実習を実施することができました。残念ながら2月クールは施設見学が中心でしたが、少しでも臨床の状況が理解できる機会となっていっていただければ、うれしく思います。皆さんの感想を拝見し、臨地実習では、実際の場面において臨床指導者や教員によって、サポートを受けながら、実践と通じて学びを深められる機会となったようで良かったです。学内実習でも、これまで学習してきた内容や臨床実習での経験を、それぞれを統合することができたように思います。一方で、一部には関わった教員や臨床指導者によって対応が異なったり、指導時の説明や対応が状況に適していないように感じられた場面もあったようでした。今後は教員間や臨床指導者と、より一層連携を取りながら皆さんをサポートしていきたいと思います。
1S0500	発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）実習〔レベルⅢ〕	江本リナ	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。今年度は臨地実習を全く行えなかったクールもありましたが、オンラインでたくさんさんの学びが得られたようで安心しました。教員に対しても良い評価をいただけて、私たちも励みになりました。引き続き来年度の実習につなげていきたいと思います。患者さんの情報の取り扱いについて、敏感に感じてくれた学生が何名かおり、看護師としての倫理観が養われていることに嬉しく思いました。個人情報取り扱いについては、学生同士でも嫌な思いをすることがないように、教員から学生へしっかりと伝えていきたいと思います。また、いただきましたコメントについては、来年度に活かし、よりよい実習にしていきたいと思います。
1S0600	発達看護学Ⅲ（老年期の看護）実習（レベルⅢ）	坂口千鶴他	授業改善アンケートへのご協力、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、臨地実習2時間という厳しい状況で、特に2月に実習をされた学生はオンライン中心となりましたこと、申し訳なく思っております。ただ、高齢者の方、学生さん双方のご健康を考えますと、厳しい判断をせざるを得なかったことをご理解頂ければと思います。今回、学生の皆様からの様々な貴重なご指摘をもとに、次の実習に反映していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

1S0801	地域・在宅看護学実習 〔レベルⅣ〕-1（精神保健）	鷹野朋実 他	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。1～16の質問の中で、「6 教員と実習指導者の連携がとれていた」以外の項目は、全学平均またはそれ以上の評価をいただきました。 ここでは、「教員と実習指導者の連携」についての来年度以降の対策を回答いたします。 【レベルⅢ実習との違い】地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕-1は、東京都内に点在している精神障害者のための福祉施設で実習を行っています。レベルⅢの精神科病院での実習では、担当教員が実習地に常駐していますが、レベルⅣ-1実習では、担当教員が各施設を巡回する方法をとっています。また、レベルⅣ-1実習の指導者の方は、精神保健福祉士の資格者が多いです。さらに2021年度は、コロナ感染以前とは異なった方法（お昼休みをまたがないようにする等）で実習を実施しました。 【対策】以上のような状況のため、レベルⅢ実習とは異なった配慮が必要であったことを再認識しました。そこで2022年度は、レベルⅣ-1実習では次のことを徹底して行い、実習指導者との連携強化をはかります。 ・どの教員が担当者になっても実習指導者の方々との連携がとりやすくなるように、レベルⅣ-1実習の指導担当者とやりとりした内容を確実に共有するようにします。 ・Ⅳ-1実習のオリエンテーション時に、些細なことでも気になったことがあれば、担当教員に報告相談するように強調して伝えます。 ・担当教員が施設を巡回する際に、実習担当者及び実習生それぞれに、今気になっていることや困っていることがないかを必ず聴取するようにします。 ・最終日のカンファレンス時に、実習学生から、実習中に困ったことがなかったかを聴取できる機会を設けます。 以上です。
1S0802	地域・在宅看護学実習 （レベルⅣ-1）母性	井村真澄	ご意見ありがとうございました。今年度は、すべてのクールで2日間の臨地実習を実施することができました。皆さんの感想を拝見し、地域での妊娠・出産・子育て支援の実際を学ぶ良い機会となったようで良かったです。最終カンファレンスでは、4か所に分かれて行った臨床実習の経験を共有し、学を深めることにつながったように思います。臨地実習では学生主体で行動する場面も多かったため、教員からのサポートの必要性を感じたケースもあったようです。今後はより教員と臨床指導者との連携を図っていききたいと思います。
1S0803	地域・在宅看護学実習 〔レベルⅣ〕-1（小児）	江本リナ	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。今年度は臨地実習を全く行えなかったクールもありましたが、オンラインでもたくさんの学びがあったようで安心しました。私たち教員も何とか実習を行いたいと組み立てたプログラムでしたので、みなさんから良い評価をいただけて嬉しく思います。来年度もみなさんが感じてくれたような実習となるよう、引き続き頑張っていきたいと思います。
1S0804	地域在宅看護学実習〔レベルⅣ〕-1（老年）	坂口千鶴他	授業改善アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染拡大によりオンライン中心の実習ではありましたが、学生の皆様からの肯定的な評価に感謝致します。また、自由記載につきまして記録用の書き方等の貴重なご意見も頂き、今後の実習に向けて改善していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
1S0900	地域・在宅看護学実習 〔レベルⅣ〕-2（地域）	石田千絵	利用者様や訪問看護師の皆様のご協力のもと、できる限り訪問看護実習を行っていただきました。コロナ禍のため、一部の学生がステーションの方針により同行訪問できなかったことについて、申し訳なく思っています。また、実習時期と報告会の間の時間が、グループによって異なる点については、今後も引き続き同様のことが起きますので、実習前から取り組めるような支援をしたいと思います。コロナ禍の特別な状況の中、全体的によく頑張り、良く学んでいた実習だったと思います。この経験をそれぞれの臨地で活かしていただけますと幸いです。
1S1001	看護学総合実習（基礎・成人）	佐々木幾美・安部陽子・本庄恵子・川原由佳里	アンケートへの回答ありがとうございました。コロナ禍でもできるだけ臨地実習を取り入れた点はよかったと考えています。遠隔プログラムも充実していたという評価をいただきました。スケジュール等など、ご意見をいただいた点については考慮していきたいと思います。
1S1002	看護学総合実習（精神保健）	鷹野朋実	アンケートへの回答をご協力いただきありがとうございました。概ね良い評価をいただきましたが、質問項目では、実習指導者に関する得点が平均を下回る結果となりました。多職種がかかわる実習となりますので、事象の捉え方の違いもあるのかもしれませんが。内容を振り返り、改善に向けて実習前の打ち合わせなどに反映していきたいと思います。実習スケジュールについては、コロナ禍で施設の受け入れ状況によるところが大きいのという事情がありますが、学生の皆さんの学びの公平性を図れるよう引き続き工夫していきたいです。ご意見ありがとうございました。

1S1003	看護学総合実習（母性）	井村真澄	ご意見ありがとうございました。限られた日数ではありましたが、臨地実習を行うことができ、学びを深められたことは皆さんにとって大変良い経験となったようで良かったです。一方で教員と臨床指導者との連携が不足していた点があった点については改善をしていきたいです。また、一度に実習施設に入ることが可能な学生数が限られていることから、スケジュールにはグループ差がどうしても生じてしまっていました。学内実習と臨地実習とが効果的に連動するように、今後検討していきたいです。
1S1004	看護学総合実習（小児）	江本リナ	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。子どもを対象としているため、成人の領域よりも注意を払わなければいけないことが多い中、みなさんにとって最後の実習であるため、なんとか臨地での実習が行えないかと、直前まで実習施設と調整しながら準備してきました。全員が満足できる実習ではなかったかもしれませんが、小児病棟に就職して頑張っている学生の様子を見聞きし、この実習での経験が少しでも活かされているといいなと思っています。いただいたコメントは、来年度に活かし、よりよい実習にしていきたいです。
1S1005	看護学総合実習（老年）	坂口千鶴他	授業改善アンケートへのご協力、ありがとうございます。今回は、新型コロナウイルス感染拡大より、臨地実習が非常に短い時間となり、申し訳なく思っております。ただ、入所されている高齢者の方、学生さんの双方の健康を考えた末の判断となりました。そのような中でも、アンケート結果からは、学生の皆さんからの肯定的な評価に感謝致します。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
1S1006	看護学総合実習（地域）	石田千絵	コロナ禍でしたが、できるだけ配慮のもと通常に近い実習ができて良かったです。卒業後、病棟に勤めても、地域の生活を意識した看護を行ってください。
1S1007	看護学総合実習（国際・災害）	野口真貴子	毎日のカンファレンスの必要性について、ご意見いただき、ありがとうございます。実習目標や内容とあわせて検討させていただきます。実習時間の延長は、前提ではありません。しかしながら想定されない状況や相手にあわせる看護という特徴から、やむを得ない場合もあるかとは思います。優先事項や事情を踏まえ、検討させていただければ幸いです。